取扱説明書

デジタルカメラ

IR-500

OLYMPUS

Dock&Done

はじめに

取扱説明書は、以下のような構成になっています。ご使用の際は、これらの説明書をお読みになり、カメラを安全に正しくお使いください。

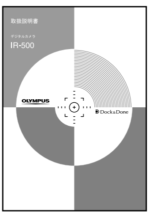
クイックスタートガイド（基本編）



カメラをすぐに使いたい方のための、基本的な操作を説明しています。

初めてカメラをお使いになる方、すぐに使いたい方は、こちらからお読みください。

取扱説明書（応用編）（本書）



すべての機能を説明しています。

いろいろな機能をお使いになるときは、こちらをお読みください。

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番など、最新の情報については、裏表紙に記載の当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による、万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
- 本製品の接続の際、本製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標について

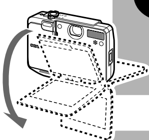
- DおよびDock&Doneは、オリンパス株式会社の商標です。
- OLYMPUS Masterは、オリンパス株式会社の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

このカメラでできること

撮影する





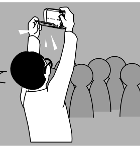
マルチスイングディスプレイで
自分撮りができます。
（セルフポートレートモード
☞52ページ）



ディスプレイを閉じれば
液晶とレンズが保護されるので
持ち運びに便利です。

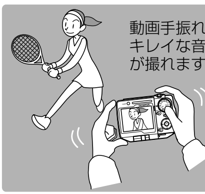


ハイアングルやローアングルでも
マルチスイングディスプレイを動かして
楽々撮影できます。



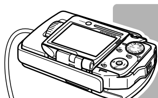


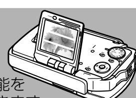
17 種類の撮影シーンから
撮りたいシーンを選んで、
シャッターボタンを押すだけで
簡単に撮影ができます。



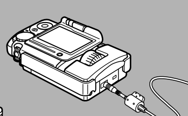
動画手振れ補正機能で
キレイな音声付き動画
が撮れます。

クレードルに置いて





撮影した画像を
多彩なスライドショー機能を
使って再生することができます。

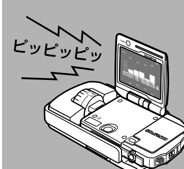


充電することができます。



カメラからダイレクト
プリントができます。

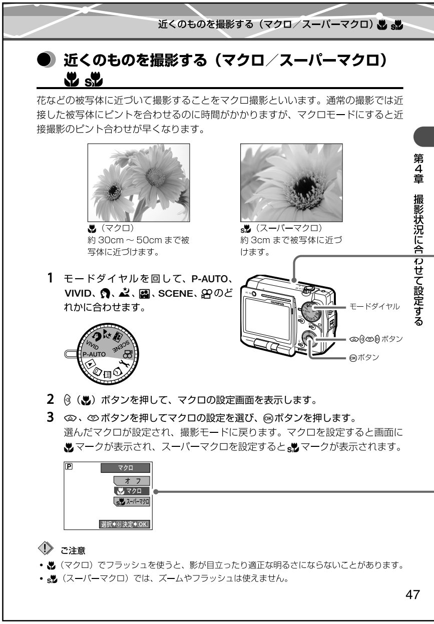
便利な機能



時計／アラーム機能が
付いています。

この取扱説明書の見かた

操作説明ページの見かた


近くのものを撮影する（マクロ／スーパーマクロ）

近くのものを撮影する（マクロ／スーパーマクロ）

花などの被写体に近づいて撮影することをマクロ撮影といいます。通常の撮影では近接した被写体にピントを合わせるのに時間がかかりますが、マクロモードにすると近接撮影のピント合わせが早くなります。

（マクロ）約 30cm ～ 50cm まで被写体に近づけます。

（スーパーマクロ）約 3cm まで被写体に近づけます。

1 モードダイヤルを回して、P-AUTO、VIVID、、、、SCENE、のどれかに合わせます。

2 （）ボタンを押して、マクロの設定画面を表示します。

3 、ボタンを押してマクロの設定を選び、ボタンを押します。
選んだマクロが設定され、撮影モードに戻ります。マクロを設定すると画面にマークが表示され、スーパーマクロを設定するとマークが表示されます。

ご注意
- （マクロ）でフラッシュを使うと、影が目立ったり適正な明るさにならないことがあります。
- （スーパーマクロ）では、ズームやフラッシュは使えません。

47

操作に必要なボタンがわかるように、イラストで表記しています。

手順の操作をすると、どんな画面が表示されるかを表示しています。

このページは説明のためのサンプルです。実際のページと異なる場合があります。

本文中のマークについて

この取扱説明書では、次のマークを使用しています。

マーク	マークの意味
補足	カメラを使用するときに、知っておくと便利な情報を記載しています。
ご注意	カメラを操作するときに、注意していただきたいことを記載しています。
☞	関連情報や参照ページを記載しています。

目次

第4章　撮影状況に合わせて設定する　44

第5章　撮影した画像を再生／編集する　79

第8章　プリントする　150

第9章　画像をパソコンで楽しむ　170

第10章　その他　188

第1章　はじめにご確認ください

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」の内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品のお取り扱いについて

⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガス等がある場所では使用しない。**これらのガスが、大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない。**目に近づけて撮影すると、視力障害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。
- **幼児、子供の手の届く場所に置かない。**以下のような事故発生のおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - 電池やxDピクチャーカードなどの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **通電中の本体や AC アダプタ、クレードルに長時間触れない。**充電中は、本体やクレードルの温度が高くなります。また、専用の AC アダプタをご使用時も長時間使用を続けると、本体の温度が高くなります。長時間、皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない。**火災や感電の原因となることがあります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。**連続発光後も発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
- **分解や改造をしない。**感電やけがをする原因となります。
- **内部に水や異物を入れない。**万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、火災や感電の原因となりますので、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。

⚠ 注意

- **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常が生じたときは使用をやめる。**このようなときは、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。（電池を取り出す際は、やけどの原因となりますので、素手で電池を触らないでください。また、可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）
- **濡れた手で操作しない。**感電の危険があります。
- **クレードルのカメラ接続端子に直接触れない。**カメラ接続端子の金属カバーを誤って押すと、接続部分の接点が露出する場合があります。触れると接続部分の接点が腐食する危険性があるので、触らないでください。
- **持ち運びのときは、ストラップが引っかからないよう注意する。**カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
- **温度の高い所へ放置しない。**部品が劣化したり、火災の原因となります。また、ACアダプタやクレードルを布などで覆った状態で使用しないでください。熱が発生し、火災の原因になります。
- **専用のACアダプタ以外は使用しない。**カメラまたは電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外の AC アダプタの使用により生じた傷害は保障しかねますので、あらかじめご了承ください。
- **電源コードを傷つけない。**電源コードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ずプラグを持って、抜き差しを行ってください。以下の場合は、直ちに使用を中止し、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
  – 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合。
  – 電源プラグや電源コードに傷、断線、またはプラグに接触不良があった場合。

- **カメラの外装の金属部分に、長時間触れない。**
  - 長時間お使いになると、カメラの温度が高くなります。金属部分に皮膚が触れたまま長時間使用を続けると、低温やけどを起こすおそれがあります。
  - 低温下にさらされていると、カメラの外装も低温になります。皮膚が貼り付いてけがをする場合があります。低温やけどや傷害を防ぐため、手袋などをご使用ください。
- **マルチスイングディスプレイとカメラボディの隙間に異物を挟まないよう注意する。**特にバッグなどにいれて持ち運ぶ際など、手帳やカードなどの薄いものが挟まると、故障の原因になったり、電源が入って電池を消耗する可能性があります。

製品の使用条件について

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。本製品を使用または保管する場合、以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる場合がありますので、避けてください。
  - 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所、直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- クレードルにカメラを取り付けた状態で下に向けると、カメラが落下するおそれがあります。
- クレードルにカメラを取り付けた状態でカメラ本体のみを持ち上げないでください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。CCDの退色、焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露する場合があります。ビニール袋などに入れてカメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- 長期間使用しないと、カビがはえたり故障の原因となることがあります。使用前には動作点検されることをおすすめします。

カメラの液晶モニタについて

- 液晶モニタを強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は、中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い落してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。
- 一般に低温になるに従って液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

ACアダプタについて

⚠ 注意

- 付属のACアダプタ以外はご使用にならないでください。また、電源は必ず指定の電圧範囲でご使用ください。
- ACアダプタは室内専用です。
- 接続コードや電源コードをプラグやコンセントから抜くときは、必ずカメラの電源を切ってから行ってください。カメラ内の画像やカメラの設定値、機能にトラブルを生じる場合があります。
- 使用中、ACアダプタが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ACアダプタ内部で発信音がすることがありますが、故障ではありません。
- ラジオの近くで使用すると雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

電池のお取り扱いついて

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- **電池は専用の当社製リチウムイオン電池を使用する。**電池は指定の方法以外で充電しないでください。火災やけがのおそれがあります。ご使用になる際は、電池の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- **火中への投下や、加熱をしない。**火災・破裂の原因となります。
- **強い日なた、炎天下の車内やストーブの前面など、高温の場所で使用・放置しない。**火災・発火の原因となります。
- **直接ハンダ付けしたり、変形や改造・分解をしない。**端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散の原因となり危険です。
- **＋－を金属等で接続しない。**金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- **電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐ水道水などのきれいな水で充分に洗う。**失明の原因となりますので、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

- **乳幼児の手の届かない場所で保管および使用する。**万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- **電池を濡らさない。**水や海水などにつけたりしない。
- **電池に強い衝撃を与えたり、キズをつけない。**
- **液漏れや、変色、変形その他異常を見つけたときは、使用しない。**
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流す。**皮膚に傷害を起こす原因となります。

⚠ 注意

- 付属の電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電池の＋－極が汚れていると、接触不良を起こす原因となります。乾いた布で軽く拭いてください。
- カメラを長時間使用したあとは、電池が熱くなっています。すぐに取り出さないでください。やけどの原因となります。
- 電池は、一般に低温になるに従って一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- **充電池は充電を繰り返すことにより性能が徐々に劣化します。規定の充電時間で充電しても、使用時間が短いと感じられる場合は、電池の寿命が考えられます。その場合は、新しいものとお取り換えください。**

- ご使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には＋－端子をテープで絶縁してから、最寄りの充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは社団法人電池工業会ホームページ（http://www.baj.or.jp/recycle/）をご覧ください。

Li-ion

カードのお取り扱いについて

⚠ 警告

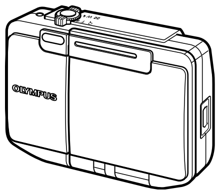
- **乳幼児の手の届く場所に置かない。**あやまって飲み込む恐れがあります。

⚠ 注意

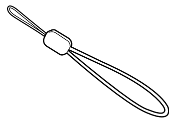
- カードは精密電子機器です。曲げたり、衝撃を与えないでください。また、静電気には十分ご注意ください。カードに保存しているデータは、不揮発性の半導体メモリ内に保存されますが、間違った扱いかたをすると内部データが破壊されます。以下のことに注意してください。破壊されたデータの復旧はできません。
  - 曲げたり衝撃を与えない。
  - 発熱物・発火物の近くや高温多湿なところ、ほこりの多いところで使ったり保管しない。
  - 水に濡らさない。
  - 端子部に直接触れたり金属物をあてない。
  - データの書き込み／読み込み中に電源を切ったり、衝撃を与えたり、カードや電池を取り出したりしない。
- カードの金属部分に指紋や汚れが付着すると、データの読み書きが正常に行われないことがあります。その場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- **カードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去ができなくなります。その場合は新しいカードとお取り換えください。**
- パソコンなど他の機器でフォーマットしたカードは、必ず使用するカメラでフォーマットしてお使いください。
- **他の媒体に保存したデータの損害、またカード内のデータ消滅に関し、当社では一切その責任を負いかねますので了承ください。**

箱の中身を確認する

まずはじめに、箱の中身がすべて揃っているか確かめてください。
万一、付属品が不足していたり、破損していた場合は、お買上げ販売店までご連絡ください。

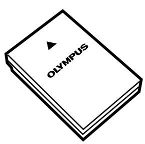


デジタルカメラ

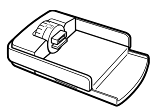

ストラップ

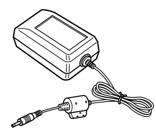


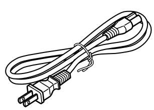
カード
（xDピクチャーカード）

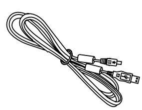


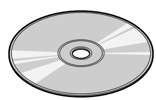
リチウムイオン電池
（LI-12B）

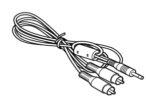

クレードル


ACアダプタ
（A511）


電源コード


USBケーブル


CD-ROM
（OLYMPUS Master）

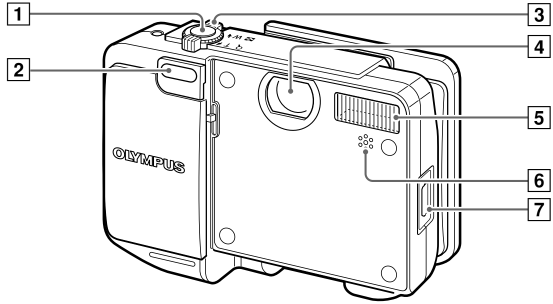

AVケーブル

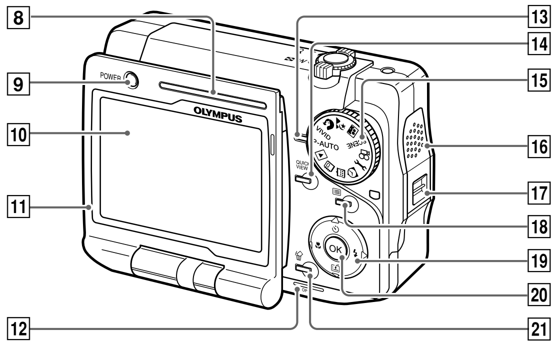
- 取扱説明書（応用編）（本書）
- クイックスタートガイド（基本編）
- 保証書
- 代理店リスト
- ご愛用者登録はがき

各部のなまえ

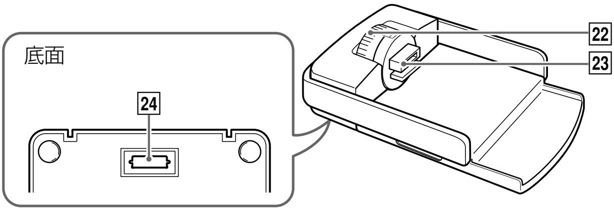
カメラ本体

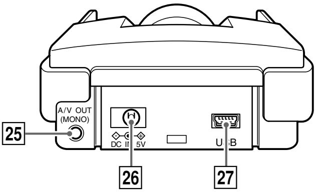
マルチスイングディスプレイを360度回転させて開いた状態です。





クレードル

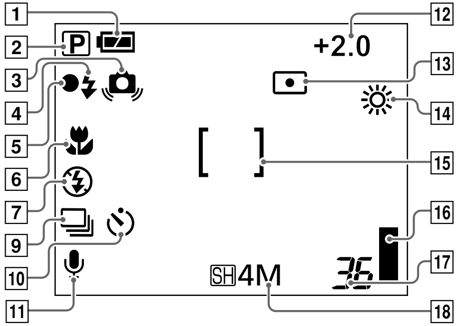




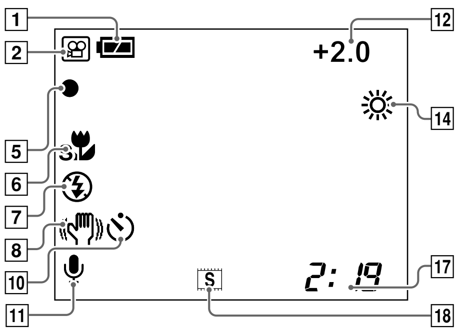
番号	名称	番号	名称
1	シャッターボタン	15	モードダイヤル
2	セルフタイマーランプ	16	スピーカー
3	ズームレバー(W／T)(／)	17	ストラップ取付部
4	レンズ	18	メニューボタン
5	フラッシュ	19	十字ボタン （ ） （ ） （ ） （ ）
6	マイク	20	OKボタン
7	クレードル接続端子	21	消去ボタン
8	パワーランプ	22	接続端子ダイヤル
9	パワースイッチ	23	カメラ接続端子
10	液晶モニタ	24	Dock&Done接続端子
11	マルチスイングディスプレイ	25	AV出力端子
12	電池／カードカバー	26	DC入力端子
13	カードアクセスランプ	27	USB端子
14	クイック再生ボタン QUICK VIEW		

液晶モニタの表示

撮影モード



静止画撮影時

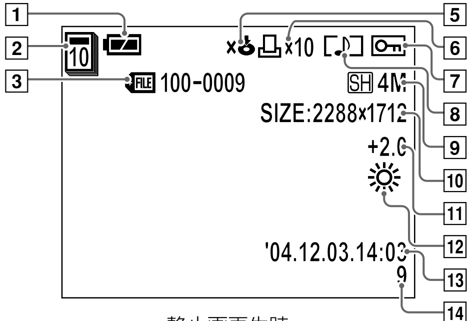


ムービー撮影時

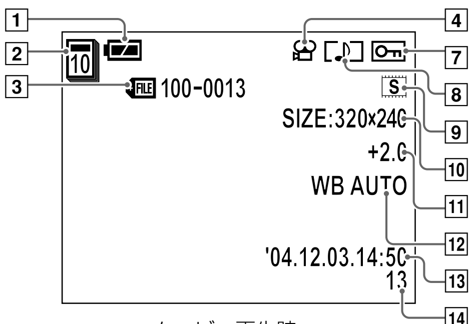
番号	項目	表示例	参照ページ
1	電池残量	、	P.24
2	撮影モード	P、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	P.49 P.205
3	手振れ警告		P.45
4	フラッシュ発光予告 フラッシュ充電	（点灯） （点滅）	P.46 P.207
5	緑ランプ	●	P.37 P.207
6	マクロ	、	P.47
7	フラッシュモード	、、、 （ムービー撮影時はのみ）	P.45
8	手振れ補正		P.76
9	連写	、	P.58
10	セルフタイマー		P.48
11	スチル録音 ムービー録音		P.74 P.78
12	露出補正	−2.0～+2.0	P.60
13	スポット測光		P.66
14	ホワイトバランス	、、、	P.64
15	AFターゲットマーク	[　]	P.37
16	メモリゲージ		P.24
17	撮影可能枚数（静止画） 撮影可能時間（ムービー）	36 2：19	P.55 P.56
18	画質モード	静止画：SH 4M、H 2M、PC 1M、VGA ムービー：F、S、L、	P.55

再生モード

液晶モニタに表示される情報量を選ぶことができます。下の画面は「情報表示」を「詳細」に設定したときの画面です。情報表示について詳しくは、「画像に表示する情報量を切り替える（情報表示）」（☞ 91ページ）をご覧ください。



静止画再生時



ムービー再生時

番号	項目	表示例	参照ページ
1	電池残量	（電池アイコン）、（電池アイコン）	P.24
2	再生モード	（カレンダーモード） （アルバムモード）	P.110 P.117
3	ファイル番号	静止画：FILE 100-0009 ムービー：FILE 100-0013	P.151
4	ムービー	（ムービーアイコン）	P.40
5	ストレージ保存	（保存しない場合／保存が終了している場合）	P.109
6	プリント予約・ プリント枚数	×10	P.154
7	プロテクト	（プロテクトアイコン）	P.105
8	音声	（音声アイコン）	P.74 P.78
9	画質モード	静止画：SH 4M、H 2M、PC 1M、VGA ムービー：F、S、L、（アイコン）	P.55
10	画像サイズ	静止画：2288×1712、1600×1200、1024×768、640×480 ムービー：640×480、320×240、160×120、800×600	P.55
11	露出補正	−2.0～+2.0	P.60
12	ホワイトバランス	（晴天）、（曇天）、（電球）、（蛍光灯）	P.64
13	撮影日時	静止画：'04.12.03.14:03 ムービー：'04.12.03.14:50	—
14	コマ番号	静止画：9 ムービー：13	—

電池マークについて

カメラの電源を入れたときや使用中に電池残量が少なくなると、液晶モニタの電池残量表示が以下のように変化します。

点灯（緑）
撮影できます。

→ 点滅（赤）
電池残量が少なくなりました。
早めに充電してください。

→ 「電池残量がありません」と表示されます。
電池残量が完全になくなりました。電池を充電してください。

補足

デジタルカメラは、動作状態により消費電力が大きく変わります。カメラの動作状態によっては、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。その際は電池を充電してください。

メモリゲージについて

静止画撮影した画像をカードに保存しているときには、メモリゲージが点灯します。メモリゲージの表示は、撮影状態によって以下のように変化します。メモリゲージがすべて点灯したときは、しばらく待って消えてから撮影を再開してください。



メモリゲージ

撮る →
← しばらくすると

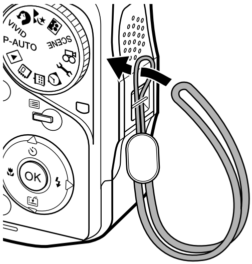
撮影前
（消灯）

1 枚撮影
（点灯）

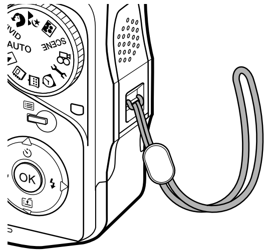
撮影できません
（すべて点灯）
しばらく待って撮影前の状態に戻ったら次の撮影ができます。

第2章　撮影する前の準備

ストラップを取り付ける



ストラップを図のように
通します。



少し強めに引っ張り、ゆるんで抜
けないことを確認してください。

ご注意

- ストラップを持ってカメラを振り回したり、無理に引っ張らないでください。ストラップが切れる場合があります。
- 手順に従って、ストラップを正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりストラップがはずれてカメラを落とすなどした場合、損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

電池／カードについて

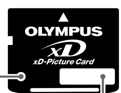
電池について

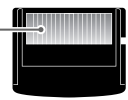
このカメラでは、当社製リチウムイオン電池LI-12B（付属）またはLI-10Bを1個使用します。それ以外の電池は使用できませんのでご注意ください。お買い上げの際の電池は充分に充電されていません。ご使用の前に付属のクレードルを使って充電をしてください。充電のしかたについて詳しくは、「充電する」（☞ 30ページ）をご覧ください。

カードについて

このカメラでは撮影した画像をxDピクチャーカード（以下カード）に保存します。カードに保存された画像は、削除したり上書きすることが可能です。また、カードに保存された画像をパソコンに転送して、加工、編集することもできます。

メモリサイズ
カードの保存容量（16MB/32MB/64MB/128MB/256MB/512MB）が表示されています。





インデックスエリア
カードに保存されている内容をここに記入することができます。

コンタクトエリア（接触面）
カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。この部分には直接手を触れないでください。

使用できるカード

xDピクチャーカード（16～512MB）

xDピクチャーカードとは

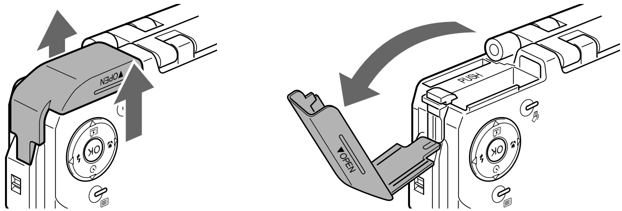
xDピクチャーカードは、デジタルカメラ用に開発された超小型記録媒体です。xDピクチャーカード対応のデジタルカメラでの使用が可能です。

ご注意

当社製以外のカードや、パソコンなど他の機器でフォーマットしたカードは、このカメラで認識できないことがあります。お使いになる前に、必ずこのカメラでフォーマットしてください。カードのフォーマットについて詳しくは、「カードを初期化する（カードフォーマット）」(☞ 143ページ)をご覧ください。

電池／カードを入れる

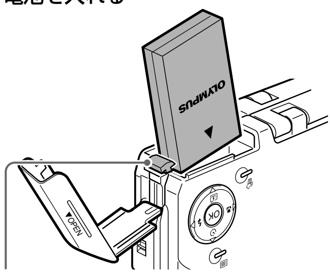
1　電池／カードカバーを開けます。



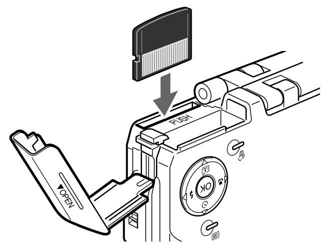
電池／カードカバーの両側を、
指で挟んで押し上げます。

2　電池とカードを図のように入れます。

電池を入れる　　**カードを入れる**



電池ロックレバー
電池で電池ロックレバーを軽く押し上げながら入れます。

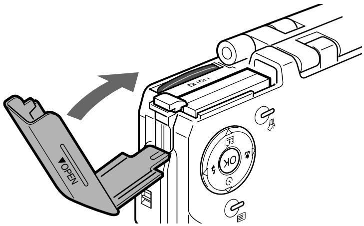


カチッと音がするまで差し込みます。

ご注意

- カードが斜めに入らないように、まっすぐに押し込みます。
- カードの向きを間違えたり、斜めに入れた場合、接触面が破壊されたり、カードがカメラから抜けなくなることがあります。
- カードカバーに無理な力を加えないでください。破壊の原因になります。

3 電池／カードカバーを閉じます。

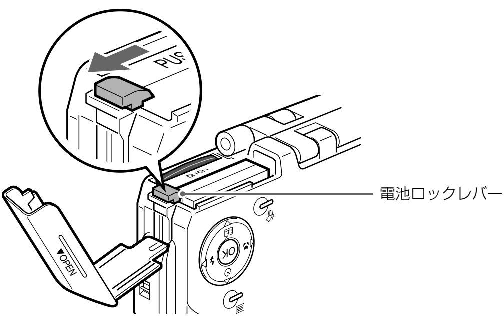


ご注意

- 電池／カードカバーが正しく閉じていないと、カメラは作動しません。
- カメラ作動中やパソコンとの通信中には、電池／カードカバーを開ける、ACアダプタを抜く、クレードルからカメラを取りはずすなどは絶対に行わないでください。カード内のデータが破壊するおそれがあります。破壊されたデータの復旧はできません。

電池を取り出すときは

電池ロックレバーを矢印の方向へ押します。電池が出てきたら、つまんで取り出します。

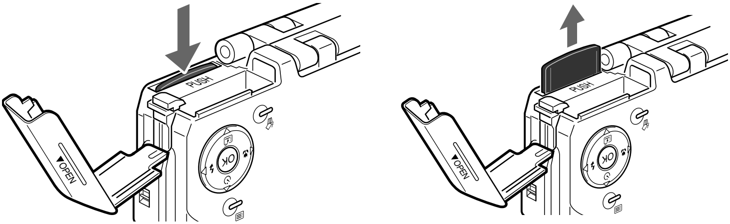


ご注意

電池をはずした状態で約1日放置すると、設定保持を「する」にしても初期設定に戻る場合があります。

カードを取り出すときは

カードを矢印の方向に押します。カードが出てきたら、つまんで取り出します。



ご注意

カードを取り出す際に、カードを押した指をすぐに離したり、指ではじくように押し出すと、カードが勢いよく飛び出すことがありますので、ご注意ください。

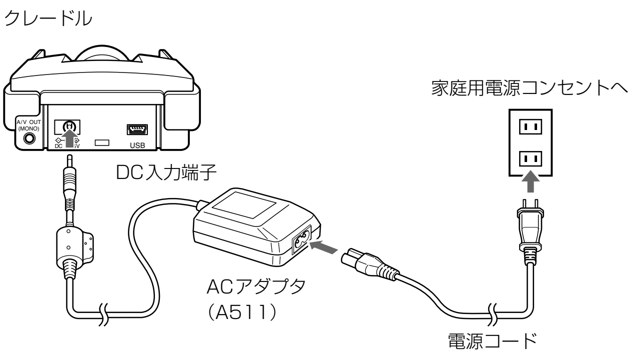
充電する

お買い上げ時には、付属のリチウムイオン電池（LI-12B)は充分に充電されていません。お使いになる前に、付属のクレードルにカメラを取り付けて充電してください。

補足

充電をするときは、マルチスイングディスプレイを閉じる、またはパワースイッチを押して、カメラの電源を切ってください。カメラの電源が入っている状態では充電できません。

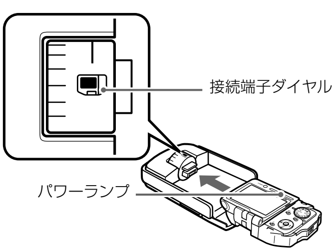
1 クレードルにACアダプタを接続します。



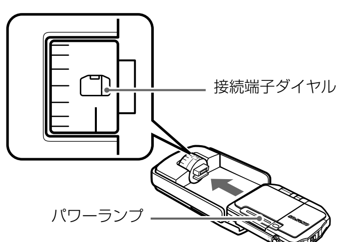
2 カメラをクレードルに取り付けます。

接続端子ダイヤルに表示されているマークは、カメラの向きを表しています。カメラの向きに合わせて、接続端子ダイヤルの位置を合わせます。

マルチスイングディスプレイを開いた状態で取り付ける場合



マルチスイングディスプレイを閉じた状態で取り付ける場合



3 充電が始まります。

充電中はパワーランプがゆっくりと点滅し、終了すると消灯します。

ご注意

- 別売の充電器（LI-10C）でも充電することができます。専用の充電器以外は使用しないでください。
- 充電中にエラーが起こると、パワーランプが速く点滅します。電池を入れ直すか、クレードルとACアダプタを接続し直してください。
- クレードルにカメラを取り付けた状態で下に向けると、カメラが落下するおそれがあります。
- クレードルにカメラを取り付けた状態でカメラ本体のみを持ち上げないでください。

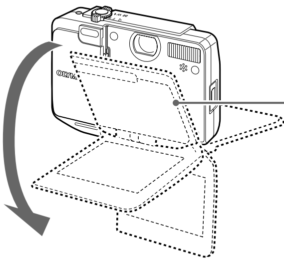
補足

- パソコンへ画像をダウンロードしたり、プリンタへ出力するときなど、時間がかかる作業や、スライドショーの再生などは、ACアダプタのご使用をおすすめします。付属のACアダプタについては、「ACアダプタについて」(☞ 14ページ)も必ずご覧ください。
- AC アダプタ（100-240V）を海外でお使いになる場合は、その地域の電源コンセントの形状に合った変換プラグが別途必要になります。変換プラグについては、旅行代理店などにご相談ください。
- リチウムイオン電池は、電池残量を使い切らない状態で充電しても、電池寿命が短くなることはありません。

電源を入れる／切る

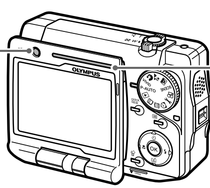
マルチスイングディスプレイを開く

このカメラは、マルチスイングディスプレイを開くと自動的に電源が入ります。閉じると電源が切れます。



パワースイッチを押す

マルチスイングディスプレイを開いた状態で電源が切れている場合は、パワースイッチを押して電源を入れます。電源が入るとパワーランプが点灯します。電源を切りたい場合は、もう一度パワースイッチを押してください。

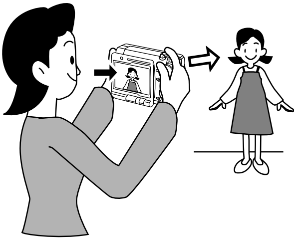


補足

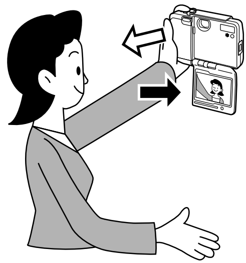
- 電源を入れたままで何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、カメラはスリープモード（待機状態）に入り、パワーランプも消灯します。いずれかの操作ボタンを押すと、スリープモードから復帰します。スリープモードに入るまでの時間は、設定することができます。スリープ時間の設定について詳しくは、「スリープ時間を設定する（スリープ時間）」（☞ 127 ページ）をご覧ください。
- カメラが撮影モードのときに、マルチスイングディスプレイを開いて自動的に電源が入った場合、最初の操作が30秒以内に行われないと、自動的に電源が切れる場合があります。
- 電源を入れると、自動的にカードチェックが行われます。画面にメッセージが表示されたら、「エラーメッセージ一覧」（☞ 188ページ）をご覧になって、対処方法を確認してください。

マルチスイングディスプレイの使いかた

このカメラはマルチスイングディスプレイを回転させることにより、さまざまなアングルでの撮影が可能です。液晶モニタを見ながらお好みのアングルを決めて、撮影してください。



360度回転させて通常の撮影



液晶モニタを見ながら自分撮り
モードダイヤルを に合わせると、液晶モニタの画像が反転するので、液晶モニタに写る自分を確認しながら撮影できます。



ハイアングル
自分の目線より高い位置にある被写体を撮影するときなどに便利です。



ローアングルで撮影
地面に近い位置にある被写体を撮影するとき、子供や子犬などを撮影するときに便利です。

ご注意

- マルチスイングディスプレイに無理な力を加えないでください。故障の原因となります。
- ローアングルで撮影する際に、太陽の光などが液晶モニタに反射し、画像に写りこむことがあります。

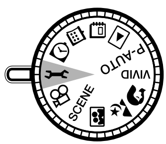
日付／時刻を設定する

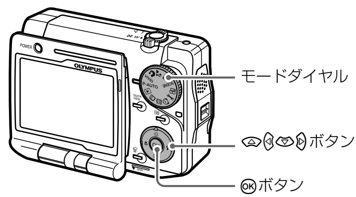
お買上げ時には日付や時刻は設定されていません。撮影する前に日付や時刻を設定しておくと、撮影した画像と一緒に日時も保存されるので、プリントするときなどに便利です。

補足

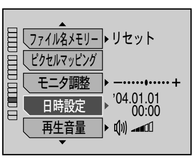
日付を設定していないと、電源を入れるたびに「日時を設定してください」と画面に表示されます。

1 モードダイヤルを回して、に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。





2 、ボタンを押して「日時設定」を選び、ボタンを押して日時の設定に入ります。



3 日付表示の順番を選びます。

が選択されているときに、、ボタンを押して「年・月・日」、「月・日・年」、「日・月・年」の３種類の中から、日付の表示順を選びます。以降の手順は「年・月・日」を選んだ場合を説明します。



4 ボタンを押して、「年」の設定に移動します。

、ボタンを押して、「年」を設定します。「年」を設定したら、ボタンを押して「月」の設定に移動します。同じ手順で、「分」までの設定を行ってください。



補足

- 「年」の上2桁は固定されています。
- ボタンを押すと、ひとつ前の数値の設定位置に戻ります。
- カメラの時間表示は24時間形式で表示しています。
- 電源を切っても、日時の設定内容は消去されません。

5 ボタンを押して、日時の設定を確定します。

ボタンを押すと同時に、時計が動きはじめます。

ご注意

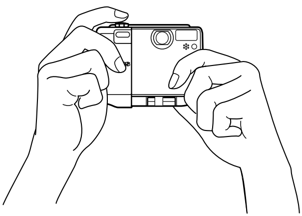
電池をはずした状態で約１日放置すると、設定した日付は解除されます(当社試験条件による)。この場合は、再度日時の設定を行ってください。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日付が解除されます。

第3章　簡単な撮影／再生

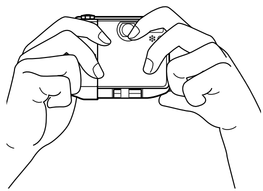
カメラの正しい構えかた

両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。腕が伸びていたり、脇が開いていると手振れの原因となります。

カメラを横に構える



悪い例



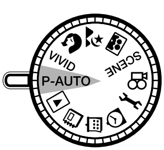
レンズとフラッシュに指やストラップがかからないように注意してください。

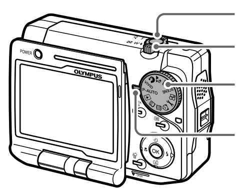
P-AUTO（プログラムオート）で簡単に撮影する

まずはじめに、カメラまかせのP-AUTO（プログラムオート）で簡単に撮影してみましょう。P-AUTOモードは、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に設定されるので、はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影することができます。

構図を決めて撮影する

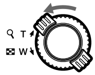
1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**に合わせます。



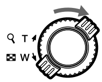


2 カメラを被写体に向け、構図を決めます。

液晶モニタに表示されているAFターゲットマークに被写体を合わせます。



ズームレバーをW側（▦）へ回すと、より広い範囲を撮影できます（広角）。



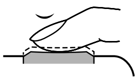
T側（Q）へ回すと、遠くのものを拡大して撮影できます（望遠）。



3 シャッターボタンを静かに軽く押します。これを半押しといいます。

ピントと露出が決まると、緑ランプが点灯します。

緑ランプが点滅している場合はピントが合っていません。構図を少し変えて、緑ランプが点灯するまでシャッターボタンを半押ししてください。

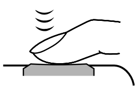


半押し

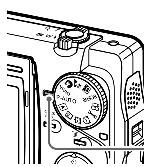


4 半押しした状態から、シャッターボタンをさらに押し込みます。これを全押しといいます。

撮影が行われ、カードアクセスランプが点滅します。撮影した画像はカードに保存されます。



全押し



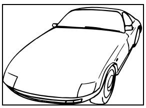
ご注意

カードアクセスランプが点滅しているときは、電池／カードカバーを開けないでください。書き込み中の画像が保存されなかったり、撮影した画像が破壊する場合があります。

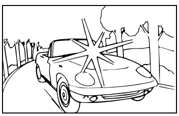
AF（オートフォーカス）が苦手な被写体

このカメラはオートフォーカスでピントを合わせることができますが、撮影状況によってはピントが合いにくいことがあります。ピントが合いにくい場合は、以下の方法で撮影してみてください。

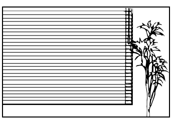
ピントが合いにくい撮影状況



コントラストがはっきりしない被写体
被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックをしたあとに、構図を決めて撮影してください。



画面中央に極端に明るいものがある場合
被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックをしたあとに、構図を決めて撮影してください。

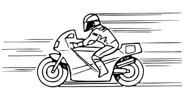


縦線のない被写体
カメラを縦位置に構えてフォーカスロックをしたあとに、構図を横に戻して撮影してください。

緑ランプは点灯するが写したものにピントが合わない



遠いものと近いものが混在する場合
緑ランプが点灯しても撮影したい被写体がぼけているときは、同じ距離にあるものでフォーカスロックしてから元の構図に戻して撮影してください。



動きの速いもの
あらかじめ撮影したい被写体と同じ距離にあるものでフォーカスロックをしてから、元の構図に戻して撮影してください。



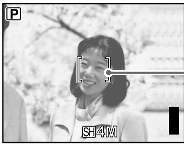
補足

フォーカスロックについて詳しくは、「ピントを合わせてから構図を決める（フォーカスロック）」（☞ 39ページ）をご覧ください。

ピントを合わせてから構図を決める（フォーカスロック）

ピントを合わせたい被写体が AF ターゲットマークからはずれる（画面の中央にない）ときは、次の操作でピントを固定して撮影することができます。この操作をフォーカスロックといいます。

1 ピントを合わせたい被写体にAFターゲットマークを合わせます。



AFターゲットマーク

補足

ピントが合いにくいものの場合は、まず撮影したいものとほぼ同じ距離のものにカメラを向けます。

2 シャッターボタンを半押しします。

補足

- ピントと露出が決まると、緑ランプが点灯します。
- 緑ランプが点滅したときは、ピントが決定されていません。シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらして、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

3 半押しの状態のまま、撮影したい構図にカメラを動かします。



4 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押して、撮影します。

ムービーを撮影する

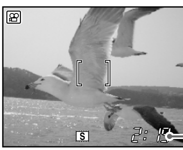
このカメラでは静止画だけでなく、ムービー（動画）も撮影できます。ムービーを撮影するときは、撮影モードをムービーに設定し、液晶モニタを見ながらムービー撮影をします。

補足

- 音声を同時に記録している場合、撮影中はピントと光学ズームが固定されます。
- 音声なしでムービー撮影したいときは、「ムービー録音」を「オフ」に設定してください。詳しくは、「撮影に合わせて音声を録音する（ムービー録音）」（☞ 78ページ）をご覧ください。
- ムービー撮影中のこまかい手振れを補正することができます。詳しくは、「ムービー撮影時の手振れを補正する（手振れ補正）」（☞ 76ページ）をご覧ください。

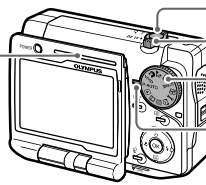
1 モードダイヤルを回して、に合わせます。

ムービー撮影モードになります。



撮影可能時間が表示されます。

液晶モニタを見ながら、AF ターゲットマークを被写体に合わせます。



補足

ズームレバーをW側（）へ回すと、より広い範囲を撮影できます（広角）。T側（Q）へ回すと、遠くのものを拡大して撮影できます（望遠）。ズームについて詳しくは、「望遠や広角撮影をする（ズーム）（W/T）」（☞ 44ページ）をご覧ください。

2 シャッターボタンを静かに軽く押します（半押し）。
ピントと露出が決まると、緑ランプが点灯します。

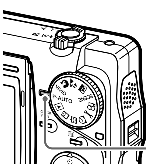


補足
ムービー撮影中、ピントを固定しないで（被写体にあわせてAFしつづける）撮影することもできます。詳しくは、「ムービー撮影時のオートフォーカスの設定をする（フルタイムAF）」（☞77ページ）をご覧ください。

3 半押しした状態から、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。
撮影が始まります。撮影中はパワーランプが点滅します。

補足
ムービー撮影中は🎥マークが赤く表示され、残りの撮影可能時間が表示されます。

4 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。
カードアクセスランプが点滅している間は、カードへの保存が続いています。撮影を終了してもカードアクセスランプが点滅している場合は、次の撮影はできません。

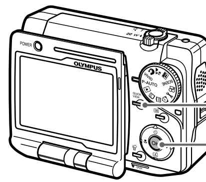


補足
- 撮影可能時間が0になると、シャッターボタンを押さなくても自動的に撮影が終了します。
- ムービー撮影は、画像の保存にしばらく時間がかかることがあります。

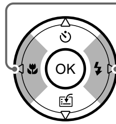
撮影した画像を再生／消去する

QUICK VIEWボタンを使って簡単に再生する

撮影が終わったあとに、QUICK VIEWボタンを押すと、最後に撮影した静止画画像、またはムービー画像が表示されます。







ムービーを再生するには

ムービー画像を表示したあとにOKボタンを押すと、ムービー再生が始まります。

撮影モードに戻るには

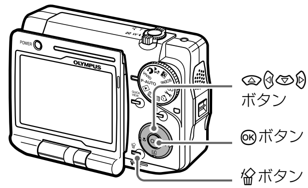
もう一度QUICK VIEWボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

補足

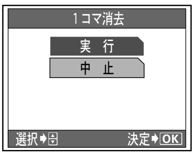
- モードダイヤルを▶に合わせて、撮影した画像を再生することもできます。モードダイヤルを使った再生方法について詳しくは、「静止画を再生する」（☞ 79ページ）／「ムービーを再生する」（☞ 81ページ）をご覧ください。
- 1コマ表示をしているときにOKボタンを押すと、録音した音声を再生します。
- 1コマ表示をしているときに、ズームレバーをT側（Q）へ回すと、画像を1.5倍、2倍、2.5倍、3倍、3.5倍、4倍の順に拡大して表示します。W側（▦）に回すと、4分割、9分割、16分割、25分割の順に複数表示します（インデックス再生）。インデックス再生について詳しくは、「画像を一覧で見る（インデックス再生）」（☞ 84ページ）をご覧ください。

🗑ボタンを使って画像を消去する

1 消去したい画像を表示して、🗑ボタンを押します。
「1コマ消去」画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して、「実行」を選びます。



3 OKボタンを押します。
選んだ画像が消去されます。

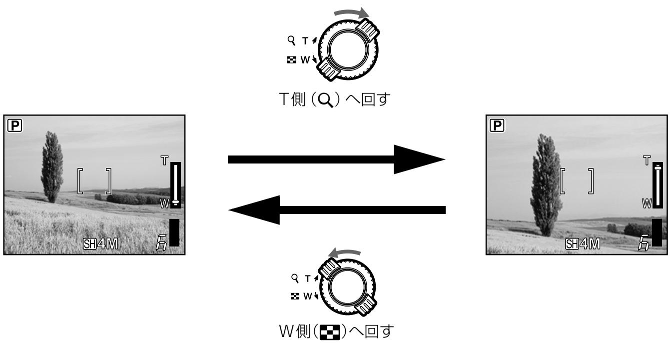
第4章　撮影状況に合わせて設定する

望遠や広角撮影をする（ズーム）(W ／ T)

ズーム倍率 2.8 倍（光学ズーム、35mm フィルム換算：40mm ～ 112mm）まで、望遠や広角撮影が行えます。

補足

デジタルズームと組み合わせて使うと、約30倍相当の撮影が行えます。デジタルズームについて詳しくは、「デジタルズームを使う（デジタルズーム）」（☞ 62ページ）をご覧ください。



フラッシュを使う(⚡) 👁 ⚡ ⚡

カメラはあらかじめオート発光に設定されていますが、撮影目的に合わせて、以下の５種類から選べます。

オート発光（初期設定）

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。

(⚡)ソフト発光

フラッシュの発光を、通常より弱くしてあります。オート発光や強制発光では明るくなりすぎるときに使うと効果的です。

👁赤目軽減

暗いところで人物を撮影すると目が赤く写ることがありますが、「赤目軽減」に設定すると、この現象が軽減されます。フラッシュが発光する前に数回の予備発光をさせて、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。

ご注意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで、約１秒かかります。カメラをしっかり構えて手振れを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合など、個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

⚡強制発光

撮影場所の明るさに関係なく、フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影に使います。

⚡発光禁止

フラッシュは発光しません。暗いところでも発光させたくないときに使います。フラッシュが届かない夜景、夕景を撮りたいときにも使います。

ご注意

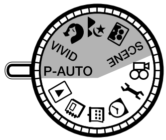
暗いところの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手振れにご注意ください。手振れのおそれがあるときは、（手振れ警告）マークが点滅します。（☞ 21ページ）

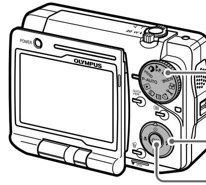
補足

- モードダイヤルの「SCENE」に、「夕日」、「ドキュメント」、「キャンドル」、「寝顔」を設定している場合は、フラッシュは自動的に発光禁止になります。
- ムービー撮影時、フラッシュは自動的に発光禁止になります。

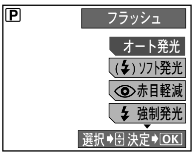
第４章　撮影状況に合わせて設定する

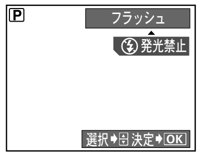
1 モードダイヤルを回して、P-AUTO、VIVID、[icon]、[icon]、[icon]、SCENEのどれかに合わせます。





2 [icon]（⚡）ボタンを押して、フラッシュの設定画面を表示します。





3 [icon]、[icon]ボタンを押してフラッシュの設定を選び、[OK]ボタンを押します。
選んだフラッシュのモードが設定され、撮影モードに戻ります。「オート発光」以外のフラッシュに設定すると、画面にフラッシュモードのマークが表示されます。

フラッシュ発光予告マーク（フラッシュが発光するときに点灯します）

選択されたフラッシュモード



> • **フラッシュ到達距離について**
> フラッシュ使用時の適正撮影距離は以下のとおりです。
>
> **撮影距離（広角W側）：約0.3～4.3 m**
>
> **撮影距離（望遠T側）：約0.3～2.5 m**

> • **フラッシュ充電について**
> フラッシュ充電中は、⚡マークが点滅します。

近くのものを撮影する（マクロ／スーパーマクロ）

花などの被写体に近づいて撮影することをマクロ撮影といいます。通常の撮影では近接した被写体にピントを合わせるのに時間がかかりますが、マクロモードにすると近接撮影のピント合わせが早くなります。

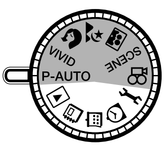


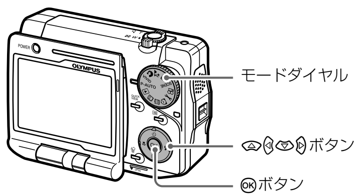
（マクロ）
約 30cm ～ 50cm まで被写体に近づけます。



（スーパーマクロ）
約 3cm まで被写体に近づけます。

1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**、**VIVID**、、、、**SCENE**、のどれかに合わせます。





2 （）ボタンを押して、マクロの設定画面を表示します。

3 、ボタンを押してマクロの設定を選び、ボタンを押します。
選んだマクロが設定され、撮影モードに戻ります。マクロを設定すると画面にマークが表示され、スーパーマクロを設定するとマークが表示されます。



ご注意

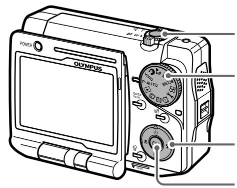
- （マクロ）でフラッシュを使うと、影が目立ったり適正な明るさにならないことがあります。
- （スーパーマクロ）では、ズームやフラッシュは使えません。

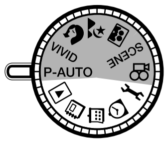
第4章 撮影状況に合わせて設定する

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマー撮影では、シャッターボタンを押してから、約12秒後にシャッターが切れます。

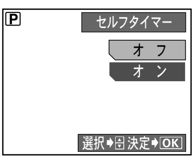
1 モードダイヤルを回して、P-AUTO、VIVID、（人物）、（夜景）、（風景）、SCENE、（動画）のどれかに合わせます。



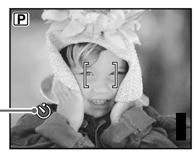


2 （セルフタイマー）ボタンを押して、セルフタイマーの設定画面を表示します。

3 ボタンを押して「オン」を選び、OKボタンを押します。
セルフタイマーが設定され、撮影モードに戻ります。



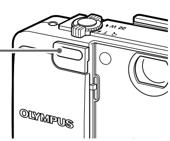
セルフタイマーを設定すると、画面に マークが表示されます。



4 シャッターボタンを押して、撮影します。
シャッターボタンを押してから、約12秒後にシャッターが切れます。

補足

- シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが約10秒間点灯します。さらに約2秒間点滅したあとに、シャッターが切れます。
- セルフタイマーは、一回の撮影が終わると自動的に解除されます。
- 作動中のセルフタイマーを中止したい場合は、（セルフタイマー）ボタンを押してください。



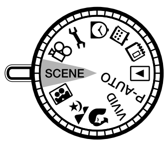
ご注意

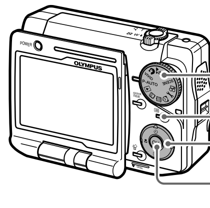
カメラレンズの直前に立って、セルフタイマーを作動しないでください。ピントや露出が合わなくなります。

撮りたいものに合わせて撮影シーンを選ぶ（シーン選択）

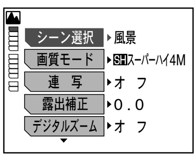
このカメラには、17 種類の撮影シーンがすでに設定されています。色合いや明るさ、シャッタースピードなどの設定が、撮影シーンごとにあらかじめ決められていますので、シャッターボタンを押すだけの手軽な撮影ができます。

1 モードダイヤルを回して、SCENEに合わせます。





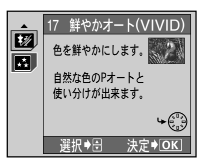
2 ボタンを押して、撮影メニュー画面を表示します。
、ボタンを押して、「シーン選択」を選びます。



3 ボタンを押して撮影シーンの設定に入り、、ボタンを押して、撮影シーンを選びます。
選択している撮影シーンのサンプル画像が表示されます。



選択しているモード



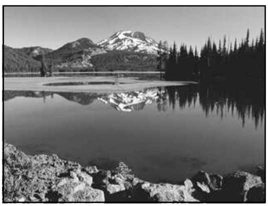
サンプル画像が表示されたあと、どのような撮影に適しているかが表示されます。

4 設定したい撮影シーンを選んだら、㊍ボタンを押します。
モードダイヤルの**SCENE**に、選んだ撮影シーンが設定されます。☰ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

選んだ撮影シーンが表示されます。



風景



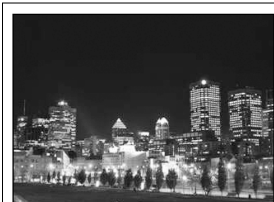
風景を撮影するのに最適です。
青・緑の色をきれいに再現します。

風景＆人物



風景を背景にした人物を撮影するのに最適です。
青・緑・肌の色をきれいに再現します。

夜景（モードダイヤル でも選択できます。）



夜景を撮影するのに最適です。
通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。

シャッター速度が遅くなります。手振れにご注意ください。

夜景＆人物



夜景を背景に人物を撮影するのに最適です。
通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。

シャッター速度が遅くなります。手振れにご注意ください。

パーティショット



パーティなどで人物を撮影するのに最適です。
背景の雰囲気もきれいに再現されます。

打ち上げ花火



夜空の花火を撮影するのに最適です。
通常の撮影よりも遅いシャッター速度で撮影します。

シャッター速度が遅くなります。手振れにご注意ください。

夕日



夕日を撮影するのに最適です。
赤・黄の色を鮮やかに再現します。

フラッシュは使用できません。手振れにご注意ください。

ポートレート（人物）（モードダイヤルでも選択できます。）



人物を撮影するのに最適です。
肌の質感を強調します。

セルフポートレート（モードダイヤルでも選択できます。）



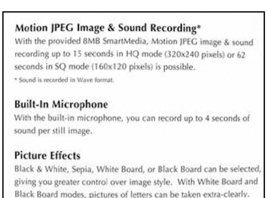
撮影者がカメラを持ち自分を撮影するのに最適です。

料理



料理を撮影するのに最適です。
料理の色合いをはっきりと再現します。

ドキュメント



Motion JPEG Image & Sound Recording*
With the provided 8MB SmartMedia, Motion JPEG image & sound recording up to 15 seconds in HQ mode (320x240 pixels) or 62 seconds in SQ mode (160x120 pixels) is possible.
* Sound is recorded in Wave format.

Built-In Microphone
With the built-in microphone, you can record up to 4 seconds of sound per still image.

Picture Effects
Black & White, Sepia, White Board, or Black Board can be selected, giving you greater control over image style. With White Board and Black Board modes, pictures of letters can be taken extra-clearly.

書類や時刻表を撮影するのに最適です。
文字と背景の明暗をはっきりと再現します。

フラッシュは使用できません。手振れにご注意ください。

スポーツ



動きのある被写体を撮影するのに最適です。
動いている被写体も止まっているように撮影します。

ビーチ&スノー



晴天の海や雪山で撮影するのに最適です。
空・緑・人物をきれいに再現します。

キャンドル



キャンドルライトをいかした雰囲気のある画像を撮影するのに最適です。
温かみのある色が再現されます。

フラッシュは使用できません。手振れにご注意ください。

寝顔



薄暗い場所でフラッシュを発光させない撮影に最適です。

フラッシュは使用できません。手振れにご注意ください。

ショーウィンドウ



ガラス越しの被写体を撮影するのに最適です。

鮮やかオート（VIVID）（モードダイヤルVIVIDでも選択できます。）



色を鮮やかに強調します。
自然な色のPオート（プログラムオート）と使い分けができます。

画質モードを選ぶ（画質モード）

画像をカードに記録するときの、画質モードを用途に応じて選びます。

●静止画

画質モード	画像サイズ	音声なしでの撮影可能枚数（16MBの場合）	使用例
スーパーハイ 4M*	2288×1712	16	撮影可能枚数は少なく、画像の記録に時間がかかりますが、A4などの大きいサイズできれいにプリントしたり、パソコンでコントラストの調整や赤目補正などの加工を行うのに適しています。
ハイ 2M	1600×1200	32	はがき大にプリントするのに適しています。また、パソコンで画像の上に文字を入力したり、画像の回転などの編集を行うのに適しています。
PCモニタ 1M	1024×768	58	画質は標準的、画像サイズは小さくなりますが、撮影可能枚数は多くなります。パソコンで画像を見るのに適しています。
EメールVGA	640×480	99	画質は標準的、画像サイズが小さいので、メールに添付して送信するのに便利です。

*お買い上げ時は、スーパーハイ 4Mに設定されています。

補足

- 撮影可能枚数はおおよその目安です。
- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。
- 撮影や画像の消去をしても、撮影可能枚数は変わらないことがあります。
- スチル録音時は、撮影可能枚数が少なくなります。

画像サイズ

画像をカードに記録する際の大きさ（横の画素数×縦の画素数）です。画像をプリントするときは、大きなサイズで記録しておくときれいにプリントされます。ただし、画像サイズが大きくなるほどファイルサイズ（データの量）も大きくなり、カードに記録できる枚数は少なくなります。

画像サイズとパソコンモニタ上での画像の大きさ

撮影した画像をパソコン上で見る場合に表示される画像の大きさは、パソコンのモニタ設定によって異なります。たとえば、1024×768ピクセルの画像サイズで撮影された画像は、パソコンのモニタ設定が1024×768のとき画像を等倍（100%）で表示すると、モニタ全体に表示されます。モニタ設定がそれ以上（1280×1024など）になると、モニタの一部にしか表示されません。

●ムービー（一度に連続して撮影できる時間）

画質モードによっては、連続撮影可能時間が異なります。

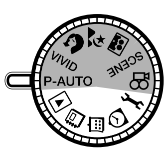
画質モード	画像サイズ（コマ／秒）	撮影可能時間（音声あり）（16MBの場合）	撮影可能時間（音声なし）（16MBの場合）
ファイン	640×480（15コマ／秒）	17秒	17秒
スタンダード*	320×240（30コマ／秒）	34秒	35秒
ロングプレイ	160×120（15コマ／秒）	3分59秒	4分42秒
動画切取り	800×600（15コマ／秒）	10秒（カード容量によらず一定）	10秒（カード容量によらず一定）

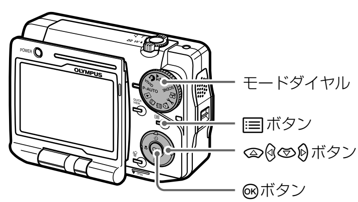
*お買い上げ時は、スタンダードに設定されています。

補足

- 撮影可能時間はおおよその目安です。
- 撮影や画像の消去をしても、撮影可能時間は変わらないことがあります。

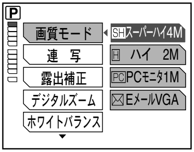
1 モードダイヤルを回して、P-AUTO、VIVID、、、、SCENE、のどれかに合わせます。





2 ☰ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、△、▽ボタンを押して、「画質モード」を選びます。

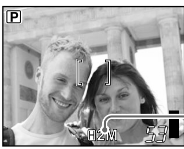
▷ボタンを押して画質モードの設定に入り、△、▽ボタンを押して、画質モードを選びます。



画面は静止画撮影メニューを表示した場合です。

3 設定したい画質モードを選んだら、OKボタンを押します。

選んだ画質モードが設定されます。☰ ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。



選んだ画質モードが表示されます。

補足

カメラの電源をオフにしても、設定した画質モードを記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞123ページ）をご覧ください。

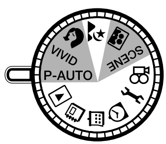
連続して撮影する（連写）

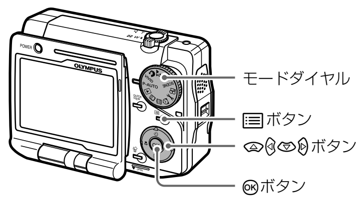
シャッターボタンを押している間、静止画を連続して撮影します（画質モードがスーパーハイ 4Mの場合、約7コマ連続撮影できます）。
連続した画像の中から好みの画像を選べるため、動いているものの撮影におすすめです。

補足

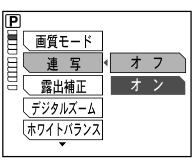
- 連写に設定すると、スチル録音、パノラマ撮影、合成ツーショットは設定できません。
- フラッシュは自動的に発光禁止になります。
- セルフタイマーは5コマのみの撮影になります。
- モードダイヤルの「SCENE」に、「夜景」、「夜景＆人物」、「打ち上げ花火」、「夕日」、「キャンドル」、「寝顔」を設定している場合は、連写を「オン」に設定することはできません。
- ムービー撮影には、連写は設定できません。

1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**、**VIVID**、、、**SCENE**のどれかに合わせます。





2 ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、、ボタンを押して、「連写」を選びます。
ボタンを押して連写モードの設定に入り、、ボタンを押して、「オン」を選びます。



3 ボタンを押します。

連写が「オン」に設定されます。ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

連写がオンに設定されると、マークが表示されます。



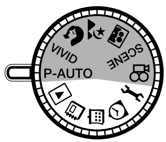
補足

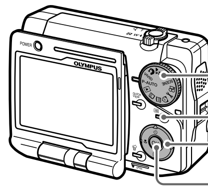
- シャッターボタンを全押ししている間は連写が続きます。指を離すと連写はとまります。
- 最初の１コマで、ピントと露出が決定されます。

明るい／暗い被写体に適した設定をする（露出補正）

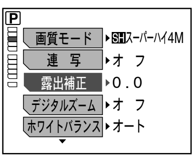
被写体が非常に明るかったり、暗かったりする場合や、被写体と背景の明るさの差が非常に大きい場合は、露出補正をすることで明るさの調整ができます。1/2段刻みで±2.0の範囲で調整できます。

1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**、**VIVID**、、、、**SCENE**、のどれかに合わせます。



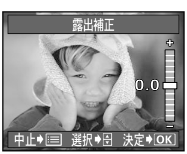


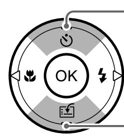
2 ボタンを押して、撮影メニュー画面を表示します。
、ボタンを押して、「露出補正」を選びます。



画面は静止画撮影メニューを表示した場合です。

3 ボタンを押して露出補正の設定に入り、、ボタンを押して、補正値を設定します。
画面に露出補正用の目盛が表示されます。





4 ㊢ボタンを押します。

選んだ補正値が設定されます。☰ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。



露出補正値
露出補正値を±０以外に設定すると、設定した値が画面に表示されます。±０に設定すると表示は消えます。

補足

- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、プラス（+）に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときには逆に、マイナス（−）に補正すると効果的です。
- 撮影後は、露出補正値を０（ゼロ）に戻しておくことをおすすめします。
- カメラの電源をオフにしても、設定した露出補正値を記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞123ページ）をご覧ください。

ご注意

フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。

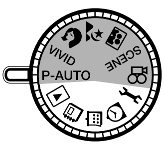
デジタルズームを使う（デジタルズーム）

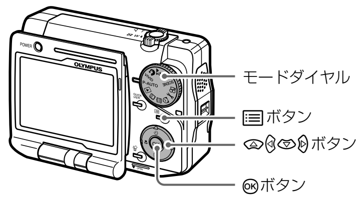
このカメラは通常のズーム（光学ズーム）とデジタルズームの2つのズームを備えています。光学ズームの操作はズームレバーを回すだけで動作しますが、デジタルズームは設定を「オン」にすることで動作します。デジタルズームを「オン」に設定すると、最大11倍まで拡大することができます。

補足

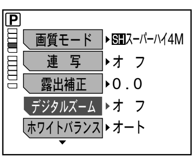
デジタルズームは、光学ズームとしくみが異なり、カメラがとらえた画像をデジタル処理して拡大しています。画像の中央部を切り取って、液晶モニタに拡大表示しています。そのため、デジタルズームで撮影した画像は粗くなります。

1 モードダイヤルを回して、P-AUTO、VIVID、、、、SCENE、のどれかに合わせます。



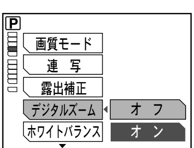


2 ボタンを押して、撮影メニュー画面を表示します。
、ボタンを押して、「デジタルズーム」を選びます。



画面は静止画撮影メニューを表示した場合です。

3 ボタンを押してデジタルズームの設定に入り、、ボタンを押して、「オン」を選びます。



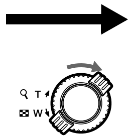
4 ㊍ボタンを押します。

デジタルズームが「オン」に設定されます。☰ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

光学ズーム



光学ズームで拡大しています。光学ズームで最大までズームアップすると、デジタルズームになります。



ズームレバーをさらにT側（Q）へ回します。

デジタルズーム



デジタルズームを設定すると、ズームバーに赤い領域が表示されます。

補足

- 望遠になるほど手振れが起こりやすくなります。手振れ防止のため、カメラをしっかり構えてください。
- 静止画の画像サイズを「スーパーハイ 4M」または「ハイ 2M」に設定している場合は、デジタルズームの倍率は最大5.5倍です。
- ムービーは画質モードの種類に関係なく、デジタルズームの倍率は最大4倍です。
- カメラの電源をオフにしても、デジタルズーム「オン」、「オフ」の設定を記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞ 123ページ）をご覧ください。

撮影場所の明かりに適した設定をする（ホワイトバランス）

白い紙に晴天時の太陽があたっているとき、夕日があたっているとき、電球の灯りがあたっているときでは、それぞれの白が違います。人間の目は、明かりに左右されることなく白いものを白色と認識しますが、デジタルカメラの場合、明かりに合わせて白いものが白く写るように、色の調整を行なう必要があります。この調整機能をホワイトバランスといいます。
撮影場所の明かりに応じて、ホワイトバランスを以下から選びます。

オート： 撮影場所の明かりに合わせて、自然な色合いで写るようカメラが自動的に調整します。

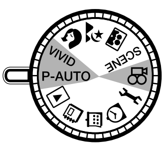
晴天： 晴れた屋外での撮影時に適しています。

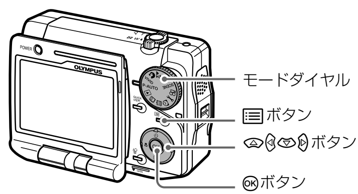
曇天： 曇った屋外での撮影時に適しています。

電球： 電球の灯りでの撮影時に適しています。

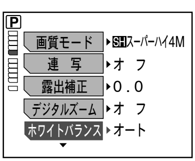
蛍光灯： 蛍光灯の灯りでの撮影時に適しています。

1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**、**VIVID**、のどれかに合わせます。





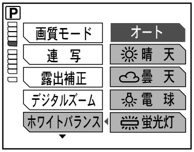
2 ボタンを押して、撮影メニュー画面を表示します。
、ボタンを押して、「ホワイトバランス」を選びます。



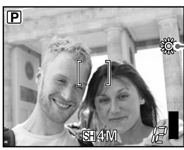
画面は静止画撮影メニューを表示した場合です。

第4章 撮影状況に合わせて設定する

3 ボタンを押してホワイトバランスの設定に入り、、ボタンを押して、ホワイトバランスを選びます。



4 設定したいホワイトバランスを選んだら、ボタンを押します。
選んだホワイトバランスが設定されます。ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。



選んだホワイトバランスのマークが表示されます（オートは表示されません）。

補足

カメラの電源をオフにしても、設定したホワイトバランスを記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞123ページ）をご覧ください。

ホワイトバランスについての注意

- 複数の照明があたっているような特殊な光源下では、ホワイトバランスの効果を発揮できない場合があります。
- オート以外に設定して撮影した場合は、画像を再生して色を確認してください。
- オート以外に設定してフラッシュを発光した場合は、液晶モニタで見た画像と異なった色合いで撮影されることがあります。
- Pオート、鮮やかオート(VIVID)以外の撮影シーンでは、ホワイトバランスは自動的に最適なものに設定されます。

被写体と背景の明るさが異なるとき（測光）[●]

逆光のときは、人物の顔などが暗く写ることがあります。この場合、スポット測光を使用すると、背景の明るさに影響されることなく撮影できます。

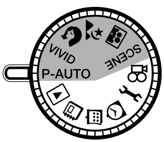
オート：画面の中央部と周辺部を別々に測光して、最適な露出にします。

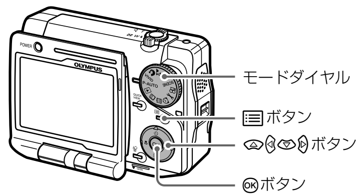
スポット：画面の中央部を測光します。中央部の被写体に適正な露出にします。

補足

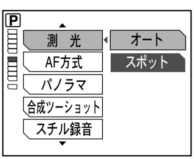
ムービー撮影には、測光は設定できません。

1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**、**VIVID**、[ポートレート]、[夜景]、[セルフ]、**SCENE**のどれかに合わせます。





2 ☰ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、△、▽ボタンを押して、「測光」を選びます。
▷ボタンを押して測光の設定に入り、△、▽ボタンを押して、「スポット」を選びます。



3 ⓞⓚボタンを押します。

測光が「スポット」に設定されます。☰ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。



測光をスポットに設定すると、[•]マークが表示されます（オートに設定されているときは何も表示されません）。

補足

カメラの電源をオフにしても、設定した測光方式を記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞ 123ページ）をご覧ください。

● ピントを合わせる範囲を変える（AF方式）

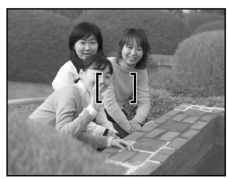
オートフォーカスで撮影してもピントが合わないときに、AFターゲットマークの位置でピントを合わせることができます。

オート



被写体がAFターゲットマーク（中央）からはずれていても、カメラが判断してピントを合わせます。（緑ボタンが点灯するまでシャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置にAFターゲットマークが移動します。）

スポット

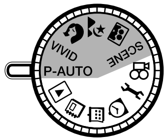


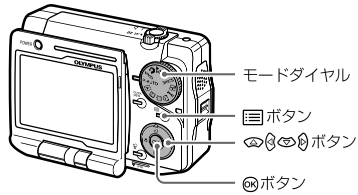
AFターゲットマークの位置でピントを合わせます。オートで、狙った位置にピントが合わないとき、フォーカスロックをするときに使います。

補足

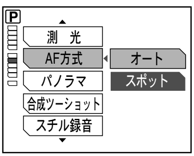
ムービー撮影には、AF方式は設定できません。

1 モードダイヤルを回して、P-AUTO、VIVID、、、、SCENEのどれかに合わせます。





2 ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、、ボタンを押して、「AF方式」を選びます。
ボタンを押してAF方式の設定に入り、、ボタンを押して、「スポット」を選びます。



3 ボタンを押します。
AF 方式が「スポット」に設定されます。ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

補足

カメラの電源をオフにしても、設定した AF 方式を記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞ 123 ページ）をご覧ください。

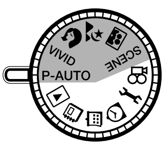
パノラマ撮影をする（パノラマ）

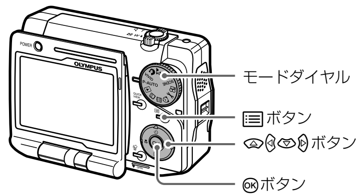
付属のxDピクチャーカードを使うと、パノラマ写真が楽しめます。
被写体の端が重なるよう撮影し、ソフトウェアOLYMPUS Master（付属のCD-ROMに収録）を使用してつなぎ合わせ、パソコン上で 1 枚のパノラマ合成画像を作成することができます。

ご注意

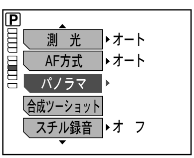
- オリンパス製のxDピクチャーカード以外ではパノラマ撮影はできません。
- 画質モードをスーパーハイ 4Mに設定して多量のパノラマ撮影をすると、パソコンで合成するときにメモリ不足になることがありますので、スーパーハイ 4M 以外での撮影をおすすめします。「画質モードを選ぶ（画質モード）」（☞ 55ページ）

1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**、**VIVID**、（ポートレート）、（夜景）、（セルフポートレート）、**SCENE**のどれかに合わせます。





2 （メニュー）ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、（上）、（下）ボタンを押して、「パノラマ」を選びます。
（右）ボタンを押して、パノラマの設定に入ります。



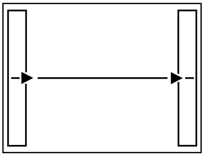
3 液晶モニタを見ながら、十字ボタンで撮影する方向を指定します。

：左から右に撮影するとき

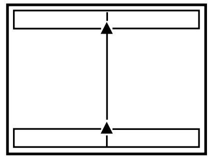
：右から左に撮影するとき

：下から上に撮影するとき

：上から下に撮影するとき

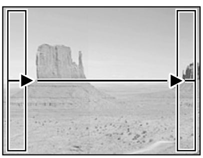


左から右に撮影するとき



下から上に撮影するとき

4 1枚目を撮影します。

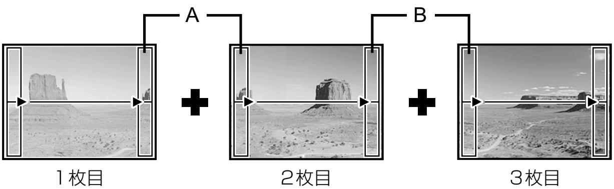


補足

ピントと露出は、1枚目で決定されます。1枚目に太陽など光の強い被写体を入れた撮影をしないでください。

5 被写体の一部が重なるように撮影します。

画面の両端に表示される枠を目安に構図を決めていきます。1枚目と2枚目はAの部分が重なるように撮影します。同様に2枚目と3枚目では、Bの部分が重なるように撮影します。撮影するときは次の撮影のために、枠内の画像を覚えておいてください。

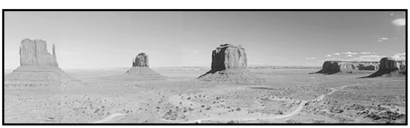


補足

- 最大10枚までパノラマ撮影が可能です。
- 10枚撮り終わると警告マーク が表示されます。

6 撮影が終わったら、OKボタンを押して、パノラマ撮影を終了します。

7 パノラマ写真の合成は、付属のCD-ROMに収録してあるOLYMPUS Masterを使って、撮った画像をパソコン上でつなぎ合わせます。



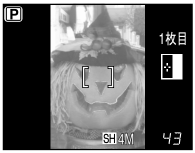
補足

パノラマ設定をした場合は、スチル録音はできません。

2枚の画像を貼り合わせる（合成ツーショット）

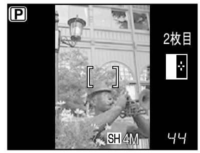
2回続けて撮影した画像を隣り合わせに配置して、1枚の画像として保存します。別々の被写体を1枚の画像にして楽しむことができます。

1枚目



左側に配置されます。

2枚目



右側に配置されます。

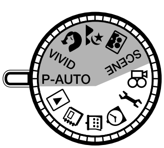
再生時の画像

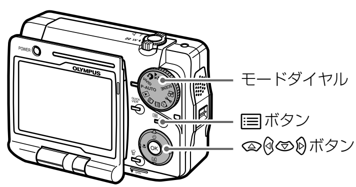


補足

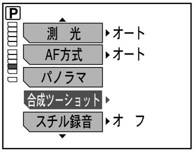
ムービー撮影には、合成ツーショットは設定できません。

1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**、**VIVID**、、、、**SCENE**のどれかに合わせます。

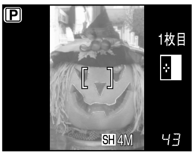




2 ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、、ボタンを押して、「合成ツーショット」を選びます。
ボタンを押して、合成ツーショットの設定に入ります。



3 液晶モニタを見ながら１枚目を撮影します。



補足

合成ツーショットの設定を解除したい場合は、ボタンを押してください。メニュー画面に戻ります。ただし、２枚目の撮影をする前にボタンを押した場合は、１枚目に撮影した画像は消去されます。

4 続けて２枚目を撮影します。
合成された１枚の画像としてカードに記録されます。カードへ記録されると通常の撮影画面に戻ります。



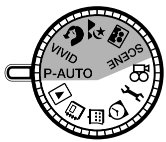
補足

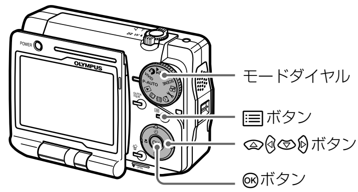
合成ツーショット撮影では、スチル録音はできません。

撮影に合わせて音声を録音する（スチル録音）

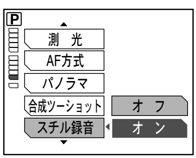
静止画を撮影するときに音声を録音します。シャッターが切れてから約 0.5 秒後に録音を開始し、約 4 秒間録音します。スチル録音をオンにすると、撮影後、毎回自動的に録音します。撮影した画像に対するコメントなどを録音しておくと便利です。

1 モードダイヤルを回して、P-AUTO、VIVID、、、、SCENEのどれかに合わせます。





2 ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、、ボタンを押して、「スチル録音」を選びます。
ボタンを押してスチル録音の設定に入り、、ボタンを押して、「オン」を選びます。



3 ⊛ボタンを押します。

スチル録音が設定されます。☰ボタンを押すと、撮影モードに戻ります。



スチル録音を設定すると、
マークが表示されます。



録音中



音声が録音された画像を再生すると、[♪] マークが表示されます。

補足

- スチル録音した音声を再生するとき、再生音量を調整することができます。「再生音量を設定する（再生音量）」（☞ 140ページ）
- カメラの電源をオフにしても、スチル録音「オン」、「オフ」の設定を記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞ 123ページ）をご覧ください。

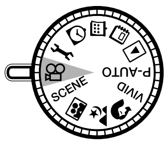
注意

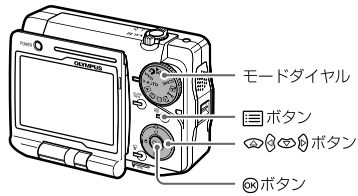
- 録音対象がカメラから1m以上離れると、きれいに録音されない場合があります。
- 録音中は撮影できません。
- パノラマ撮影や合成ツーショットでは、録音できません。
- 録音中にボタンなどを操作すると、その音も録音されてしまう場合があります。
- カードの空き容量が不足していると、録音できない場合があります。

ムービー撮影時の手振れを補正する（手振れ補正）

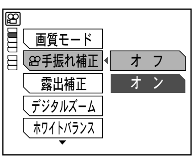
ムービー撮影時の手振れによる画像の揺れを軽減します。
被写体の動きに応じてCCD上で画像を取り込む範囲を動かし、被写体のブレを軽減して記録します。「オン」に設定すると少し拡大されて撮影されます。

1 モードダイヤルを回して、 に合わせます。





2 ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、、ボタンを押して、「手振れ補正」を選びます。
ボタンを押して手振れ補正の設定に入り、、ボタンを押して、「オン」を選びます。



3 ボタンを押します。
手振れ補正が設定されます。ボタンを押すと、ムービー撮影モードに戻ります。

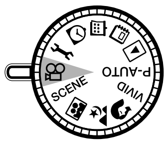
補足

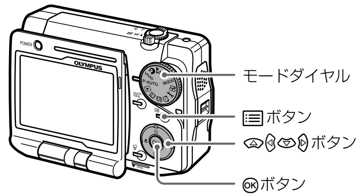
- カメラの電源をオフにしても、手振れ補正「オン」、「オフ」の設定を記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞ 123ページ）をご覧ください。
- 手振れが大きいときや、被写体の動きによっては、補正できないことがあります。
- カメラを固定して撮影するときは、手振れ補正を「オフ」に設定してください。被写体の動きに合わせて、画面が動いてしまうことがあります。

ムービー撮影時のオートフォーカスの設定をする（フルタイムAF）

フルタイムAFを「オン」に設定すると、ムービー撮影中は常にAF動作をします。

1 モードダイヤルを回して、 に合わせます。





2 ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、、ボタンを押して、「フルタイムAF」を選びます。
ボタンを押してフルタイムAFの設定に入り、、ボタンを押して、「オン」を選びます。



3 ボタンを押します。
フルタイム AF が設定されます。 ボタンを押すと、ムービー撮影モードに戻ります。

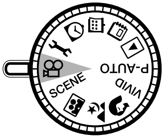
補足

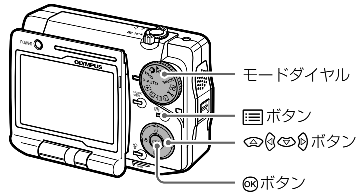
- フルタイムAFとムービー録音を同時に「オン」に設定することはできません。
- カメラの電源をオフにしても、フルタイムAF「オン」、「オフ」の設定を記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞ 123ページ）をご覧ください。

撮影に合わせて音声を録音する（ムービー録音）

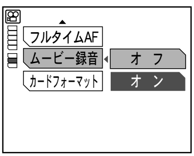
ムービー撮影時に音声を録音します。

1 モードダイヤルを回して、ムービー に合わせます。





2 ボタンを押して撮影メニュー画面を表示し、△、▽ボタンを押して、「ムービー録音」を選びます。
▷ボタンを押してムービー録音の設定に入り、△、▽ボタンを押して、「オン」を選びます。



3 OKボタンを押します。
ムービー録音が設定されます。ボタンを押すと、ムービー撮影モードに戻ります。

ムービー録音を設定すると マイク マークが表示されます。





音声が録音されたムービーを再生すると、[♪] マークが表示されます。

補足

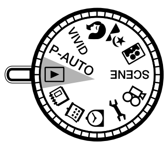
- ムービー録音を「オン」に設定すると、ムービー撮影中は、ピントと光学ズームが固定されます。ムービー録音を「オフ」に設定すると、ムービー撮影中、光学ズームとデジタルズームがどちらも動作します。
- カメラの電源をオフにしても、ムービー録音「オン」、「オフ」の設定を記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞ 123ページ）をご覧ください。

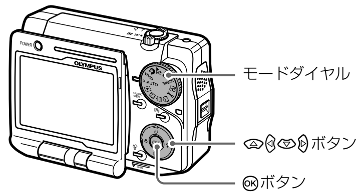
第5章　撮影した画像を再生／編集する

静止画を再生する

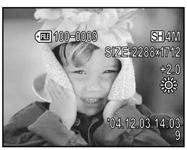
撮影した静止画を再生します。

1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。
最後に撮影した画像が再生されます。

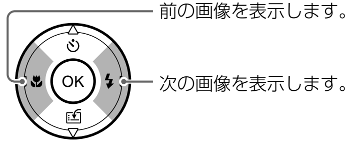




2 ◁、▷ボタンを押して、見たい画像を選びます。



画面上の撮影情報は3秒で消えます。



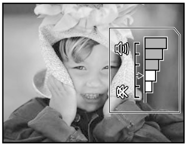
ご注意

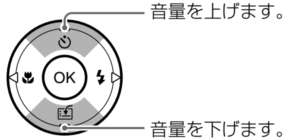
カメラの操作を3分*以上何もしないと、液晶モニタが消灯しスリープモードに入ります。さらに10分間何も操作をしないと、自動的に電源が切れます。（ACアダプタを使用しているときは、自動的に電源は切れません。）

* スリープモードに入る時間は、スリープモード設定時間によって異なります。詳しくは、「スリープ時間を設定する（スリープ時間）」（☞ 127ページ）をご覧ください。

録音した音声を再生するには

静止画に音声を録音してある場合は、OKボタンを押すと音声が再生されます。





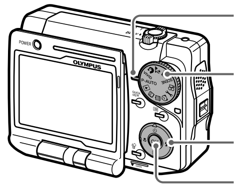
補足

QUICK VIEWボタンを押して、撮影した画像を再生することができます。詳しくは、「QUICK VIEWボタンを使って簡単に再生する」（☞ 42ページ）をご覧ください。

ムービーを再生する

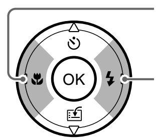
撮影したムービーを再生します。

1 ムービー撮影終了後カードアクセスランプが消灯したら、モードダイヤルを回して、▶に合わせます。
最後に撮影したムービーが表示されます。



2 ◁、▷ボタンを押して、再生したいムービーを選びます。

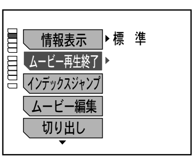




3 OKボタンを押します。
ムービーが再生されます。

再生中のムービーを終了するには

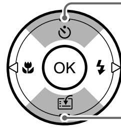
1 ☰ボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。
再生中のムービーが一時停止します。
△、▽ボタンを押して、「ムービー再生終了」を選びます。



2 ▷ボタンを押して、ムービーの再生を終了します。
再生していたムービーが終了し、再生モードに戻ります。

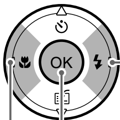
ムービー再生時の操作について





音量を上げます。

音量を下げます。



押し続けると2倍速で再生します。さらに押しつづけると20倍速に加速して再生します。手を離すと1倍速に戻ります。

一時停止します。

1度押すと逆再生に切り替わります。押し続けると2倍速で逆再生します。さらに押しつづけると20倍速に加速して逆再生し、手を離すと1倍速の逆再生に戻ります。

補足

一時停止中はパワーランプが点滅します。

コマ送りで再生するには

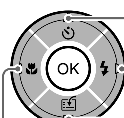
撮影したムービーを1コマずつ再生します。

1 **ムービー再生中に、OKボタンを押します。**

ムービー再生を一時停止します。

2 **再生したいコマを選びます。**





先頭のコマを表示します。

次のコマを表示します。

最後のコマを表示します。

前のコマを表示します。

選んだコマからムービーを再生するには

OKボタンを押します。選んだコマからムービー再生が始まります。

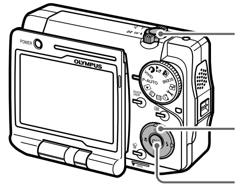
補足

QUICK VIEWボタンを押して、撮影した画像を再生することができます。詳しくは、「QUICK VIEWボタンを使って簡単に再生する」（☞ 42ページ）をご覧ください。

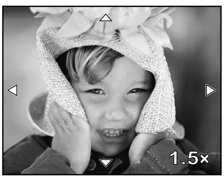
画像を拡大して見る（クローズアップ再生）

画像を最大4倍まで拡大して表示することができます。

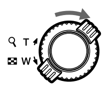
1 再生したい画像を選びます。
「静止画を再生する」（☞79ページ）
「ムービーを再生する」（☞81ページ）



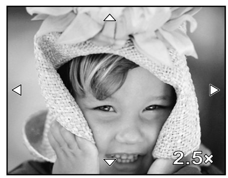
2 ズームレバーをT側（Q）へ回します。
画像が1.5倍にクローズアップされます。



1.5倍表示



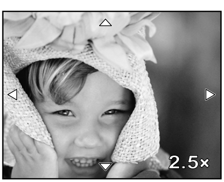
ズームレバーをT側（Q）へ回すたびに、0.5倍ずつ、最大4倍までクローズアップされます。

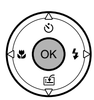


2.5倍表示

補足
ズームレバーをW側（▦）へ回すと、どの倍率で表示していても通常の1倍表示に戻ります。

3 △、◁、▽、▷ボタンを押して、拡大した画像を上下左右に移動させます（スクロール機能）。





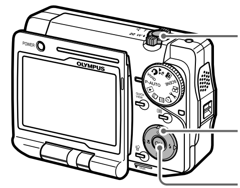
OKボタンを押すと、クローズアップされた状態でムービーの再生が始まります（ムービーのみ）。

第5章　撮影した画像を再生／編集する

画像を一覧で見る（インデックス再生）

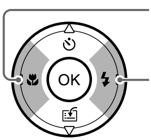
複数の画像を一覧で表示します。たくさん撮った画像の中から目的の画像を探し出したいときに便利です。

1 画像を再生します。
「静止画を再生する」（☞79ページ）
「ムービーを再生する」（☞81ページ）



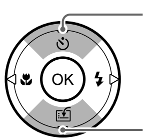
2 ズームレバーをW側（▦）へ回します。
画像を4分割でインデックス表示します。△、◁、▽、▷ボタンを押して、見たい画像を選びます。





1コマずつ戻ります。いちばん左上の画像を選んでいる場合は、前のページへ戻ります。

1コマずつ進みます。いちばん右下の画像を選んでいる場合は、次のページへ移動します。



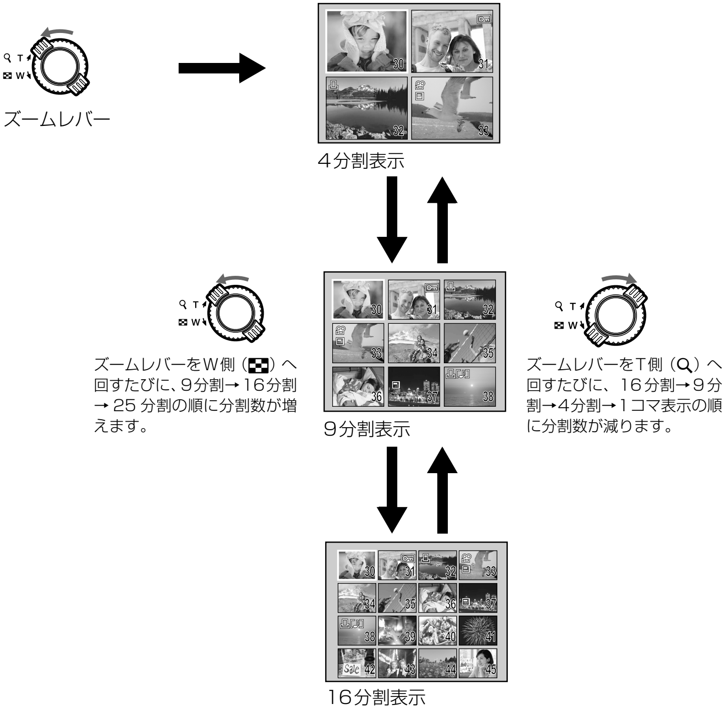
上の段へ移動します。いちばん上の段の画像を選んでいる場合は、前のページへ戻ります。

下の段へ移動します。いちばん下の段の画像を選んでいる場合は、次のページへ移動します。

3 見たい画像を選んだら、OKボタンを押します。
選んだ画像が1コマ表示されます。

表示コマの分割数を切り替えるには

見たい画像を再生してズームレバーをW側（ ）へ回すと、画像が4分割でインデックス表示されます。



補足

25分割表示では、コマ番号は表示されません。

スライドショーで画像を再生する（スライドショー）

画像の切り替わりの効果を選んで、1コマずつ連続して再生します。スライドショーでの再生は、以下の9種類から選ぶことができます。

標準
カードに記録されている画像を、1コマずつ再生します。

スクロール
次の画像をスクロールしながら再生します。次の画像は右から現れて、前の画像は左へ消えていきます。

フェード
現在の画像に重なるようにして、次の画像が徐々に浮かび上がって表示されます。現在の画像は徐々に消えていきます。

ズームダウン
現在の画像は、画面の中心に向けて、徐々に画像サイズを小さくして表示されます。次の画像は、画面の中心から徐々に画像サイズを大きくしながら表示されます。

ズームアップ
現在の画像は、画像の中心を拡大しながら消えていきます。次の画像は、画像の中心を拡大した状態で表示され、徐々に標準のサイズで表示されていきます。

モザイク
次の画像をモザイク状で表示します。モザイクは徐々に消えて、画像が表示されていきます。

ブラインド
現在の画像の上に、次の画像がブラインド状になって表示されます。

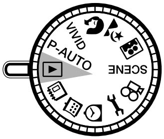
キューブスピン
現在の画像と次の画像が隣り合わせで縮小、拡大しながら表示されます。現在の画像は左側に縮小され、次の画像は右側に拡大しながら表示されます。（キューブが回転しているように見えます。）

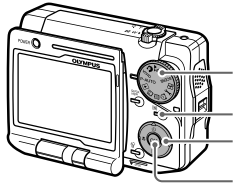
ランダム
スクロール、フェード、ズームダウン、ズームアップ、モザイク、ブラインド、キューブスピンの中から、カメラがランダムに選択して、1コマごとに異なるスライドショーで表示します。

補足

- インデックス表示状態でも、スライドショーを楽しむことができます。
- スライドショーの1コマの再生時間は、画像に音声が録音されている場合は、1コマ約5秒間再生します。画像に音声が録音されていない場合は、1コマ約3秒間再生します。

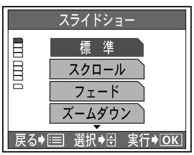
1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。



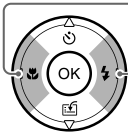


2 ☰ボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「スライドショー」を選びます。

3 ▷ボタンを押してスライドショーの設定に入り、△、▽ボタンを押して、設定したいスライドショーを選びます。



4 OKボタンを押します。
選んだスライドショーで再生が始まります。再生中に次のコマや前のコマを見たいときは、◁、▷ボタンを押します。



補足
インデックス表示でスライドショーを再生しているときは、◁ ▷ボタンは操作できません。

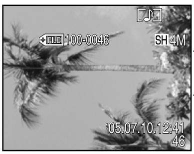
5 ㊗ボタンまたは☰ボタンを押します。
スライドショーを終了し、１コマ表示に戻ります。

補足

- 長時間自動再生を行う場合は、AC アダプタのご使用をおすすめします。電池をお使いの場合、30分経過するとスリープモード（待機状態）になり、自動的にスライドショーが終了します。
- カメラをクレードルに取り付けてスライドショーを再生する場合は、カメラの操作面を上側にしてクレードルに取り付けてください。操作面を下側にしてクレードルに取り付けると、カメラは自動的に時計モードに切り替わるため、スライドショーは再生されません。

画像を回転させる（回転表示）

カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに再生されます。このような横向きの画像を回転して、縦向きに再生します。時計回りに90度、反時計回りに90度の回転ができます。



撮影時の画像（0°）

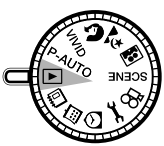


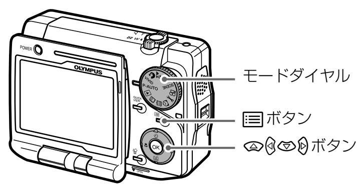
時計回りに90度
（＋ 90°）



反時計回りに90度
（－90°）

1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。

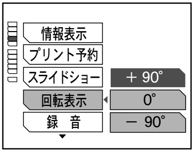




2 回転させたい画像を再生します。

3 ボタンを押して再生メニュー画面を表示し、、ボタンを押して、「回転表示」を選びます。

ボタンを押して回転表示の設定に入り、、ボタンを押して、「＋ 90˚」または「－ 90˚」を選びます。



ご注意

- ムービーは回転表示できません。
- プロテクトされた画像は回転表示できません。プロテクトを解除してから回転表示してください。詳しくは、「画像にプロテクトをかける（プロテクト）」（☞ 105ページ）をご覧ください。
- パソコンを使って「読み取り専用」で保存した画像は、回転表示できません。パソコンで「読み取り専用」を解除してください。
- アルバムに登録した画像は、回転表示できません。

画像に表示する情報量を切り替える（情報表示）

再生時の画像情報量を切り替えます。

詳細



標準



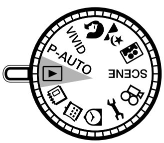
なし

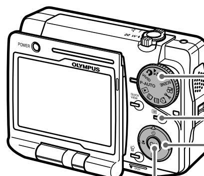


補足

詳細または標準の情報表示に設定すると、約3秒間、情報が表示されます。

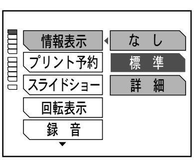
1 モードダイヤルを回して、[▶] に合わせます。





2 情報を表示したい画像を再生します。

3 [メニュー]ボタンを押して再生メニュー画面を表示し、[▲]、[▼]ボタンを押して、「情報表示」を選びます。
[▶ボタン]ボタンを押して情報表示の設定に入り、[▲]、[▼]ボタンを押して、「標準」、「詳細」または「なし」を選びます。



4 ⓞⓚボタンを押します。

選んだ情報表示が設定されます。☰ボタンを押すと、再生モードに戻ります。

補足

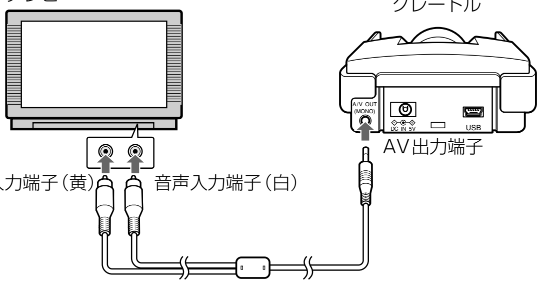
カメラの電源をオフにしても、設定した情報表示を記憶しておきたい場合は、設定保持を「する」に設定してください。設定保持について詳しくは、「設定を記憶させる（設定保持）」（☞ 123ページ）をご覧ください。

テレビで再生する

撮影した画像をテレビで楽しむことができます。テレビで再生するには、カメラをクレードルに取り付けて付属のAVケーブルをテレビに接続します。

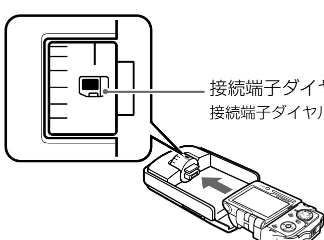
テレビに接続する

1 カメラとテレビの電源を切り、クレードルとテレビを接続します。



2 カメラをクレードルに取り付けます。

マルチスイングディスプレイを開いた状態で取り付けます。



3 モードダイヤルを回して、▶に合わせてから、カメラの電源を入れます。

4 テレビの電源を入れて、「ビデオ入力」に設定します。
設定方法について詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

補足

- AVケーブルを接続すると、カメラの液晶モニタ表示は消えます。
- テレビの映像／音声入力端子については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- ビデオ出力方式は、お買上げ時は「NTSC」で設定されています。日本でお使いになる場合は、設定を変えずにそのままお使いいただけます。ビデオ出力方式の設定を変更したい場合は、「ビデオ出力方式を選ぶ（ビデオ出力）」（☞ 141ページ）をご覧ください。
- クレードルにカメラを取り付けた状態で下に向けると、カメラが落下するおそれがあります。
- クレードルにカメラを取り付けた状態でカメラ本体のみを持ち上げないでください。

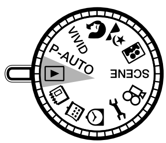
● ムービーの再生開始位置を選ぶ（インデックスジャンプ）

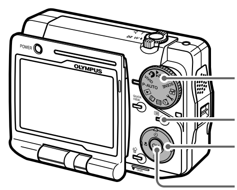
ムービーを時間で分割したインデックス表示にして、再生したいコマからムービーを再生します。

補足

インデックスジャンプは、ムービー再生中、またはムービーを一時停止しているときに設定することができます。

1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。





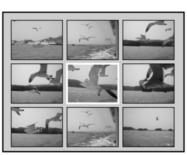
2 ムービーを再生します。または一時停止状態にします。

「ムービーを再生する」（☞ 81ページ）

3 ☰ボタンを押して再生メニュー画面を表示し、△、▽ボタンを押して、「インデックスジャンプ」を選びます。

4 ▷ボタンを押して、インデックスジャンプの設定に入ります。

再生していたムービーがインデックス表示されます。△、◁、▽、▷ボタンを押して、コマを選びます。



9分割表示

補足

インデックスの分割数を変更したい場合は、ズームレバーをW側（▦）、またはT側（Q）に回して変更してください。

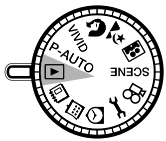
5 OKボタンを押します。

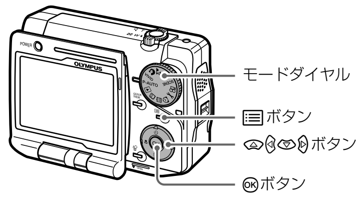
選んだコマからムービーの再生が始まります。

静止画を編集する

撮影した画像をモノクロ（白黒）やセピア色に変換したり、画像のサイズを変更するなど、静止画の編集を行います。編集した画像は、オリジナルとは別の新規画像として保存します。

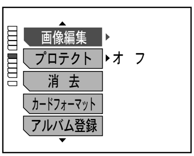
1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。



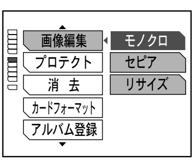


2 編集したい画像を再生します。

3 ☰ボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「画像編集」を選びます。



4 ▷ボタンを押して、画像編集の設定に入ります。
△、▽ ボタンを押して編集したい項目を「モノクロ」、「セピア」、「リサイズ」から選び、OKボタンを押します。

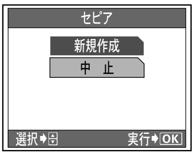


「モノクロ」を選んだ場合



△、▽ ボタンを押して「新規作成」を選び、OK ボタンを押すと、モノクロ画像の処理が始まります。処理が終了すると、作成したモノクロ画像が表示されます。

「セピア」を選んだ場合



△、▽ボタンを押して「新規作成」を選び、OKボタンを押すと、セピア画像の処理が始まります。処理が終了すると、作成したセピア画像が表示されます。

「リサイズ」を選んだ場合



△、▽ボタンを押して「640×480」または「320×240」を選び、OKボタンを押すと、画像のリサイズ処理が始まります。処理が終了すると、リサイズされた画像が表示されます。

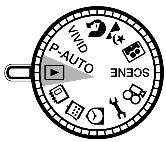
補足

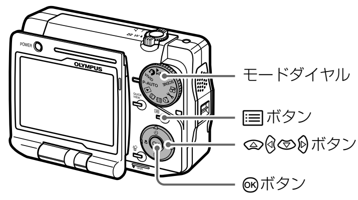
- リサイズでは、元の画像サイズより大きくすることはできません。元の画像サイズより小さいサイズを選んで、リサイズしてください。
- カードに空き容量がないと、作成された画像が保存できない場合があります。ただし、元の画像には影響しません。

撮影した画像に音声を録音する（アフレコ）

撮影した静止画に音声を録音（アフレコ）します。録音済みの音声を消して、録音し直すこともできます。録音できる時間は、1コマにつき約4秒間です。

1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。

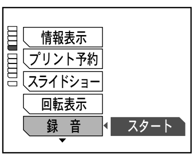




2 音声を録音したい画像を再生します。

3 ☰ボタンを押して再生メニュー画面を表示し、△、▽ボタンを押して、「録音」を選びます。

▷ボタンを押して、録音の設定に入ります。



4 ⓞボタンを押します。

録音が始まります。録音が終了すると再生メニュー画面に戻ります。さらに▤ボタンを押すと、再生モードに戻ります。



録音中



音声が録音された画像を再生すると、[♪]マークが表示されます。

ご注意

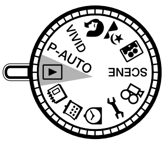
- プロテクトされた画像は録音できません。プロテクトを解除してから録音してください。詳しくは、「画像にプロテクトをかける（プロテクト）」（☞ 105ページ）をご覧ください。
- アルバムに登録された画像は、録音することはできません。
- カードに空き容量がないと録音できない場合があります。
- パソコンを使って「読み取り専用」で保存した画像は、録音できません。パソコンで「読み取り専用」を解除してください。
- 録音対象がカメラから約1m以上離れると、きれいに録音されません。
- 録音中にボタン操作をすると、操作音が録音されることがあります。
- 一度録音した音声のみを消すことはできません。音声を消したい場合は、音声を入れずに（無音状態で）録音し直してください。

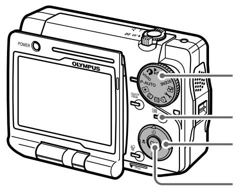
ムービーを編集する

ムービー画像を編集する（ムービー編集）

撮影したムービー画像を編集します。ムービー画像の一部をカットして、新規画像としてカードに保存することができます。元のムービー画像に上書き保存することもできます。

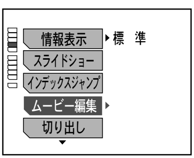
1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。





2 編集したいムービー画像を選びます。
「ムービーを再生する」（☞ 81ページ）

3 ☰ボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「ムービー編集」を選びます。

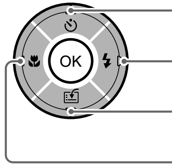


4 ▷ボタンを押して、ムービー編集の設定に入ります。
選んだムービー画像が1コマ表示されます。

5 先頭にしたいコマを選び、㊙ボタンを押します。

選んだコマが、先頭のコマとして確定します。



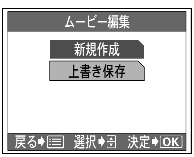


6 最後尾にしたいコマを選び、㊙ボタンを押します。

選んだコマが、後尾のコマとして確定します。

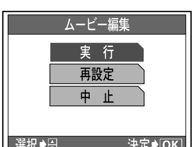


7 △、▽ボタンを押して「新規作成」または「上書き保存」を選び、㊙ボタンを押します。



新規作成： 編集したムービーを、新規画像としてカードに保存します。
上書き保存： 編集したムービーを、元の画像に上書きしてカードに保存します。

8 △、▽ボタンを押して「実行」、「再設定」または「中止」を選び、㊙ボタンを押します。



実行： 編集内容をカードに記録します。終了すると編集したムービーの再生画面に戻ります。
再設定： 編集を始めから設定し直します。手順5に戻ります。
中止： 編集した内容を中止して、メニュー画面に戻ります。

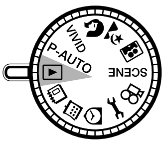
静止画として切り出す（切り出し）

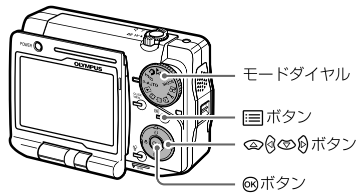
ムービー画像の中の選択した 1 コマを切り出して、静止画としてカードに保存します。

補足

画質モードをスタンダードまたはロングプレイに設定している場合は、静止画として切り出しすることはできません。

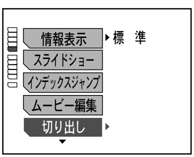
1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。





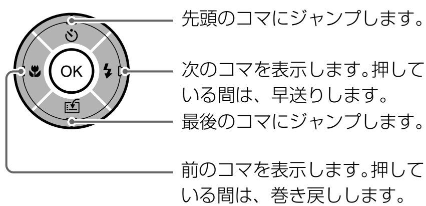
2 静止画として保存したいムービー画像を選びます。
「ムービーを再生する」（☞ 81ページ）

3 ボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。
、 ボタンを押して、「切り出し」を選びます。



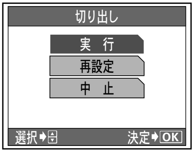
4 ボタンを押して、切り出しの設定に入ります。
選んだムービー画像が 1 コマ表示されます。、、、 ボタンを押して、静止画として保存したいコマを選びます。





5 ボタンを押します。

6 △、▽ボタンを押して「実行」、「再設定」または「中止」を選び、Ⓞボタンを押します。



実行： 設定した内容をカードに記録します。終了すると作成した静止画の再生画面に戻ります。
再設定： 静止画切り出しの設定を始めから設定し直します。手順4に戻ります。
中止： 設定した内容を中止して、メニュー画面に戻ります。

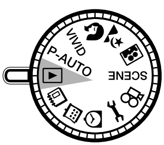
ご注意

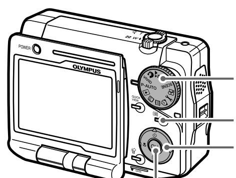
- 切り出しで作成される静止画は、「ファイン」の場合は640×480ピクセル、「動画切取り」の場合は800×600ピクセルです。同じサイズの静止画より画像が粗くなる場合があります。
- カードの空き容量が不足しているときは作成することはできません。
- カードアクセスランプが点滅しているときは、絶対に電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、カードが破壊され使用できなくなる場合があります。

インデックスを作成する（インデックス作成）

撮影したムービー画像のインデックスを作成します。作成したインデックス画面は静止画としてカードに記録されます。

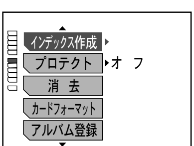
1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。





2 インデックス作成したいムービー画像を選びます。
「ムービーを再生する」（☞ 81ページ）

3 ☰ボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「インデックス作成」を選びます。



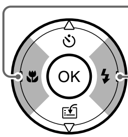
4 ボタンを押して、インデックス作成の設定に入ります。

選んだムービーが 9 分割でインデックス表示され、先頭のコマが選択表示されます。



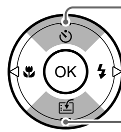
このコマ（先頭コマ）が選択表示されます。ボタンを押し続けると、ムービーが再生します。好みのところでボタンを離して「先頭コマ」を決めます。

ボタンを押し続けると、このコマも進みます。



押している間は巻き戻しします。離すと止まります。

押している間は再生します。離すと止まります。



押すと先頭コマに戻ります。

押すと最後尾コマが表示されます。

補足

選択表示されている先頭コマ以外は選べません。

5 ボタンを押します。

最後尾のコマが選択表示されます。



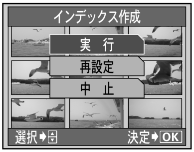
このコマ（最後尾コマ）が選択表示されます。ボタンを押しつづけるとムービーを巻き戻しします。好みのところでボタンを離して「最後尾コマ」を決めます。

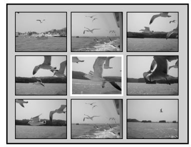
6 ボタンを押します。

インデックス作成が確定します。

7 ⊜、⊜ボタンを押して「実行」、「再設定」または「中止」を選び、⊛ボタンを押します。

- **実行：** 設定した内容をカードに記録します。終了するとメニュー画面に戻ります。
- **再設定：** インデックス作成を始めから設定し直します。手順4に戻ります。
- **中止：** 設定した内容を中止して、メニュー画面に戻ります。





作成されたインデックス画像

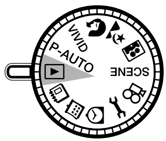
補足

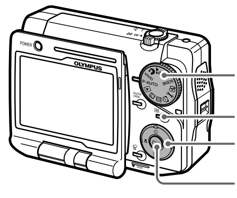
- 作成したインデックスは、9分割で表示されます。分割数を変更することはできません。
- カードの空き容量が不足しているときはインデックス作成をすることはできません。

画像にプロテクトをかける（プロテクト）

大切な画像を誤って消去しないように、プロテクト（保護）をかけることができます。
1コマ消去や全コマ消去の操作をしても、プロテクトされた画像は消去されません。

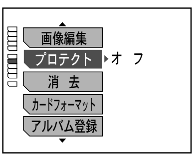
1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。



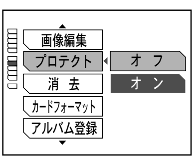


2 プロテクトをかけたい画像を再生します。

3 ☰ボタンを押して再生メニュー画面を表示し、△、▽ボタンを押して、「プロテクト」を選びます。
▷ボタンを押してプロテクトの設定に入ります。



4 ▽ボタンを押して、「オン」を選びます。



5 ⓄⓀボタンを押します。

選んだ画像がプロテクトされ、再生モードに戻ります。



画像がプロテクトされると、[O-ㅠ]マークが表示されます。

ご注意

カードのフォーマットを行うと、プロテクトされた画像も消去されます。

画像を消去する

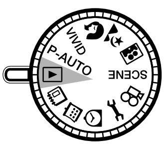
撮影した画像を消去します。選択したコマのみを消去する「1 コマ消去」と、カードに記録されているすべての画像を消去する「全コマ消去」があります。

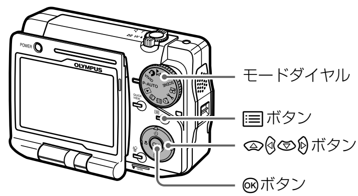
ご注意

- カードに保存されている画像をすべて削除しても、アルバムに登録されている画像はカードに残ります。
- プロテクトされた画像は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください。詳しくは、「画像にプロテクトをかける（プロテクト）」（☞ 105ページ）をご覧ください。
- 消去した画像は元に戻せません。

1 コマ消去／全コマ消去する

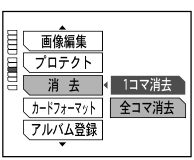
1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。



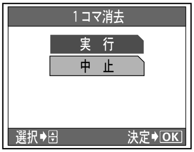


2 消去したい画像を再生します。

3 ☰ボタンを押して再生メニュー画面を表示し、▲、▼ボタンを押して、「消去」を選びます。
▶ボタンを押して、消去の設定に入ります。
▲、▼ボタンを押して「1 コマ消去」または「全コマ消去」を選び、OKボタンを押します。



4 、ボタンを押して、「実行」を選びます。



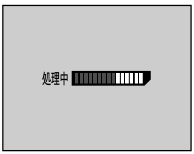
1コマ消去を選んだ場合



全コマ消去を選んだ場合

5 ボタンを押します。

「1コマ消去」を選んだ場合は、選んだ画像が消去されます。
「全コマ消去」を選んだ場合は、カード内のプロテクトされた画像、およびアルバム登録された画像をのぞくすべての画像が消去されます。



補足

ボタンを使って画像を削除することもできます。ボタンの使いかたについて詳しくは、「ボタンを使って画像を消去する」（☞ 43ページ）をご覧ください。

Dock & Done 対応ストレージへの保存設定をする（ストレージ保存）

撮影した静止画やムービーを、別売の Dock & Done 対応ストレージに「保存する」「保存しない」を、あらかじめ設定しておくことができます。

補足

Dock & Done 対応ストレージへの保存方法や設定については、別売の Dock & Done 対応ストレージに付属している取扱説明書をご覧ください。

1 モードダイヤルを回して、▶に合わせます。
画像が再生されます。

2 ☰ボタンを押して再生メニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「ストレージ保存」を選びます。

3 ▷ボタンを押して、ストレージ保存の設定に入ります。
△、▽ボタンを押して、「保存する」を選びます。

4 OKボタンを押します。
Dock & Done対応ストレージへの保存設定が確定します。



「保存しない」に設定すると、✕マークが表示されます（ストレージ保存が終了した画像にも✕マークが表示されます）。

ご注意

「保存しない」に設定しても、セットアップメニューの「保存後自動消去」を「オン」に設定している場合は、自動消去の対象となりますのでご注意ください。保存後自動消去の設定について詳しくは、「画像をストレージ保存したあとに自動的に消去する」（☞ 130ページ）をご覧ください。

第5章　撮影した画像を再生／編集する

第6章　気に入った画像をカレンダーやアルバムで見る

画像をカレンダー表示する

このカメラには、撮影した画像をカレンダーで表示することができます。静止画やムービーを撮影すると、撮影した日付ごとにカメラが自動的に画像をカレンダーに登録します。カレンダー表示には、1ヶ月表示、12ヶ月表示、複数年表示の3種類があります。それぞれのカレンダー表示から見たい日、月、または年を選びます。

補足

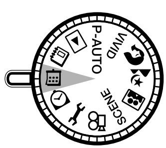
正しい日時でカレンダー表示するためには、カメラで日時の設定をする必要があります。日時の設定をしていない場合は、初期値の状態で表示されます（例：2004/01/01）。日時の設定について詳しくは、「日付／時刻を設定する」（☞ 34ページ）をご覧ください。

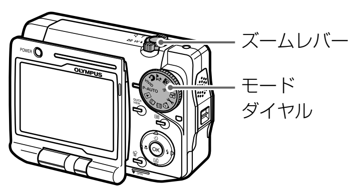
カレンダー表示を切り替える

カレンダーの表示を「1ヶ月」、「12ヶ月」、「複数年」に切り替えます。

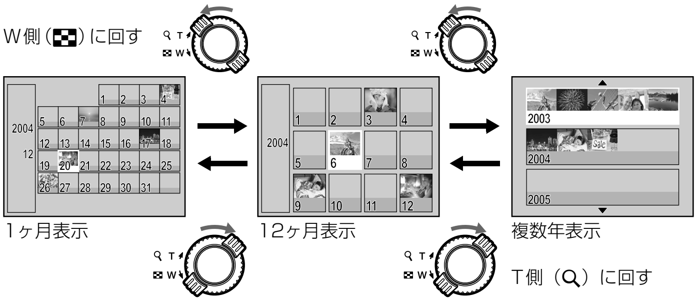
1 モードダイヤルを回して、▦に合わせます。

1ヶ月表示のカレンダーが表示されます。





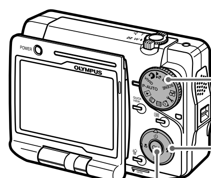
2 カレンダーの表示を切り替えます。
ズームレバーを回して切り替えます。



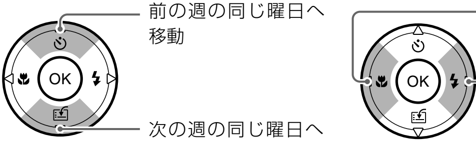
カレンダー表示から画像を再生する

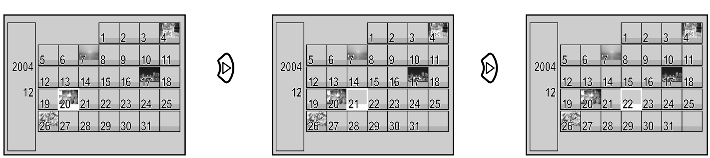
カレンダー表示から、見たい画像を選んで1コマ表示します。

1 カレンダーを表示します。
△、◁、▽、▷ボタンを押して、見たい日、月、または年を選びます。

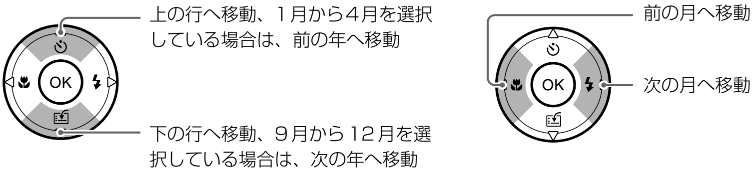


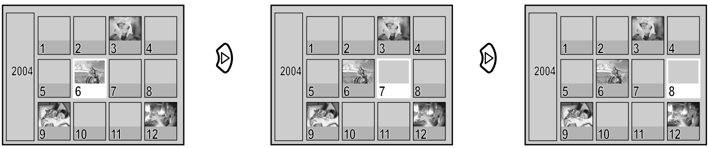
1ヶ月表示の場合



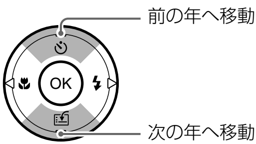


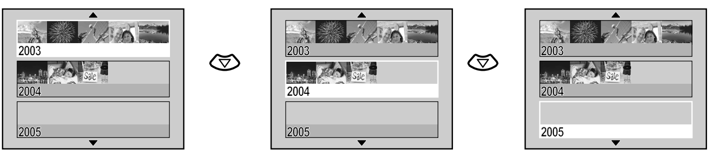
12ヶ月表示の場合





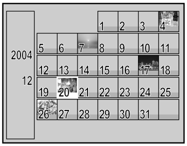
複数年表示の場合

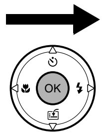




2 見たい画像を選んだら、ⓞⓚボタンを押します。

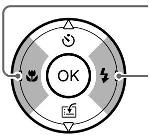
選んだ画像が1コマ表示されます。元のカレンダー表示に戻したい場合は、ズームレバーをW側（▦）に回します。





ⓞⓚボタンを押す





1コマ前の画像を表示します。

次の画像を表示します。

1ヶ月表示から画像を選んだ場合
選んだ日の画像のみ表示します。

12ヶ月表示から画像を選んだ場合
選んだ月の画像のみ表示します。

複数年表示から画像を選んだ場合
選んだ年の画像のみ表示します。

補足

- カレンダーモードで再生した画像は、拡大表示することはできません。画像を拡大して見たい場合は、再生モード▶またはアルバムモード▤で画像を選んでください。それぞれのモードでの拡大表示のしかたについて詳しくは、「画像を拡大して見る（クローズアップ再生）」（☞ 83ページ）／「アルバム内の画像を見る」（☞ 117ページ）をご覧ください。
- カレンダーモードで再生した画像を編集することはできません。画像を編集したい場合は、再生モードで画像を選んでください。画像の編集のしかたについて詳しくは、「静止画を編集する」（☞ 95ページ）／「ムービーを編集する」（☞ 99ページ）をご覧ください。
- カレンダーメニューを使って、画像を消去したり、スライドショーで再生することができます。カレンダーメニューでは、「情報表示」、「スライドショー」、「ムービー再生終了」、「インデックスジャンプ」、「プロテクト」、「消去」、「カードフォーマット」を設定することができます。
- カレンダーに登録されている画像を、日付ごとにまとめて削除することができます。カレンダー表示から削除したい日付の画像を再生して、カレンダーメニューの「消去」→「日付内全コマ」を選び、削除してください。

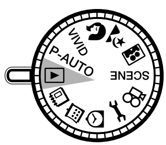
撮影した画像をアルバムに入れる

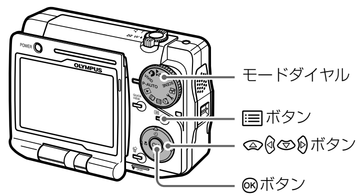
撮影した画像をカード内のアルバムに分類して、整理することができます。アルバムは 12 個あり、各アルバムに最大 100 枚の画像を登録できます。また、付属の CD-ROMに収録されているOLYMPUS Masterを使って、画像をパソコンからカード内のアルバムに入れることもできます。
「付属のOLYMPUS Masterを使う」(☞ 172ページ)

補足

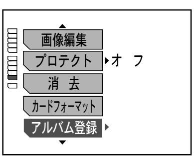
アルバムに登録できる画像の枚数は、カードの容量によって変わります。

1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。
最後に撮影した画像が表示されます。

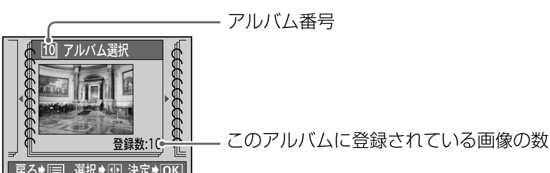




2 ☰ボタンを押して再生メニュー画面を表示し、△、▽ボタンを押して、「アルバム登録」を選びます。
▷ボタンを押して、アルバムの登録に入ります。



3 ◁、▷ボタンを押して、登録したいアルバムを選びます。
アルバムに登録されている画像の1コマ目が、代表コマとして表示されます。画像が登録されていないアルバムは、何も表示されません。



4 OKボタンを押します。

画像を入れるアルバムが確定し、画像の選択画面が表示されます。

「この画像を登録」または「選択登録」を選んで、OKボタンを押します。

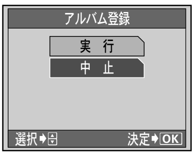


この画像を登録: 表示されている画像をアルバムに登録します。「「この画像を登録」を選んだ場合」（☞ 115ページ）へ進んでください。

選択登録： アルバムに登録したい画像を複数選ぶことができます。「「選択登録」を選んだ場合」（☞ 116ページ）へ進んでください。

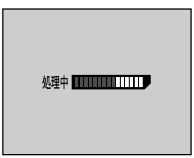
「この画像を登録」を選んだ場合

5 △、▽ボタンを押して、「実行」を選びます。



6 OKボタンを押します。

画像の登録が始まります。画像がアルバムに登録されると、再生モードに戻ります。

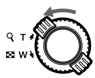


「選択登録」を選んだ場合

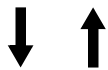
5 ◁、▷ボタンを押してアルバムに入れたい画像を選び、OKボタンを押します。
選んだ画像に✓マークが表示されます。

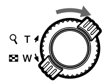


✓マーク
選んだ画像を解除したいときは、もう一度OKボタンを押します。



ズームレバーをW側（▦）に回すと、インデックス表示になります。





ズームレバーをT側（Q）に回すと、元の1コマ表示に戻ります。



インデックスの分割数は、横4 × 縦3です。分割数を変えることはできません。
一度に複数の画像を選ぶことができます。

6 アルバムに入れたい画像をすべて選んだら、☰ボタンを押します。

7 △、▽ボタンを押して「実行」を選び、OKボタンを押します。
画像の登録が始まります。画像がアルバムに登録されると、元の再生画面に戻ります。



補足

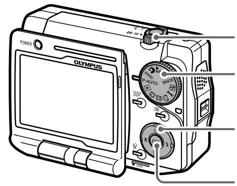
- 同じ画像を複数のアルバムに入れることはできません。
- カードをフォーマットすると、アルバムに登録した画像は消去されます。

アルバム内の画像を見る

アルバムに入れた画像を再生します。

1 モードダイヤルを回して、アルバムモードに合わせます。
アルバムの選択画面が表示されます。

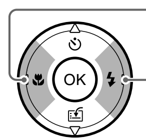




2 ◁、▷ボタンを押して、見たいアルバムを選びます。

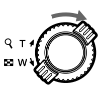
3 OKボタンを押します。
選んだアルバムの1コマ目の画像が再生されます。



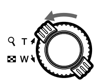


選んだアルバム内の前の画像を表示します。

選んだアルバム内の次の画像を表示します。



ズームレバーをT側（Q）に回すと、拡大表示します。



ズームレバーをW側（▦）に回すと、拡大した画像を元の1コマサイズに戻します。

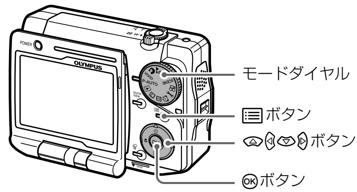
補足

- インデックス表示はできません。
- アルバムメニューからアルバムを選ぶこともできます。≡ボタンを押して、「アルバム選択」を選んでください。

アルバム内の画像を並び替える（並び替え）

アルバム内のコマ番号は、アルバムに登録した順につけられます。このコマ番号を変えて、画像の並び替えをします。画像を並び替えると、スライドショーでの再生の順番を変えることができます。またコマ番号を 1 にすると、アルバムの代表コマとして表示されます。

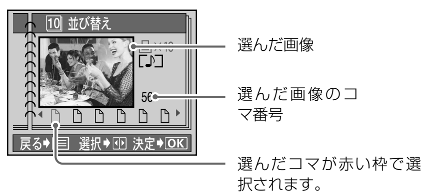
1 画像を並び替えたいアルバムを再生します。
「アルバム内の画像を見る」（☞ 117 ページ）



2 ボタンを押して、アルバムメニュー画面を表示します。
、ボタンを押して、「並び替え」を選びます。

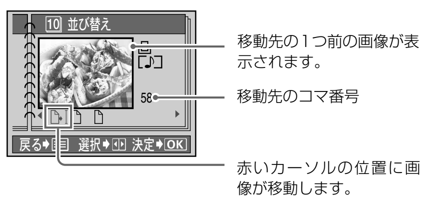
3 ボタンを押して、並び替えの設定に入ります。

① 、ボタンを押して、移動させたい画像を選びます。



② ボタンを押すと、移動する画像が確定します。

③ 、ボタンを押して、移動先を選びます。



4 ボタンを押します。
アルバム内の画像が並び替わります。

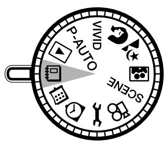
アルバムに登録されている画像を解除する

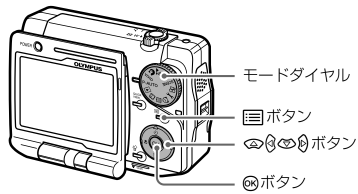
アルバムに登録されている画像を、アルバムから解除します。アルバムから解除されるだけで、カードには画像が残ります。

補足

アルバムから解除すると、プロテクトされている画像もアルバムから解除されます。ただし、カードには画像が残ります。

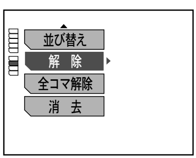
1 モードダイヤルを回して、に合わせます。





2 アルバム内の画像を再生します。
「アルバム内の画像を見る」（☞ 117ページ）

3 ボタンを押して、アルバムメニュー画面を表示します。
、ボタンを押して、「解除」を選びます。



4 ボタンを押して、解除の設定に入ります。
画像の選択画面が表示されます。「この画像を解除」または「選択解除」を選んで、OKボタンを押します。

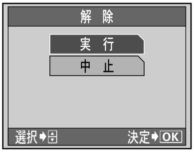


この画像を解除： 表示されている画像をアルバムから解除します。「「この画像を解除」を選んだ場合」（☞ 120ページ）へ進んでください。

選択解除： アルバムから解除したい画像を複数選ぶことができます。「「選択解除」を選んだ場合」（☞ 120ページ）へ進んでください。

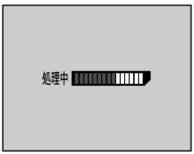
「この画像を解除」を選んだ場合

5 、ボタンを押して「実行」を選びます。



6 OKボタンを押します。

画像の解除が始まります。解除が終わるとアルバム再生モードに戻ります。



「選択解除」を選んだ場合

5 、ボタンを押して解除したい画像を選び、OKボタンを押します。



画像を選ぶと✓がつきます。
もう一度OKボタンを押すと、選択が解除されます。

補足

選んだアルバム内の画像しか選べません。

6 ボタンを押します。

、ボタンを押して「実行」を選びます。



7 ボタンを押します。
選んだすべての画像の解除が始まります。解除が終わるとアルバム再生画面に戻ります。

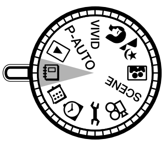
アルバム内の全画像の登録を解除する（全コマ解除）

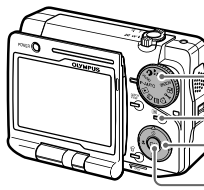
アルバムに登録されているすべての画像をアルバムから解除します。解除した画像はカードに残ります。

補足

プロテクトされている画像もアルバムからすべて解除されます。ただし、カードには画像が残ります。

1 モードダイヤルを回して、に合わせます。





2 アルバム内の画像を再生します。
「アルバム内の画像を見る」（☞ 117ページ）

3 ボタンを押して、アルバムメニュー画面を表示します。
、ボタンを押して、「全コマ解除」を選びます。

4 ボタンを押して、全コマ解除の設定に入ります。

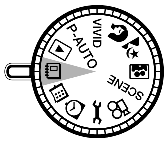


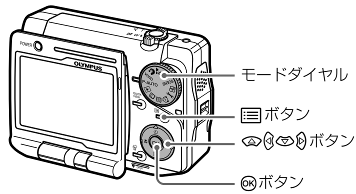
5 、ボタンを押して「実行」を選び、ボタンを押します。
アルバム内のすべての画像を解除します。解除が終わるとアルバム再生画面に戻ります。

アルバムから選んで画像を消去する（消去）

アルバムから選んで画像を 1 コマずつ消去します。消去すると、カードから画像が消去されます。

1 モードダイヤルを回して、に合わせます。

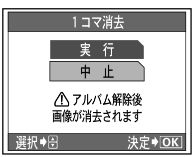




2 アルバム内の画像を再生します。
「アルバム内の画像を見る」（☞ P.117）

3 ボタンを押して、アルバムメニュー画面を表示します。
、ボタンを押して、「消去」を選びます。

4 ボタンを押して、1 コマ消去の設定に入ります。
ボタンを押します。



5 、ボタンを押して「実行」を選び、ボタンを押します。
選んだ画像が 1 コマ消去されます。消去が終わるとアルバム再生画面に戻ります。

補足

- アルバムメニューを使って、画像を1コマ消去したり、スライドショーで再生することができます。アルバムメニューで設定できる項目について詳しくは、「メニュー一覧／アルバムメニュー」（☞ 203ページ）をご覧ください。
- アルバムメニューでは全コマ消去はできません。

第7章　カメラの設定・機能をカスタマイズする

設定を記憶させる（設定保持）

電源を切ったあとも、変更した設定値を保持することができます。「設定保持」が適用される機能について詳しくは、「設定保持「しない」を選んだとき初期設定に戻る機能」（☞ 124ページ）をご覧ください。

「設定保持」の「する」「しない」の設定は、セットアップモードをのぞくすべてのモードで共通です。いずれかのモードで「設定保持」を設定すると、撮影モード、再生モードにかかわらず適用されます。

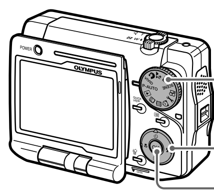
する：　変更した設定は、電源を切っても記憶されます。

しない： 変更した設定は、電源を切ると初期設定に戻ります。

補足

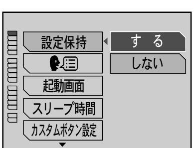
ご購入時は、設定保持「する」設定になっています。

1 モードダイヤルを回して、（セットアップ）に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して「設定保持」を選びます。
▷ボタンを押して、設定保持の設定に入ります。

3 △、▽ボタンを押して、「する」または「しない」を選び、OKボタンを押します。
設定保持が「する」または「しない」に設定され、メニュー画面に戻ります。



設定保持「しない」を選んだとき初期設定に戻る機能

機能名	初期設定	参照ページ
フラッシュ	オート	P.45
マクロ/スーパーマクロ	オフ	P.47
セルフタイマー	オフ	P.48
画質	静止画：スーパーハイ4M 動画：スタンダード	P.55
連写	オフ	P.58
露出補正	±0	P.60
デジタルズーム	オフ	P.62
ホワイトバランス	オート	P.64
測光	オート	P.66
AF方式	オート	P.67
スチル録音	オフ	P.74
手振れ補正	オフ	P.76
フルタイムAF	オフ	P.77
ムービー録音	オン	P.78
情報表示	標準	P.91
スライドショー	標準	P.86

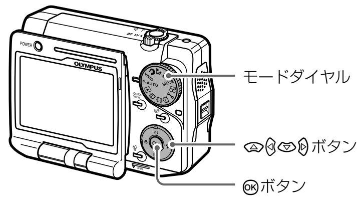
補足

- 上記以外の設定は、常に保持されます。
- すべての初期設定は、「メニュー一覧」（☞ 199ページ）をご覧ください。
- オールリセットを選ぶと、すべての機能は初期設定に戻ります。詳しくは、「カメラの設定をリセットする（オールリセット）」（☞ 142ページ）をご覧ください。

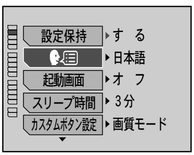
表示する言語を切り替える（ ）

液晶モニタに表示されるメニューやエラーメッセージを、日本語以外の言語に切り替えることができます。

1 モードダイヤルを回して、 に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 、 ボタンを押して、「 」を選びます。



3 ボタンを押して、言語の設定に入ります。



4 、 ボタンを押して、表示したい言語を選びます。

5 ボタンを押します。
選んだ言語が設定され、メニュー画面に戻ります。

補足

表示する言語を追加することができます。当社ホームページで追加する言語のファームウェアを配信しています。詳しくは当社ホームページ(http://www.olympus.co.jp/)をご覧ください。

起動画面を変える（起動画面）

電源を入れたときに、液晶モニタに表示される画面を変えます。以下の 3 種類から選んで設定します。

1



2

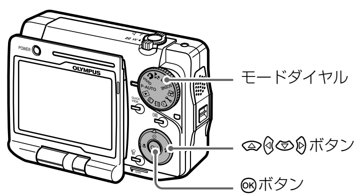


時計

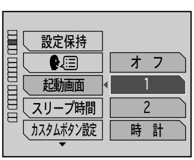


時計メニューで設定した「デザイナーズ」または「デジタル」が表示されます。時計スタイルの設定について詳しくは、「時計のスタイルを選ぶ（時計スタイル）」（☞ 145 ページ）をご覧ください。

1 モードダイヤルを回して、（セットアップ）に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して、「起動画面」を選びます。
▷ボタンを押して、起動画面の設定に入ります。



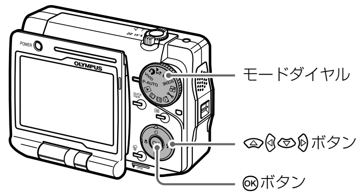
3 △、▽ボタンを押して、表示したい画面を選びます。
起動画面を表示したくない場合は、「オフ」を選びます。

4 OKボタンを押します。
選んだ画面が設定され、メニュー画面に戻ります。

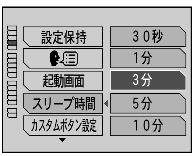
スリープ時間を設定する（スリープ時間）

何も操作しない時間がしばらくつづくと、電池節約のためカメラはスリープモード（待機状態）になります。このスリープモードに入る時間を設定することができます。お買上げ時には、「3分」に設定されています。

1 モードダイヤルを回して、に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 、ボタンを押して、「スリープ時間」を選びます。
ボタンを押して、スリープ時間の設定に入ります。



3 、ボタンを押して、スリープモードに入る時間を選びます。

4 ボタンを押します。
スリープモードに入る時間が設定され、メニュー画面に戻ります。

補足

- カメラをスリープモードから復帰させる場合は、操作ボタンを押してください。スリープモードに入る前のモードに復帰します。モードダイヤルを回して復帰した場合は、モードダイヤルの位置で復帰します。
- 電池をお使いの場合、スライドショーを再生しているときは、30分経過するとスリープモード（待機状態）になり、自動的にスライドショーが終了します。
- ACアダプタを接続しているときは、カメラはスリープモードには入りません。ただし、カメラが時計モードの場合は10分後にスリープモードに入ります。

よく使う機能をカスタムボタンに設定する（カスタムボタン）

よく使う機能をカスタムボタンに設定します。カスタムボタンには、以下の機能が設定できます。

画質モード
「画質モードを選ぶ（画質モード）」（☞ 55ページ）

連写
「連続して撮影する（連写）」（☞ 58ページ）

露出補正
「明るい／暗い被写体に適した設定をする（露出補正）」（☞ 60ページ）

デジタルズーム
「デジタルズームを使う（デジタルズーム）」（☞ 62ページ）

ホワイトバランス
「撮影場所の明かりに適した設定をする（ホワイトバランス）」（☞ 64ページ）

測光
「被写体と背景の明るさが異なるとき（測光）」（☞ 66ページ）

AF方式
「ピントを合わせる範囲を変える（AF方式）」（☞ 67ページ）

フルタイムAF
「ムービー撮影時のオートフォーカスの設定をする（フルタイムAF）」（☞ 77ページ）

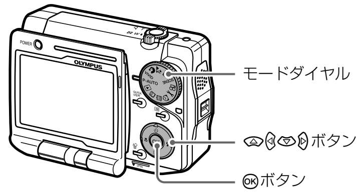
スチル録音
「撮影に合わせて音声を録音する（スチル録音）」（☞ 74ページ）

ムービー録音
「撮影に合わせて音声を録音する（ムービー録音）」（☞ 78ページ）

手振れ補正
「ムービー撮影時の手振れを補正する（手振れ補正）」（☞ 76ページ）

1 モードダイヤルを回して、🔧に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。

2 △、▽ ボタンを押して、「カスタムボタン設定」を選びます。
▷ボタンを押して、カスタムボタンの設定に入ります。



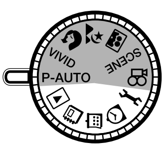


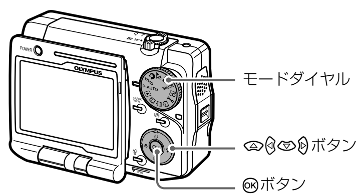
3 △、▽ボタンを押して、カスタムボタンに設定したい機能を選びます。

4 OKボタンを押します。
選んだ機能がカスタムボタンに設定され、メニュー画面に戻ります。

カスタムボタンを使う

1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**、**VIVID**、人物、夜景、風景、**SCENE**、動画のどれかに合わせます。





補足

カスタムボタンに設定した機能によっては、夜景、**SCENE**、動画、では操作できない機能もあります。カスタムボタンに設定した機能を確認して、モードダイヤルの位置を合わせてください。

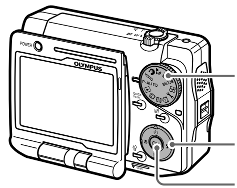
2 ▽（カスタム）ボタンを押して、カスタム設定画面を表示します。

3 △、▽ボタンを押して、設定したい項目を選びOKボタンを押します。

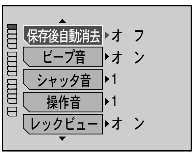
画像をストレージ保存したあとに自動的に消去する

撮影した画像をDock & Done対応ストレージに保存したあと、カードから画像を自動的に消去する設定をします。

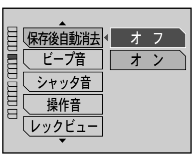
1 モードダイヤルを回して、に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して、「保存後自動消去」を選びます。



3 ▷ボタンを押して、保存後自動消去の設定に入ります。
△、▽ボタンを押して、「オン」を選びます。



4 ⓞボタンを押します。
保存後自動消去の設定が確定し、メニュー画面に戻ります。

ご注意

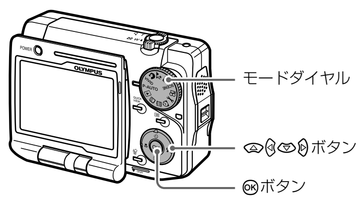
「保存後自動消去」を「オン」に設定すると、再生メニューで「ストレージ保存」を「保存しない」に設定した画像も消去の対象となりますのでご注意ください。ストレージ保存について詳しくは、「Dock & Done対応ストレージへの保存設定をする（ストレージ保存）」（☞ 109ページ）をご覧ください。
また、「保存後自動消去」を「オン」に設定した場合でも、以下の画像データについては消去されません。

- アルバムに登録されている画像
- DPOF予約をした画像
- プロテクトを「オン」に設定した画像
- ストレージへの保存に失敗した画像

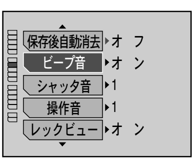
警告音を設定する（ビープ音）

警告音を小さくしたり、消したりすることができます。

1 モードダイヤルを回して、🔧に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。

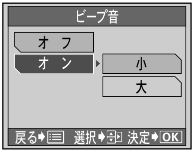


2 △、▽ボタンを押して、「ビープ音」を選びます。



3 ボタンを押して、ビープ音の設定に入ります。

、ボタンを押して、「オン」を選びます。



補足

「オフ」を選ぶと、ビープ音は鳴りません。

4 ボタンを押して、ビープ音の音量を「小」または「大」から選びます。

選んだ音量のサンプルが再生されます。

5 ボタンを押します。

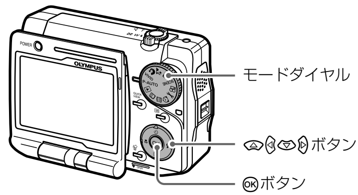
ビープ音の音量が設定され、メニュー画面に戻ります。

補足

ビープ音を「オフ」に設定しても、カメラの状態によってはビープ音が鳴る場合があります。

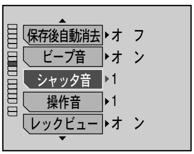
シャッター音を設定する（シャッタ音）

シャッターボタンを押したときの音色を 2 種類から選びます。さらに、それぞれの音量を「大」または「小」から選択できます。音を消す場合は、「オフ」に設定してください。

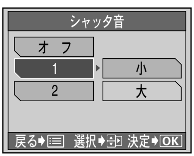


1 モードダイヤルを回して、に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。

2 、ボタンを押して、「シャッタ音」を選びます。



3 ボタンを押して、シャッター音の設定に入ります。

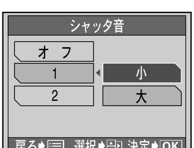


4 、ボタンを押して、「1」または「2」を選びます。
選んだシャッター音のサンプルが再生されます。

補足

「オフ」を選ぶと、シャッター音は鳴りません。

5 ボタンを押して、シャッター音の音量を「小」または「大」から選びます。
選んだ音量のサンプルが再生されます。

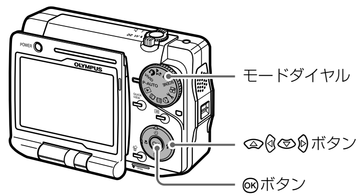


6 OKボタンを押します。
選んだシャッター音の音色と音量が設定され、メニュー画面に戻ります。

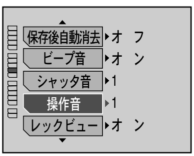
操作音を設定する（操作音）

カメラを操作するときに鳴る、操作音を 2 種類から選ぶことができます。また、それぞれの音量を「大」または「小」から選択できます。音を消す場合は、「オフ」に設定してください。

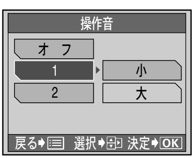
1 モードダイヤルを回して、（セットアップ）に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して、「操作音」を選びます。



3 ▷ボタンを押して、操作音の設定に入ります。

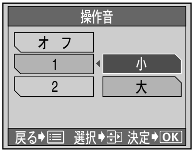


4 △、▽ボタンを押して、「1」または「2」を選びます。
選んだ操作音のサンプルが再生されます。

補足

「オフ」を選ぶと、操作音は鳴りません。

5 ▷ボタンを押して、操作音の音量を「小」または「大」から選びます。
選んだ音量のサンプルが再生されます。

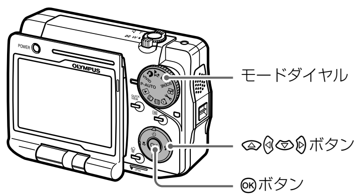


6 OKボタンを押します。
選んだ操作音の音色と音量が設定され、メニュー画面に戻ります。

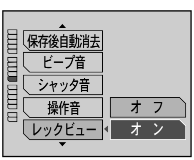
撮影後すぐに画像を確認する（レックビュー）

撮影の直後に、今撮った画像が再生されます。これをレックビューといいます。撮影直後に再生されるので、撮るたびに画像を確認することができます。

1 モードダイヤルを回して、🔧に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して、「レックビュー」を選びます。
▷ボタンを押して、レックビューの設定に入ります。



3 △、▽ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、OKボタンを押します。
レックビューが「オン」または「オフ」に設定され、メニュー画面に戻ります。

ファイル名を通し番号にする（ファイル名メモリー）

ファイル名は通常、リセットに設定されています。ファイル名を通し番号にしたい場合は、「オート」に設定してください。
記録される画像に、ファイル名とそのファイルが入るフォルダ名がカメラ内部で自動的に生成されます。ファイル名とフォルダ名はそれぞれファイルNo.(0001～9999)、フォルダNo.（100～999）を含み、以下のように付けられます。

フォルダ名　ファイル名

¥DCIM¥***OLYMP¥Pmdd****.JPG

フォルダNo.（100～999）
月（1～C）
日（01～31）
ファイルNo.（0001～9999）

- ファイル名の「月」の表記は、1月～9月は1～9、10月はA、11月はB、12月はCとなります。

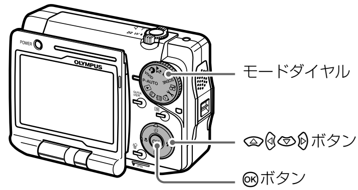
フォルダNo.とファイルNo.の付けかたは、「リセット」、「オート」の2種類あります。パソコンで画像を取り込む際に、扱いやすい方をお選びください。

リセット:
カードを入れ換えたときにフォルダNo.、ファイルNo.が両方ともリセットされます。フォルダNo.は「100」に、ファイルNo.は「0001」に戻ります。カード別に画像を管理するときに便利です。

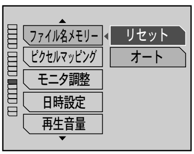
オート:
カードを入れ換えても、フォルダNo.、ファイルNo.とも前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでも、ファイル名が重複することがありません。すべての画像を通し番号で管理するのに便利です。

ご注意
- ファイル No. が 9999 を超えるとフォルダ No. が1つ繰り上がり、ファイル No. は「No.0001」に戻ります。
- フォルダNo.999、ファイルNo.9999の最大に達すると、カード残量があっても撮影可能枚数が0となり撮影できません。新しいカードに取り換えてください。

1 モードダイヤルを回して、（セットアップ）に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して、「ファイル名メモリー」を選びます。
▷ボタンを押して、ファイル名メモリーの設定に入ります。



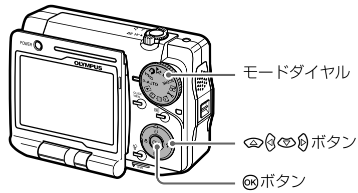
3 △、▽ボタンを押して、「オート」を選びます。

4 OKボタンを押します。
ファイル名メモリーが「オート」に設定され、メニュー画面に戻ります。

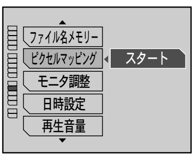
画像処理機能を調整する（ピクセルマッピング）

CCDと画像処理機能のチェックと調整を同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに行う必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るために、撮影・再生直後から 1 分以上時間をあけて実行してください。

1 モードダイヤルを回して、に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 、ボタンを押して、「ピクセルマッピング」を選びます。
ボタンを押して、ピクセルマッピングの調整に入ります。



3 ボタンを押して、ピクセルマッピングの調整をスタートします。
ピクセルマッピングの処理が始まります。処理が終わると、メニュー画面に戻ります。

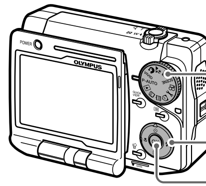
補足

処理中に、誤ってカメラの電源を切ってしまった場合は、はじめから操作をし直してください。

液晶モニタの明るさを調整する（モニタ調整）

液晶モニタの明るさを見やすいように調整します。

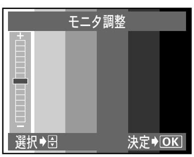
1 モードダイヤルを回して、に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。

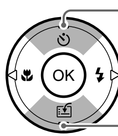


2 、ボタンを押して、「モニタ調整」を選びます。



3 ボタンを押して、モニタの調整に入ります。



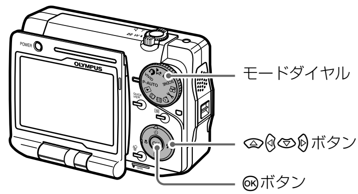


4 ボタンを押します。
液晶モニタの明るさが設定され、メニュー画面に戻ります。

再生音量を設定する（再生音量）

スチル／ムービー録音した画像の音声を再生するときの、音量を設定します。

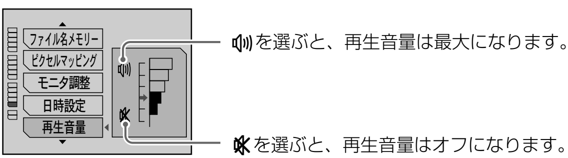
1 モードダイヤルを回して、🔧に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して、「再生音量」を選びます。



3 ▷ボタンを押して、再生音量の設定に入ります。
△、▽を押して、音量を選びます。



4 OKボタンを押します。
再生音量が設定され、メニュー画面に戻ります。

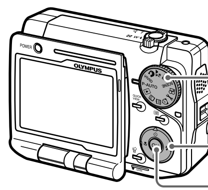
ビデオ出力方式を選ぶ（ビデオ出力）

お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSCまたはPALを選びます。海外でテレビに接続して再生するときは、テレビに接続する前に、ビデオ出力方式を設定してください。間違った設定をするとテレビで正しく再生できません。

補足

海外でテレビに接続する場合は、その地域のテレビ映像信号を確認してから接続してください。
NTSC：日本、台湾、韓国、北米
PAL：ヨーロッパ諸国、中国

1 モードダイヤルを回して、🔧に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して、「ビデオ出力」を選びます。
▷ボタンを押して、ビデオ出力の設定に入ります。



3 △、▽ボタンを押して、「NTSC」または「PAL」を選びます。

4 OKボタンを押します。
ビデオ出力方式が設定され、メニュー画面に戻ります。

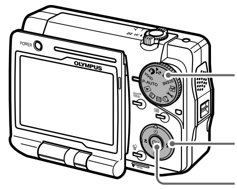
カメラの設定をリセットする（オールリセット）

撮影や再生で設定した内容をリセットして、お買上げ時の設定に戻します。

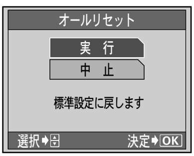
ご注意

オールリセットを行うと、設定保持を「する」に設定した内容もリセットされます。

1 モードダイヤルを回して、🔧に合わせます。
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 △、▽ボタンを押して、「オールリセット」を選びます。
▷ボタンを押して、オールリセットの設定に入ります。



3 △、▽ボタンを押して、「実行」を選びます。

4 OKボタンを押します。
カメラに設定した内容がリセットされ、メニュー画面に戻ります。

カードを初期化する（カードフォーマット）

フォーマットとは、このカメラで画像の保存ができるように、カードを適切な状態にすることです。このカメラ以外のカードやパソコンでフォーマットしたカードを使う場合は、必ずこのカメラでフォーマットし直してください。

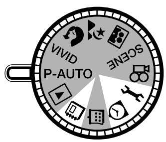
ご注意

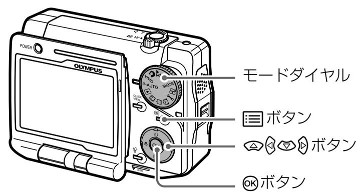
- フォーマットするとカード内のすべてのデータが消去されます。
- プロテクトをかけた画像や、アルバムに登録した画像も消去されます。

補足

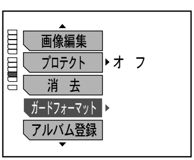
カードのフォーマットは、撮影メニュー、再生メニュー、カレンダーメニューで設定することができます。

1 モードダイヤルを回して、**P-AUTO**、**VIVID**、、、、**SCENE**、、、のどれかに合わせます。



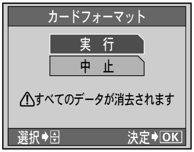


2 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
、ボタンを押して、「カードフォーマット」を選びます。

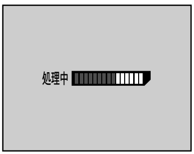


画面は静止画再生メニューを表示した場合です。

3 ボタンを押して、カードフォーマットの設定に入ります。
、ボタンを押して、「実行」を選びます。



4 ボタンを押します。
カードのフォーマットが始まります。カードのフォーマットが終了すると、元の撮影モード、再生モードに戻ります。



時計メニューを使って設定する

このカメラでは、アラームを設定したり、液晶モニタに表示する時計のスタイルを選ぶことができます。時計モードの設定は、時計モードメニュー画面で行います。

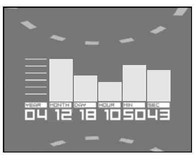
補足

時計メニューから日時を設定することもできます。時計メニュー画面を表示して、「日時設定」を選んで設定してください。日時の設定方法について詳しくは、「日付／時刻を設定する」（☞ 34 ページ）をご覧ください。

時計のスタイルを選ぶ（時計スタイル）

液晶モニタに表示する時計のスタイルを設定します。時計のスタイルは以下の 2 種類から選べます。

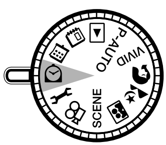
デザイナーズ時計

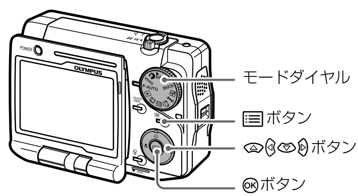


デジタル時計

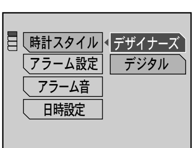


1 モードダイヤルを回して、に合わせます。





2 ボタンを押して時計メニュー画面を表示し、、ボタンを押して、「時計スタイル」を選びます。
ボタンを押して、時計スタイルの設定に入ります。



3 △、▽ボタンを押して、「デザイナーズ」または「デジタル」を選びます。

4 ⓞⓚボタンを押します。
選んだ時計スタイルが設定されます。☰ボタンを押すと、設定した時計スタイルが表示されます。

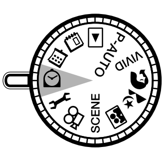
補足
ACアダプタ使用時、カメラが時計モードの場合は、10分後にスリープモードになります。電池の場合は、設定したスリープ時間でスリープモードに入ります。

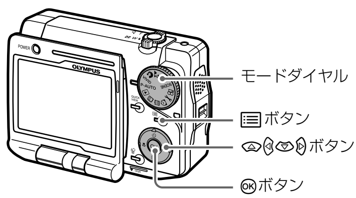
アラームを設定する（アラーム設定）

アラームを設定します。アラームを設定すると、カメラの電源が切れていても、アラームを設定した時刻になると自動的に電源が入り、アラームが鳴ります。設定したアラームを解除したいときは、設定を「オフ」にしてください。

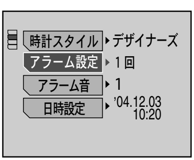
補足
日時が設定されていない場合は、「アラーム設定」は選べません。日時を設定してからアラームの設定をしてください。詳しくは、「日付／時刻を設定する」（☞ 34ページ）をご覧ください。

1 モードダイヤルを回して、⏲に合わせます。



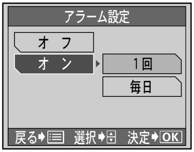


2 ☰ボタンを押して、時計メニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「アラーム設定」を選びます。



3 ▷ボタンを押して、アラームの設定に入ります。

△、▽ボタンを押して「オン」を選び、▷ボタンを押してアラームを設定します。



4 △、▽ボタンを押して、「1回」または「毎日」を選び、OKボタンを押します。

「1回」を選ぶと、アラームは1回だけ実行されます。「毎日」を選ぶと、設定した時刻になると、毎日アラームが実行されます。

5 アラームを実行する時刻を設定します。

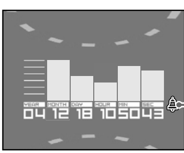
「1回」を選んだ場合は、日時の設定を行います。「毎日」を選んだ場合は、時刻の設定のみ行います。日時の設定については、「日付／時刻を設定する」（☞34ページ）をご覧ください。



「1回」を選んだ場合の画面です。

6 OKボタンを押します。

設定したアラームが設定されます。☰ボタンを押すと、時計モードに戻ります。



アラームを設定すると、🔔マークが表示されます。

ご注意

カメラの電源が入っている状態でアラームを鳴らしたい場合は、モードダイヤルを⏰に合わせて、時計モードにしてください。

補足

時計表示中にQUICK VIEWボタンを押すと、アラームの設定時刻が3秒間表示されます。

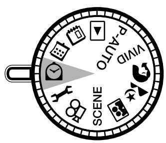
鳴っているアラーム音を止めたいときは

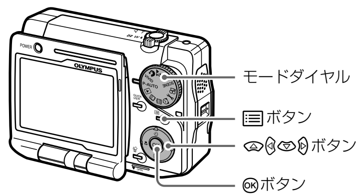
- カメラの操作ボタンを押してください（モードダイヤルを回す、ズームレバーを操作する、シャッターボタンを押すなどしても、アラーム音は鳴り止みません）。
- カメラの電源をオフにしてください。

アラーム音と音量を設定する（アラーム音）

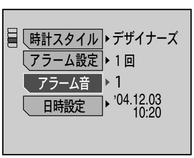
アラームの音色と音量を設定します。アラーム音は3種類から選ぶことができます。また、それぞれの音量を「小」、「中」、「大」と、徐々にアラーム音が大きくなる「ステップトーン」から選びます。

1 モードダイヤルを回して、⏰に合わせます。





2 ☰ボタンを押して、時計メニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「アラーム音」を選びます。



3 ▷ボタンを押して、アラーム音の設定に入ります。
△、▽ボタンを押して、設定したいアラームの音色を選びます。



4 ボタンを押して、音量の設定に入ります。
、ボタンを押して、音量を選びます。



5 ボタンを押します。
選んだアラーム音の音色と音量が設定されます。ボタンを押すと、時計モードに戻ります。

第8章　プリントする

プリント方法を選ぶ

カメラで撮影した画像をプリントするには、以下の方法があります。

Dock&Done対応プリンタを使う

カメラを別売のDock&Done対応ストレージやプリンタに接続すると、画像の保存やプリントをパソコンを使わずに簡単な操作で行うことができます。Dock & Done対応ストレージやプリンタの操作方法について詳しくは、Dock & Done 対応ストレージ、プリンタに付属している取扱説明書をご覧ください。

PictBridge対応プリンタを使う（ダイレクトプリント）

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントします。

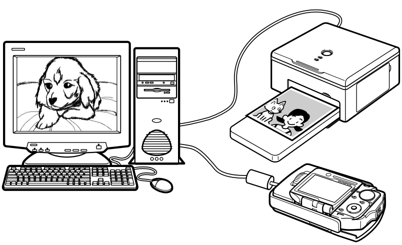
「PictBridge対応プリンタでプリントする」（☞161ページ）

パソコン接続のプリンタを使う

パソコンに接続しているプリンタでプリントします。

カード内の画像をパソコンに取り込み、プリントすることができます。OLYMPUS Masterを使うと、簡単にプリントできます。

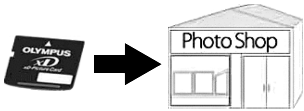
「OLYMPUS Masterをインストールする」（☞173ページ）



カメラ店のプリントサービスを利用します。

カード内の画像をカメラ店でプリントしてもらうことができます。あらかじめカメラでプリント予約をすると、予約内容のとおりにプリントできます。

「プリント予約をする（DPOF設定）」（☞152ページ）



DPOF を使用せずにプリントサービスを利用される方へ

写真店などのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。

ファイル番号は情報表示を「標準」または「詳細」に設定すると表示されます。「画像に表示する情報量を切り替える（情報表示）」（☞91ページ）

（例）　FILE 100-0009

フォルダの通し番号　画像の通し番号

ファイル番号



プリント予約をする（DPOF設定）

プリント予約とは、プリントする画像や枚数などを指定し、カードに予約内容を記憶させることです。プリント予約したカードをDPOF対応の写真店に持っていくと、予約内容のとおりにプリントができます。ご家庭でもDPOF対応のプリンタがあればプリントできます。
予約方法は、すべての画像を予約する「全コマ予約」と、画像を1枚ずつ選びながら予約する「1コマ予約」があります。

Dock & Done対応プリンタで、簡単プリント

デジタルカメラを別売のDock & Done対応プリンタに接続すると、カメラをクレードルに置くだけで、プリント予約をした画像を簡単に印刷できます。
詳しくは、Dock & Done対応プリンタに付属している取扱説明書をご覧ください。

DPOFとは？

Digital Print Order Formatの略称。デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントする画像を選び、枚数や日時の情報を記録する形式です。DPOF形式でプリント予約した内容はカードに保存されます。

ご注意

- プリント予約できる枚数は、1枚のカードにつき999コマまでです。
- プリント予約は、カードに予約を記録するときに時間がかかることがあります。
- 他のDPOF機器で設定されたDPOF予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。
- 他の機器でDPOF予約されているファイルがある場合、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、以前に予約した内容は消去されます。

1コマ予約／全コマ予約をする

1コマ予約

画像を 1 枚ずつ選びながらプリント予約します。プリントする枚数を指定することができます。また、すでに予約した内容を変更することができます。

全コマ予約

すべての画像をプリント予約します。撮影日または撮影時刻をプリント指定することができます。予約枚数は各 1 枚です。枚数を変更する場合は 1 コマ予約をしてください。

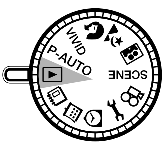
ご注意

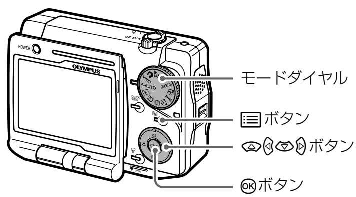
プリント予約で設定した内容は、プリントが終了しても自動的に解除されません。同じ画像をプリントする必要がない場合は、プリント予約を解除してください。詳しくは、「プリント予約を解除する」（☞ 158ページ）をご覧ください。

補足

🎥（ムービー）マークのついた画像はプリント予約できません。

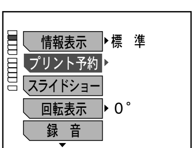
1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。





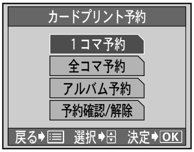
2 ☰ ボタンを押して再生メニュー画面を表示し、△、▽ ボタンを押して、「プリント予約」を選びます。

▷ ボタンを押して、プリント予約の設定に入ります。



「1コマ予約」をする場合

3 ⊜、⊝ボタンを押して、「1コマ予約」を選びます。



4 ㊍ボタンを押します。

- **1コマ再生からプリント予約の設定に入った場合：**
  画像が1コマで表示されます。
- **インデックス表示からプリント予約の設定に入った場合：**
  インデックス画面が表示されます。プリント予約したい画像を選んで、㊍ボタンを押してください。（インデックスが4分割表示のときは、ズームレバーをT側（Q）に回しても㊍ボタンと同じ操作ができます）インデックス画面の操作について詳しくは、「画像を一覧で見る（インデックス再生）」（☞ 84ページ）をご覧ください。

5 ◁、▷ボタンを押してプリント予約したい画像を選び、⊜、⊝ボタンを押して、プリント枚数を選びます。

さらにプリント予約したい画像がある場合は、この操作を繰り返します。



プリント枚数が表示されます。

補足

最大10枚まで予約できます。0枚の設定ではプリント予約されません。

6 OKボタンを押します。

▲、▼ボタンを押して、「無し」、「日付」または「時刻」を選びます。



無し：画像のみプリントされます。
日付：画像に撮影年月日がプリントされます。
時刻：画像に撮影時刻がプリントされます。

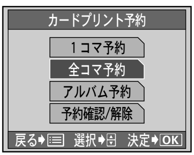
7 OKボタンを押します。

8 ▲、▼ボタンを押して「予約する」を選び、OKボタンを押します。

選んだ画像がプリント予約され、カードに記録されます。

「全コマ予約」をする場合

3 ▲、▼ボタンを押して、「全コマ予約」を選びます。



4 OKボタンを押します。

▲、▼ボタンを押して、「無し」、「日付」または「時刻」を選びます。



無し：画像のみプリントされます。
日付：画像に撮影年月日がプリントされます。
時刻：画像に撮影時刻がプリントされます。

5 OKボタンを押します。

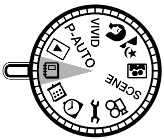
6 ▲、▼ボタンを押して「予約する」を選び、OKボタンを押します。

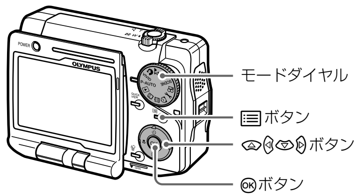
すべての画像がプリント予約され、カードに記録されます。

アルバムからプリント予約をする（アルバム予約）

アルバムを選んでプリント予約をすることができます。アルバムからプリント予約したい画像を選ぶ「1コマ予約」と、アルバム内の画像をすべてプリント予約する「全コマ予約」があります。

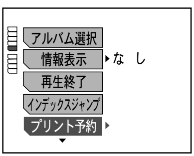
1 モードダイヤルを回して、▣に合わせます。



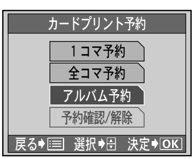


2 アルバムを選択して、プリント予約したい画像を1コマ表示します。
「アルバム内の画像を見る」（☞ 117ページ）

3 ☰ボタンを押して、アルバムメニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「プリント予約」を選びます。



4 ▷ボタンを押して、プリント予約の設定に入ります。
△、▽ボタンを押して、「アルバム予約」を選びます。



補足

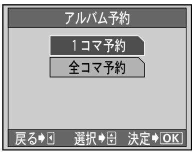
- 再生メニューからプリント予約の設定をすると「アルバム予約」は表示されません。アルバム予約をしたい場合は、アルバム内の画像を選んだあとに☰ボタンを押して、「プリント予約」を選んでください。
- ☰ボタンまたは◁ボタンを押すと、アルバム選択画面に戻ります。

5 ㊫ボタンを押します。

◁、▷ボタンを押して、プリント予約したいアルバムを選びます。



6 ㊫ボタンを押します。



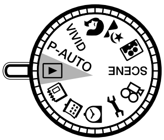
7 △、▽ボタンを押して、「1コマ予約」または「全コマ予約」を選び、㊫ボタンを押します。

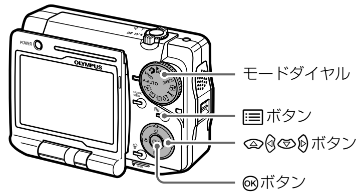
- **1コマ予約を選んだ場合：**
  選んだ画像のみプリント予約します。1コマ予約の設定については、「「1コマ予約」をする場合」（☞ 154ページ）の手順5からの操作を行ってください。
- **全コマ予約を選んだ場合：**
  選んだアルバム内の画像をすべてプリント予約します。全コマ予約の設定については、「「全コマ予約」をする場合」（☞ 155ページ）の手順4からの操作を行ってください。

プリント予約を解除する

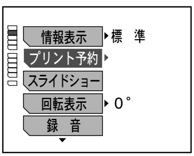
カード内に記録されているプリント予約を解除します。1コマずつ選んで解除する「1コマ解除」とすべての画像を解除する「全コマ解除」があります。

1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。

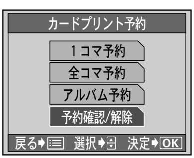




2 ☰ボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「プリント予約」を選びます。



3 ▷ボタンを押して、プリント予約の設定に入ります。
△、▽ボタンを押して、「予約確認／解除」を選びます。



補足

アルバムメニューからプリント予約の設定を選ぶと、「予約確認／解除」は選べません。再生メニューからプリント予約の設定を行ってください。

4 OKボタンを押します。



5 △、▽ボタンを押して、「1コマ解除」または「全コマ解除」を選びます。

- **1コマ解除を選んだ場合：**
  画像が1コマで表示されます。◁、▷ボタンを押して、解除したい画像を選びます。
- **全コマ解除を選んだ場合：**
  カード内の画像のプリント予約をすべて解除します。

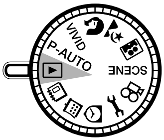
6 OKボタンを押します。

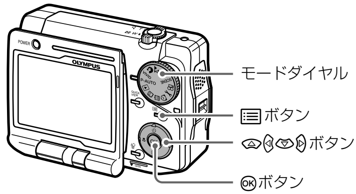
- **1コマ解除を選んだ場合：**
  選んだ画像のプリント予約が解除されます。プリント予約されている画像がまだ残っている場合は、手順4の画面に戻ります。終了したい場合は、「終了」を選んでOKボタンを押してください。
- **全コマ解除を選んだ場合：**
  カード内の画像のプリント予約が、すべて解除されます。メニュー画面に戻ります。

プリント予約をした内容を確認する

プリント予約をした内容を確認します。

1 モードダイヤルを回して、▶ に合わせます。





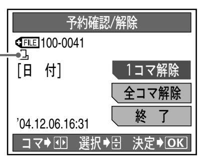
2 ☰ボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。
△、▽ボタンを押して、「プリント予約」を選びます。

3 ▷ボタンを押して、プリント予約の設定に入ります。
△、▽ボタンを押して、「予約確認／解除」を選びます。

補足
アルバムメニューからプリント予約の設定を選ぶと、「予約確認／解除」は選べません。再生メニューからプリント予約の設定を行ってください。

4 OKボタンを押します。
画面にプリント予約されている画像が表示されます。◁、▷ボタンを押して、確認したい画像を選びます。

プリント予約されている画像は、凸マークと枚数が表示されます。



5 △、▽ボタンを押して「終了」を選び、OKボタンを押します。
再生モードに戻ります。

PictBridge対応プリンタでプリントする

ダイレクトプリントについて

PictBridge対応プリンタにUSBケーブルを接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数の設定は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラの液晶モニタを見ながら操作します。また、プリント予約の設定内容を使って、プリントすることもできます。
「プリント予約をする（DPOF設定）」（☞ 152ページ）
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

PictBridgeとは

異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

標準設定

PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面で「凸標準設定」（☞ 167ページ）を選ぶと、この設定に従ってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。

補足

プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付けかたについては、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

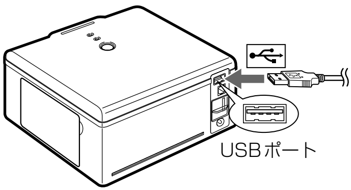
- 電源には付属のACアダプタのご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は、充分に充電された電池をお使いください。プリンタと通信中にカメラが動作を停止すると、プリンタが誤動作したり、画像データを壊すことがあります。
- ムービーはプリントできません。
- カメラとプリンタが接続されていて、プリンタの電源が入っている場合は、カメラはスリープモード（待機状態）にはなりません。

カメラをプリンタに接続する

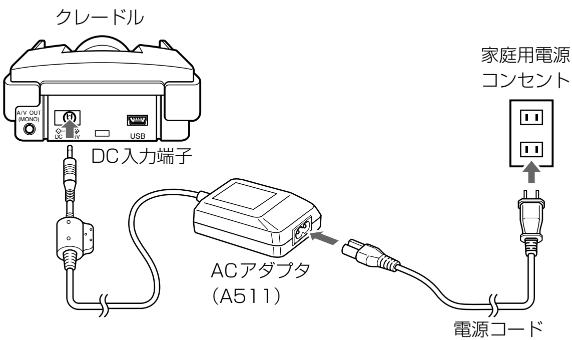
付属のUSBケーブルで、クレードルとPictBridge対応プリンタを接続します。

1 プリンタの電源を入れて、プリンタのUSBポートに、カメラに付属の専用USBケーブルを接続します。

プリンタの電源の入れかたおよびUSBポートの位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

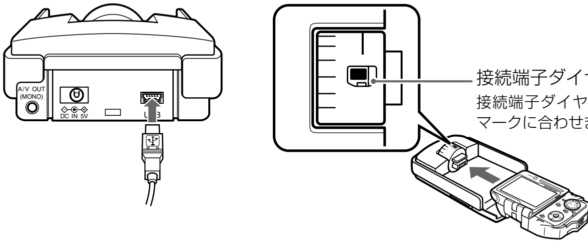


2 ACアダプタをクレードルに接続します。

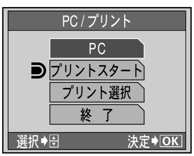


3 付属のUSBケーブルをクレードルのUSB端子に接続し、カメラをクレードルに取り付けます。

カメラをクレードルに取り付けるときは、マルチスイングディスプレイを開いた状態で取り付けます。



カメラの電源が自動的に入り、「PC／プリント」画面が表示されます。



4 ⊜、⊝ボタンを押して「プリント選択」を選び、ⓞボタンを押します。

しばらくすると、プリントモード選択画面が表示されます。「プリントまでの操作の流れ」(☞ 164ページ)に進んでください。

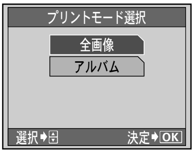
ご注意

- 誤って「PC」を選択したときは、手順1からやり直してください。
- 接続されているプリンタがDock & Done対応プリンタでない場合は、「プリントスタート」を選ぶと、「Dock&Doneプリンタが接続されていません」とエラーメッセージが表示されます。

プリントまでの操作の流れ

カメラとプリンタが正しく接続できたら、プリントする画像を選んで予約したり、プリントしたい画像を表示して順にプリントします。カメラのモニタ表示を見ながら設定をすすめてください。

十字ボタン（上 左 下 右）を押して、設定する項目を選びます。

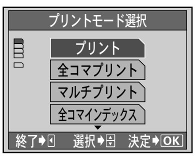


画面の下部に表示されるガイドに従って操作を進めてください。

「全画像」を選びます。

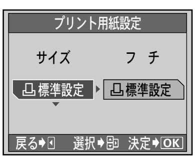
アルバムから画像を選んでプリントしたい場合は、「アルバム」を選びます。詳しくは、「アルバムからプリントしたい画像を選ぶときは」（☞ 166ページ）をご覧ください。

1 プリントモードを選びます。



1枚ずつ画像を選んでプリントするか、まとめてプリントするなどを選びます。「プリントモードを選択する」（☞ 166ページ）

2 用紙の設定をします。



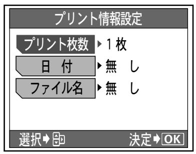
プリンタの設定に合わせて用紙の設定をしたり、フチのあるプリントにするかを選びます。「用紙を設定する」（☞ 167ページ）

3 プリントするコマを選びます。



プリントしたい画像を表示します。表示している画像をすぐプリントするか、その画像のプリント予約だけをしておくことができます。「プリントする画像を選ぶ」
（☞ 167ページ）

4 プリントする情報を設定します。



プリントする枚数、画像に記録されている日付情報やファイル名を同時にプリントするかどうか設定します。「プリントする情報を設定する」（☞ 167ページ）

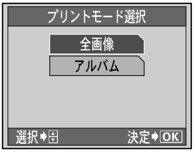
5 プリントします。



予約した画像をプリントします。「プリントする」（☞ 168ページ）

アルバムからプリントしたい画像を選ぶときは

アルバムからプリントしたい画像を選んでプリントします。アルバム内のすべての画像をプリントすることもできます。



❶「アルバム」を選んで㊍ボタンを押すと、アルバムの選択画面が表示されます。



❷アルバムの中からプリントしたい画像を選びます。アルバムからプリントする画像を選んだあとに㊍ボタンを押すと、プリントモードを選択する画面が表示されます。「プリントするまでの操作の流れ」手順1（☞ P.164）の操作に進んでください。

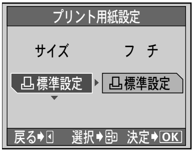
1 プリントモードを選択する

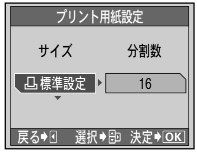
プリントの種類（プリントモード）を選びます。1枚ずつプリントするか、1枚の用紙に複数の画像をプリントするなどの選択ができます。

プリント	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	カードの中の全画像をプリントします。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	カードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
予約プリント	プリント予約（DPOF）の内容に従ってプリントします。あらかじめプリント予約された画像が無いときは、選択できません。

2 用紙を設定する

この設定内容は、プリンタの対応によって選択肢が異なります。プリンタの標準の設定しか使えない場合は、設定を変更することはできません。





サイズ：プリンタで用意されている用紙に合わせます。
フチ：用紙いっぱいにプリントするか、フチをつけてプリントするかを選択します。
分割数：プリントモードで「マルチプリント」を選択したとき、この設定項目が表示されます。

3 プリントする画像を選ぶ

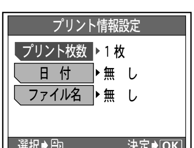
プリントする画像を選びます。選んだ画像をあとでまとめてプリント（1 枚予約）したり、表示している画像をプリントすることができます。



プリント：表示している画像をプリントします。「1 枚予約」をした画像が 1 枚でもあると、予約されてる画像のみプリントされます。
1 枚予約：表示している画像をプリントする予約をします。「1 枚予約」をしたら、◁ ▷ ボタンを押して、次に予約したい画像を選んでください。
詳細予約：表示している画像のプリントする枚数や情報を、プリントするかどうかを設定します。

4 プリントする情報を設定する

画像をプリントする際に、日付やファイル名の情報を同時にプリントするかどうかを設定します。



プリント枚数：プリントする枚数を設定します。
日付：画像に記録されている日付情報を同時にプリントします。
ファイル名：画像に記録されているファイル名を同時にプリントします。

5 プリントする

プリントする画像や内容が決まったらプリントします。



プリント：プリンタへプリントする画像のデータを転送します。

中止：プリントを中止します。設定してある予約などはすべて失われます。予約した内容を残して続けて予約や設定をしたいときは、◁ボタンを押して、ひとつ前の設定に戻ります。

プリントを途中で中止するには

プリンタへデータを転送中にOKボタンを押すと、プリントの「続行」または「中止」を選択する画面が表示されます。プリントを中止する場合は、△または▽をボタンを押して「中止」を選び、OKボタンを押します。

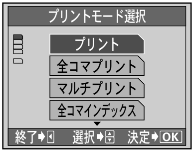
プリントモードや各設定について

使用するプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

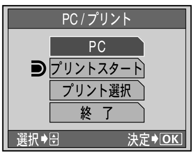
ダイレクトプリントを終了する

プリントが終了すると、「プリントモード選択」画面に戻ります。

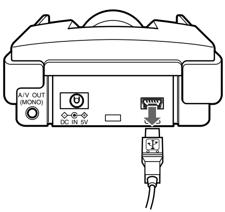
1 「プリントモード選択」画面で、◁ボタンを押します。



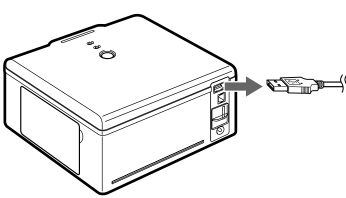
2 「PC/プリント」画面で△、▽ボタンを押して、「終了」を選びます。



3 クレードルからUSBケーブルを抜きます。
カメラの電源が切れます。



4 プリンタからUSBケーブルを抜きます。



第9章　画像をパソコンで楽しむ

パソコンに取り込む前に

撮影した画像をパソコンで利用してみましょう。
お好みの画像を選んでプリントするだけではありません。アプリケーションソフトを使って取り込んだ画像を日付別、目的別などに整理する、画像を編集・加工する、さらにインターネットを利用し、メールに画像を添付して送るなど、カメラの楽しみがどんどん広がります。
パソコンならではの画像の表示方法もあります。スライドショーやHTMLアルバムを作ったり、デスクトップの壁紙にして楽しんだりできます。

操作の流れ

カメラとパソコンを接続して、カメラのカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。

OLYMPUS Masterをインストールする ☞P.173

↓

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続する ☞P.178

↓

OLYMPUS Masterを起動する ☞P.180

↓

画像をパソコンに保存する ☞P.182

↓

カメラをパソコンから取りはずす ☞P.183

ご注意

- カメラをパソコンと接続するときは、できるだけACアダプタを使用してください。電池をご使用のときは、残量が充分にあることをご確認ください。パソコンとの接続中（通信中）は、自動的に電源が切れません。電池の残量がなくなると、カメラは途中で動作を停止します。カメラが動作を停止すると、パソコンが誤動作したり、パソコンとカメラの通信中の場合は画像データ（ファイル）を壊すことがあります。
- 誤動作の原因になりますので、パソコンとの接続中はカメラの電源を切らないでください。
- USB ハブを経由してカメラを接続すると、ハブとパソコン間の相性によって動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでパソコンとカメラを直接接続してください。

パソコンに取り込んだ画像を活用するには

グラフィックソフトを使っての画像処理は、必ずパソコンに取り込んでから行ってください。ソフトウェアによってはファイル（画像）がカードの中にある状態で画像処理（画像の回転など）を行うと、ファイルが壊れる可能性があります。

USB接続でカメラのデータを取り込めないとき

OSによってはPCカードアダプタ（別売）をお使いいただくと、xDピクチャーカードからパソコンへ画像を取り込めます。詳しくは裏表紙に記載の「ホームページによる情報提供について」をご参照ください。

付属のOLYMPUS Masterを使う

付属のCD-ROMには、画像編集・管理を行うOLYMPUS Masterが収録されています。

OLYMPUS Masterとは

OLYMPUS Masterは、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

画像を見る・ムービーを見る
スライドショーを楽しんだり、サウンドを再生することもできます。

画像を整理・管理する
カレンダー形式で表示して画像を管理します。撮影日時やキーワードで、目的の画像をすばやくみつけることができます。

カメラやメディアから画像を取り込む

フィルタ機能、補正機能で画像を補正する

画像を編集する
画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。

プリンタを使ってプリントする
インデックスプリントやカレンダー、ポストカードなど多彩なプリントが楽しめます。

パノラマ写真を作る
パノラマモードで撮った画像を使ってパノラマ写真を作成します。

上記以外の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

OLYMPUS Masterをインストールする

お使いのパソコンのOSをご確認の上、インストールしてください。
新しいOSへの対応については、
オリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp/)でご確認ください。

動作環境について

Windows

OS	Windows 98SE/Me/2000 Professional/XP
CPU	Pentium III 500 MHz以上
RAM	128 MB以上（256 MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300 MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、65,536色以上

ご注意

- OSがプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。
- Windows XPは、Windows XP Professional/Home Editionに対応しています。
- Windows 2000は、Windows 2000 Professionalにのみ対応しています。
- Windows 98SEをお使いの場合、USBドライバが自動的にインストールされます。
- Windows 2000 Professional/XPでインストールする場合は、管理者権限を所有するユーザでログオンしてください。
- パソコンに、QuickTime6以上、Internet Explorer6以上がインストールされている必要があります。

Macintosh

OS	Mac OS X v10.2以降
CPU	Power PC G3 500 MHz 以上
RAM	128 MB以上（256 MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300 MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、32,000色以上

ご注意

- USBポートが標準装備されていないMacintoshでは、パソコンとカメラをUSB接続した場合の動作を保証いたしません。
- Macintoshに、QuickTime6以上、Safari 1.0以上がインストールされている必要があります。
- 次の操作を行うときは、必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作をすると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  - カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  - カメラの電源を切る
  - カメラの電池／カードカバーを開ける

新規発売されるOSへの対応について、詳しくは当社ホームページ(http://www.olympus.co.jp)でご確認ください。
カメラとパソコンを接続して直接画像を取り込む機能は、当社製デジタルカメラだけでご利用いただけます。

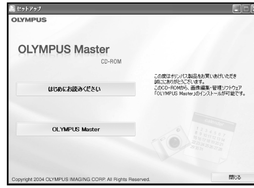
Windowsの場合

1 CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。
OLYMPUS Masterインストール画面が表示されます。
表示されない場合は、［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、CD-ROMアイコンをクリックしてください。

2 ［OLYMPUS Master］ボタンをクリックします。

QuickTime インストール用の画面が表示されます。

QuickTimeはOLYMPUS Masterを動作させるうえで必要です。すでにQuickTime 6以上がインストールされている場合は表示されません。手順4に進んでください。



3 ［次へ］ボタンをクリックし、画面のメッセージに従って操作を行います。

途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで［同意します］をクリックします。

OLYMPUS Master インストール用の画面が表示されます。



4 画面のメッセージに従って操作を行います。

途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで［はい］ボタンをクリックします。



途中、ユーザ情報の画面が表示されたら、[名前][OLYMPUS Masterシリアル番号] を入力し、お住まいの国を選択して [次へ] ボタンをクリックします。
シリアル番号は、CD-ROMのパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。



途中、DirectX インストールの使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえ、[はい] ボタンをクリックします。

Adobe Readerをインストールするかどうか確認する画面が表示されます。

Adobe Reader はOLYMPUS Master の取扱説明書を見るのに必要です。すでにAdobe Readerがインストールされている場合は表示されません。

5 **Adobe Readerをインストールする場合は[OK]をクリックします。**
インストールしない場合は［キャンセル］をクリックします。



Adobe Readerインストール用の画面が表示されます。

続いて、蔵衛門体験版のインストールを行うかどうかを確認する画面が表示されます。蔵衛門体験版をインストールする場合は [はい] ボタンをクリックします。

6 **画面のメッセージに従って操作を行います。**
インストール完了画面が表示されます。



7 **［完了］ボタンをクリックします。**
最初の画面に戻ります。

8 **再起動の画面が表示されたら［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］にチェックをつけます。CD-ROMを取り出して［完了］をクリックしてください。**

Macintoshの場合

1 CD-ROM ドライブにCD-ROMを入れます。

CD-ROMのウィンドウが表示されます。
表示されない場合はデスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。



2 ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。



画面のメッセージに従って操作を行ってください。
OLYMPUS Masterのインストーラが起動します。
途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで［続ける］ボタン、［同意します］ボタンをクリックします。
インストール完了画面が表示されます。

3 ［終了］ボタンをクリックします。

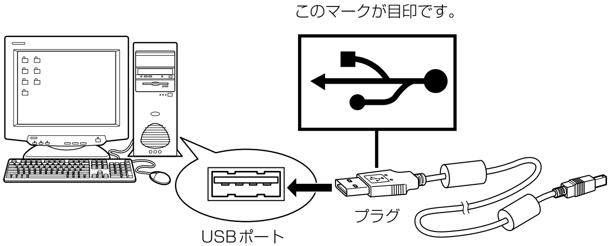
最初の画面に戻ります。

4 CD-ROMを取り出して［再起動］をクリックしてください。

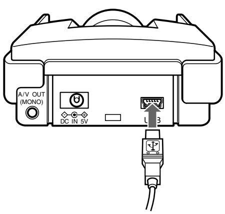
カメラをパソコンに接続する

付属のUSBケーブルで、クレードルとパソコンを接続したあとに、カメラをクレードルに取り付けます。

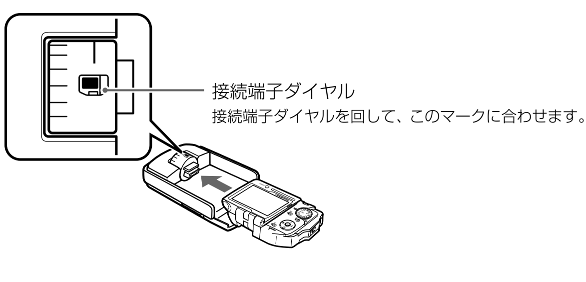
1 パソコンのUSBポートに、カメラに付属の専用USBケーブルを接続します。
USBポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。



2 クレードルのUSB端子に、カメラに付属のUSBケーブルを差し込みます。

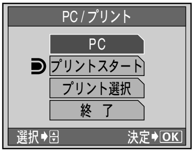


3 カメラをクレードルに取り付けます。
マルチスイングディスプレイを開いた状態で取り付けます。



4 「PC／プリント」画面が表示されたら「PC」を選び、OKボタンを押します。

選択画面が消えたときは、カメラの電源を入れ直してください。または、クレードルからカメラを取りはずして、手順2からやり直してください。



5 パソコンがカメラを新しい機器として認識します。

- Windows 98SE/Me/2000の場合
  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを認識する動作を自動的に行い、終了のメッセージが表示されます。
  ［OK］をクリックしてメッセージを終了してください。
  カメラは［リムーバブルディスク］として認識されます。

- Windows XPの場合
  パソコンに接続すると、画像ファイルの操作を選択する画面が表示されます。OLYMPUS Masterで画像を取り込みますので、［キャンセル］をクリックします。

- Mac OS Xの場合
  画像ファイルは、通常iPhotoというアプリケーションで管理されています。はじめてカメラを接続するとiPhotoが起動するので、iPhotoを終了してください。

ご注意

パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しなくなります。

OLYMPUS Masterを起動する

Windowsの場合

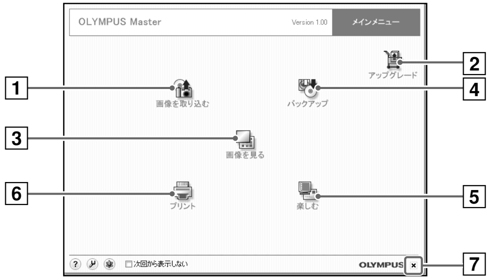
1 デスクトップの［OLYMPUS Master］アイコンをダブルクリックします。
メインメニューが表示されます。

Macintoshの場合

1 ［OLYMPUS Master］フォルダ内の［OLYMPUS Master］アイコンをダブルクリックします。
メインメニューが表示されます。
最初の起動時にユーザ情報の画面が表示されますので、［名前］［OLYMPUS Masterシリアル番号］を入力し、お住まいの国を選択してください。



OLYMPUS Masterのメインメニュー



1 **[画像を取り込む] ボタン**
画像をカメラ（オリンパス製のみ）またはメディアから取り込みます。

2 **[アップグレード] ボタン**
OLYMPUS Master Plusへアップグレードできるダイアログボックスが表示されます。

3 **[画像を見る] ボタン**
ブラウズウィンドウが表示されます。

4 **[バックアップ] ボタン**
画像をバックアップします。

5 **[楽しむ] ボタン**
楽しむメニューが表示されます。

6 **[プリント] ボタン**
プリントメニューが表示されます。

7 **[閉じる] ボタン**
OLYMPUS Masterを終了します。

OLYMPUS Masterを終了する

メインメニューで [閉じる] ボタンをクリックすると、OLYMPUS Masterが終了します。

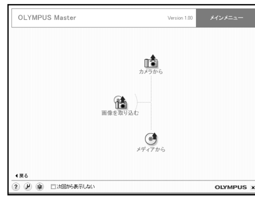
カメラの画像をパソコンで表示する

取り込んで保存する

カメラの画像をパソコンに保存します。

1. OLYMPUS Masterメインメニューで［画像を取り込む］ボタンをクリックします。
   取り込み元を選択するメニューが表示されます。

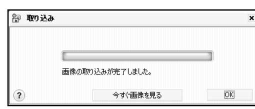
2. ［カメラから］ボタンをクリックします。
   取り込み元ウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。



3. 画像ファイルを選択し、［取り込み］ボタンをクリックします。
   確認のメッセージが表示されます。



4. ［今すぐ画像を見る］ボタンをクリックします。
   ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。
   ブラウズウィンドウの［メニュー］をクリックすると、メインメニューに戻ります。



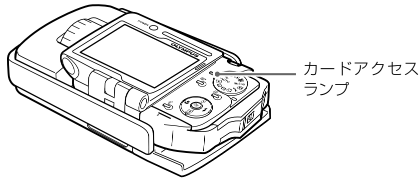
ご注意

カードアクセスランプが点滅している間は、絶対にカメラの電池／カードカバーを開けたり、ACアダプタを抜き差ししないでください。ファイルが壊れる可能性があります。

カメラを取りはずすには

カメラの画像をパソコンに取り込んだら、カメラを取りはずすことができます。

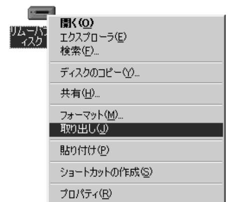
1 カメラのカードアクセスランプが消えていることを確認します。



2 Windows 98SEの場合

① [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックして、[リムーバブルディスク] を右クリックし、メニューを表示させます。

② メニューの [取り出し] をクリックします。



Windows Me/2000/XPの場合：

① システムトレイに表示されている [ハードウェアの取り外し] アイコンをクリックします。

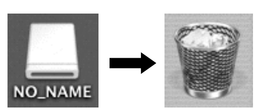


② 表示されるメッセージをクリックします。

③ [デバイスは安全に取り外すことができます] が表示されたら、[OK] をクリックします。

Macintoshの場合：

① デスクトップの [NO_NAME] (または [名称未設定]) アイコンを [ごみ箱] にドラッグ＆ドロップします。



② パソコンとの接続中を示すアイコンが消えます。

3 クレードルからUSBケーブルを抜きます。

ご注意

Windows Me/2000/XPの場合、［ハードウェアの取り外し］をクリックした際、［カメラを停止できません］という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、［ハードウェアの取り外し］の操作を再度行い、その後ケーブルをはずしてください。

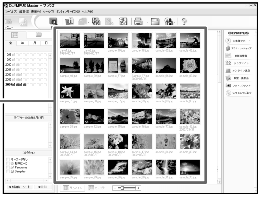
静止画／ムービーを見る

1 OLYMPUS Masterメインメニューで［画像を見る］ボタンをクリックします。

ブラウズウィンドウが表示されます。

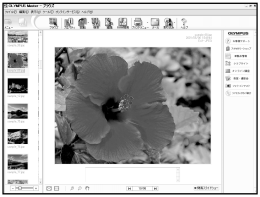
2 見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。

サムネイル



ビューモードに切り替わり、画像が拡大されます。

ブラウズウィンドウの［メニュー］をクリックすると、メインメニューに戻ります。



ムービーを見るには

1 ブラウズウィンドウで見たいムービーのサムネイルをダブルクリックします。
ビューモードに切り替わり、ムービーの1コマ目が表示されます。

2 ムービー表示部下側の再生ボタン をクリックすると、ムービーが再生されます。
コントローラ各部の名称とはたらきは、以下のとおりです。



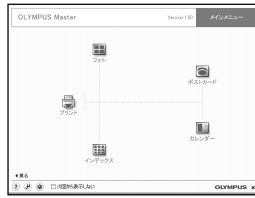
	項目	詳細
1	再生スライダー	スライダーを移動して、任意のフレームを指定できます。
2	時間表示	再生中の経過時間が表示されます。
3	再生（一時停止）ボタン	ムービーを再生します。再生中は一時停止ボタンになります。
4	1フレーム戻るボタン	1つ前のフレームを表示します。
5	1フレーム進むボタン	次のフレームを表示します。
6	停止ボタン	再生を停止し、先頭のフレームに戻ります。
7	繰り返しボタン	ムービーが繰り返し再生されます。
8	ボリュームボタン	ボリューム（音量）調整スライダーが表示されます。

プリントする

フォト、インデックス、ポストカード、カレンダーなどのプリントメニューがあります。ここではフォトプリントを例に説明します。

1 OLYMPUS Masterメインメニューで［プリント］ボタンをクリックします。
プリントメニューが表示されます。

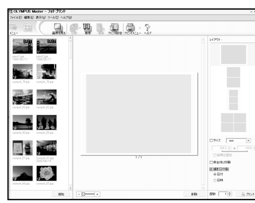
2 ［フォト］ボタンをクリックします。
フォトプリントウィンドウが表示されます。



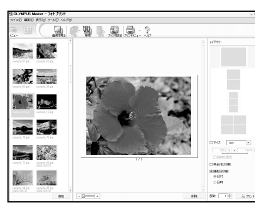
3 フォトプリントウィンドウの［プリンタ設定］をクリックします。
プリンタの設定ダイアログが表示されますので、必要に応じてプリンタの設定をします。



4 プリントするレイアウトやサイズなどを選択します。
日付または日時を入れて印刷するときは、［撮影日印刷］にチェックをつけて、［日付］または［日時］を選びます。



5 プリントしたい画像のサムネイルを選択し、［追加］ボタンをクリックします。
選択した画像がレイアウト上にプレビュー表示されます。



6 プリントする部数を設定します。



7 [プリント]ボタンをクリックします。
フォトプリントウィンドウの[メニュー]をクリックすると、メインメニューに戻ります。

OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに、付属の専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

Windows ：Windows 98/98SE/Me/2000 Professional/XP
Macintosh ：Mac OS 9.0-9.2/X

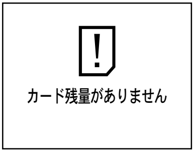
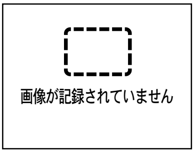
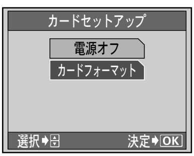
ご注意

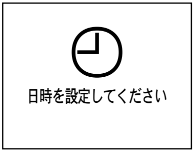
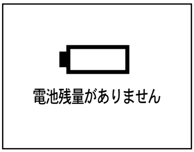
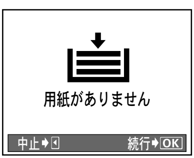
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作の保証はできません。
  - Windows 95/NT 4.0
  - Windows 95からアップグレードしたWindows 98/98SE
  - Mac OS 8.6以下のバージョン（ただし、出荷時にUSB端子、USB MASS Storage Support1.3.5を装備したMacOS 8.6は動作確認がされています。）
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン
- Windows 98/98SEをお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。カメラとパソコンを接続する前に、付属のOLYMPUS Master CD-ROMの以下のフォルダから[INSTALL.EXE]をダブルクリックして、インストールしてください。
（お使いのパソコンのドライブ名）：¥USB

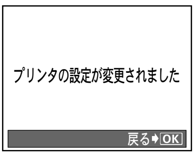
第10章　その他

エラーメッセージ一覧

液晶モニタ表示	対処方法
! カードを認識できません	カードを入れてください。またはカードを正しく入れ直してください。（☞ 27ページ） 市販のクリーニングペーパーでカードの金色の金属部分を拭いて、もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードをフォーマットしてください。（☞ 143ページ）フォーマットできない場合、このカードはご使用になれません。
! このカードは使用できません	カードに問題があり、使用できません。フォーマットができない場合、このカードはご使用になれません。新しいカードを入れてください。
! 書き込み禁止になっています	カードが読み取り専用に設定されています。パソコンを使って解除してください。 それでもこの表示が消えない場合は、カードの画像をパソコンに保存してから、カメラでフォーマットしてください。（☞ 143 ページ）
! 撮影可能枚数が0です	カードを交換するか、不要な画像を消去してください。大切な画像は消去する前にパソコンに保存してください。

液晶モニタ表示	対処方法
	カードを交換するか、不要な画像を消去してください。大切な画像は消去する前にパソコンに保存してください。
	カードに画像が入っていません。撮影してから再生してください。
	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
	カードをフォーマットしてください。 （☞ 143ページ）
	電池／カードカバーを閉めてください。（☞ 28ページ）

液晶モニタ表示	対処方法
	日時を設定してください。（☞ 34ページ）
	電池の残量がありません。クレードルに取り付けて充電するか、新しい電池を入れてください。
	カメラをクレードルに取り付けているため、撮影できません。クレードルから取りはずしてください。
	カメラがプリンタまたはパソコンに正しく接続されていません。正しく接続し直してください。
	プリンタの用紙切れです。用紙をプリンタに補充してください。

液晶モニタ表示	対処方法
	プリンタのインク切れです。インクをプリンタに補充してください。
	用紙が詰まっています。詰まった用紙を取り除いてください。
	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をしたことが原因です。プリントの設定中にはプリンタの操作はしないでください。
	プリンタでエラーが発生しました。カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れてください。
	プリンタでエラーが発生しました。もう一度OKボタンを押してプリントしてください。
	Dock & Done対応プリンタが接続されていません。Dock & Done対応プリンタを接続してください。

故障かな？と思ったら

原因	こうしましょう	参照ページ
●カメラが動かない、またはボタンを押しても動かない		
電源が切れている。	カメラをしばらく放置すると自動的に電源が切れます。マルチスイングディスプレイを開く、またはパワースイッチを押して、カメラの電源を入れてください。	P.32
電池残量が少なくなった。	電池を充電してください。	P.30
寒さで電池の性能が一時的に低下した。	電池をポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。	－
パソコンに接続している。	パソコンと接続中、カメラは動作しません。パソコンから取りはずしてからご使用ください。	P.183
●シャッターボタンを押しても撮影ができない		
電池残量が少なくなった。	電池を充電してください。	P.30
再生モードになっている。	モードダイヤルを 以外に合わせてください。	－
フラッシュの充電が完了していない。	一度シャッターボタンから指を離し、 マークの点滅が終わってから撮影してください。	－
カードの容量がいっぱいになった。	不要な画像を消去するか、新しいカードを入れてください。大切な画像は消去する前にパソコンに取り込んでください。	P.107 P.182
撮影中やカードの書き込み中に電池がなくなった（「電池残量がありません」と表示されたあとに液晶モニタが消灯した）。	電池を充電してください（カードアクセスランプ点滅中は、消灯するまでお待ちください）。	P.30
メモリゲージがすべて点灯している。	メモリゲージの一番上が消灯するまで、お待ちください。	P.24

原因	こうしましょう	参照ページ
●液晶モニタが消灯した		
電源が切れている。	カメラをしばらく放置すると自動的に電源が切れます。マルチスイングディスプレイを開く、またはパワースイッチを押して、カメラの電源を入れてください。	P.32
●ピント合わせのとき画面の色が乱れる		
シャッターボタンを半押ししたとき、液晶モニタに表示されている画面の色が乱れることがある。	故障ではありません。ピントが合うと正しい色で表示されます。	−
●フラッシュが発光しない		
フラッシュが「発光禁止」に設定されている。	フラッシュの設定を「発光禁止」以外に設定してください。	−
明るい被写体である。	フラッシュを強制的に発光させたい場合は、フラッシュを「強制発光」に設定してください。	P.45
モードダイヤルが になっている。	ではフラッシュはご使用になれません。モードダイヤルを回して、**P-AUTO** **VIVID** **SCENE** のどれかにに合わせてください。	−
●電池の消耗が早い		
充電完了前（パワーランプ点滅中）に充電をやめた。	パワーランプが消灯するまで充電してください。	P.30
寒い中で使用している。	低温下では電池の性能が低下します。カメラを防寒具や衣類の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。	−
電池残量が正しく表示されていない。	カメラの消費電力が大きく変化する際、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。電池を充電してください。	P.30

原因	こうしましょう	参照ページ
●液晶モニタが見にくい		
液晶モニタの画像に縦スジが入る。	強い光や、明るい被写体にレンズを向けると、画像に縦スジが入ることがあります。故障ではありません。	–
液晶モニタの明るさの設定が適切でない。	セットアップメニューの「モニタ調整」で液晶モニタの明るさを調整してください。	P.139
太陽光の下である。	太陽の光を手などでさえぎってください。	–
●画像に記録される日付が正しくない		
日時が設定されていない。	セットアップメニュー、または時計メニューの「日時設定」で日時を設定してください。お買い上げ時には日時の設定はされていません。	P.34
電池を抜いて放置していた。	もう一度、日時を設定してください。	P.34
●設定した機能が電源を切ると元に戻ってしまう		
「設定保持」の機能が「しない」に設定されている。	セットアップメニューの「設定保持」を「する」にしてください。	P.123
●ピントが合わない		
AFが苦手な被写体である。	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.39
被写体が近すぎる。	被写体との距離が 30cm 以内のときは、「スーパーマクロ」に設定してください。	P.47

原因	こうしましょう	参照ページ
●画像が再生できない		
電源が入っていない。	カメラをしばらく放置すると自動的に電源が切れます。マルチスイングディスプレイを開く、またはパワースイッチを押して、カメラの電源を入れてください。	P.32
撮影モードになっている。	モードダイヤルを ▶ に合わせてください。	P.79
液晶モニタの明るさの設定が適切でない。	セットアップメニューの「モニタ調整」で液晶モニタの明るさを調整してください。	P.139
テレビに接続している。	AV ケーブルを接続しているときは、液晶モニタは点灯しません。	–
●1 コマ消去、全コマ消去ができない		
画像がプロテクトされている。	「プロテクト」を「オフ」に設定してください。	P.105
●カメラとテレビを接続してもテレビに映像がでない		
カメラの映像出力信号が間違っている。	使用する地域の映像信号に「ビデオ出力」の設定を合わせてください。	P.141
テレビの映像信号の設定が間違っている。	テレビをビデオ（映像）入力モードにしてください。	–
●カメラをクレードルに取り付けると、時計モードになってしまう		
カメラの操作面を下側にしてクレードルに取り付けている。	カメラの操作面を下側にしてクレードルに取り付けると、カメラは自動的に時計モードに切り替わります。クレードルに取り付けてカメラを操作するときは、操作面を上側にして取り付けてください。	–
●撮影した画像が暗い		
フラッシュを指で覆ってしまった。	カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気をつけてください。	P.36

原因	こうしましょう	参照ページ
撮りたいものがフラッシュ撮影範囲より遠かった。	フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。	P.46
フラッシュが「発光禁止」になっていた。	フラッシュを「発光禁止」以外に設定してください。	P.45
逆光状態で小さい被写体を撮影した。	フラッシュを「強制発光」に設定するか、測光を「スポット」に設定して撮影してください。	P.45 P.66
雪景色などの明るい（白い）被写体を撮ると、実際より暗く見える画像が撮れる。	撮影メニューの「シーン選択」で「ビーチ＆スノー」に設定するか、露出補正をオーバー（＋）側に設定してください。	P.49 P.60
中央部が明るかった。	中央部に明るいものがあると、全体が暗く写ることがあります。露出補正をオーバー（＋）側に設定してください。	P.60
●撮影した画像の色がおかしい		
照明の色が影響した。	照明に合ったホワイトバランスを設定してください。	P.64
撮るものに白い部分がなかった。	白いものを入れて撮影するか、フラッシュを「強制発光」に設定して撮影してください。	P.45
ホワイトバランスの設定を間違えた。	光源に合わせて、もう一度ホワイトバランスを設定し直してください。	P.64
●画像の一部が暗い		
レンズに指やストラップがかかってしまった。	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップがかからないように気をつけてください。	P.36
●再生画像のピントが合っていない		
AFが苦手な被写体を撮影した。	フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.39

原因	こうしましょう	参照ページ
フラッシュが必要な暗い状況で「発光禁止」に設定していた（手振れ）。	フラッシュを「発光禁止」以外に設定してください。「発光禁止」で撮影する場合には、シャッター速度が遅くなります。カメラを固定するか、カメラをしっかり構えて撮影してください。	P.45
シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった（手振れ）。	カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。 シャッター速度が遅くなるほど手振れが起きやすくなります。夜景撮影やフラッシュを「発光禁止」で撮影するときは、カメラを固定するか、カメラをしっかり構えて撮影してください。	P.36
被写体が近すぎた。	被写体との距離が 30cm 以内のときは「スーパーマクロ」に設定してください。	P.47
レンズに水滴がついていた。 またはレンズが汚れていた。	レンズの水滴や汚れを拭きとってください。レンズブロワー（市販）でレンズのほこりを吹き払って、カメラクリーナ（付属）でやさしく拭いてください。レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。	P.208

パソコンやプリンタとの接続

原因	こうしましょう	参照ページ
●パソコンでカメラが認識されない		
USB ドライバがインストールされていない。	Windows 98/98SE では USB ドライバのインストールが必要です。ドライバをインストールしてください。	P.187
カメラの電源が入っていない。	マルチスイングディスプレイを開くか、パワースイッチを押して、カメラの電源を入れてください。	P.32
カメラの接続先が「PC」以外になっている。	「PC ／プリント」設定画面から「PC」を選択してください。	P.179
●プリンタと接続できない		
カメラの接続先が「PC」になっている。	「PC ／プリント」設定画面から「プリント選択」または「プリントスタート」を選択してください。	P.163
カメラ、またはプリンタの電源が入っていない。	カメラ、またはプリンタの電源を入れてください。	P.163
プリンタが PictBridge または Dock&Doneに対応していない。	ご使用のプリンタの取扱説明書をご確認ください。またはプリンタメーカーにお問い合わせください。	—
●Dock&Done対応ストレージに画像を保存できない		
ストレージ保存の設定が「保存しない」になっている。	ストレージ保存の設定を「保存する」にしてください。	P.109
本製品以外のカメラで撮影したカードを本製品に入れると、ストレージ保存の設定が「保存しない」になる場合がある。		

メニュー一覧

静止画撮影メニュー

項目 ▷	選択肢 ▷	参照頁
シーン選択	**風景** / 風景＆人物 / 夜景 / 夜景＆人物 / パーティショット / 打ち上げ花火 / 夕日 / ポートレート（人物）/ セルフポートレート / 料理 / ドキュメント / スポーツ / ビーチ＆スノー / キャンドル / 寝顔 / ショーウィンドウ / 鮮やかオート（VIVID）	P.49
画質モード	**スーパーハイ 4M**/ハイ 2M/PCモニタ 1M/Eメール VGA	P.55
連写	**オフ**／オン	P.58
露出補正	-2.0 ～ **0.0** ～ +2.0	P.60
デジタルズーム	**オフ**/オン	P.62
ホワイトバランス	**オート**/晴天/曇天/電球/蛍光灯	P.64
測光	**オート**/スポット	P.66
AF方式	**オート**/スポット	P.67
パノラマ		P.69
合成ツーショット		P.72
スチル録音	**オフ**/オン	P.74
カードフォーマット	実行/中止	P.143

太字は初期設定

ムービー撮影メニュー

項目 ▷	選択肢 ▷	参照頁
画質モード	ファイン/**スタンダード**/ロングプレイ/動画切取り	P.56
手振れ補正	**オフ**/オン	P.76
露出補正	-2.0 ～ **0.0** ～ +2.0	P.60
デジタルズーム	**オフ**/オン	P.62
ホワイトバランス	**オート**/晴天/曇天/電球/蛍光灯	P.64
フルタイムAF	**オフ**/オン	P.77
ムービー録音	オフ/**オン**	P.78
カードフォーマット	実行/中止	P.143

太字は初期設定

静止画再生メニュー

項目 ▷	選択肢 ▷	参照頁
情報表示	なし/**標準**/詳細	P.91
プリント予約		P.152
スライドショー	**標準**/スクロール/フェード/ズームダウン/ズームアップ/モザイク/ブラインド/キューブスピン/ランダム	P.86
回転表示	＋90°/**0°**/－90°	P.89
録音	スタート	P.97
画像編集	モノクロ セピア リサイズ：640×480/320×240/中止	P.95
プロテクト	**オフ**/オン	P.105
消去	1コマ消去：実行/中止 全コマ消去：実行/中止	P.107
カードフォーマット	実行/中止	P.143
アルバム登録	実行/中止	P.114
ストレージ保存	**保存する**/保存しない	P.109

太字は初期設定

ムービー再生メニュー

項目 ▷	選択肢 ▷	参照頁
情報表示	なし/**標準**/詳細	P.91
スライドショー	**標準**/スクロール/フェード/ズームダウン/ズームアップ/モザイク/ブラインド/キューブスピン/ランダム	P.86
ムービー再生終了		P.81
インデックスジャンプ		P.94
ムービー編集		P.99
切り出し		P.101
インデックス作成		P.102
プロテクト	**オフ**/オン	P.105
消去	1コマ消去：実行/中止 全コマ消去：実行/中止	P.107
カードフォーマット	実行/中止	P.143
アルバム登録	実行/中止	P.114
ストレージ保存	**保存する**/保存しない	P.109

太字は初期設定

SETUPメニュー

項目 ▷	選択肢 ▷	参照頁
設定保持	**する**/しない	P.123
言語	**日本語**/ENGLISH	P.125
起動画面	オフ/**1**/2/時計	P.126
スリープ時間	30秒/1分/**3分**/5分/10分	P.127
カスタムボタン	**画質モード**/連写/露出補正/デジタルズーム/ホワイトバランス/測光/AF方式/フルタイムAF/スチル録音/ムービー録音/手振れ補正	P.128
保存後自動消去	**オフ**/オン	P.130
ビープ音	オフ **オン**：**小**/大	P.131
シャッター音	オフ **1**：**小**/大 2：小/大	P.133
操作音	オフ **1**：**小**／大 2：小／大	P.134
レックビュー	オフ/**オン**	P.135
ファイル名メモリー	**リセット**/オート	P.136
ピクセルマッピング	スタート	P.138
モニタ調整		P.139
日時設定		P.34
再生音量		P.140
ビデオ出力	**NTSC**/PAL	P.141
オールリセット	実行/中止	P.142

太字は初期設定

アルバムメニュー

項目 ▷	選択肢 ▷	静止画	ムービー	参照頁
アルバム選択		○	○	P.117
情報表示	なし/**標準**	○	○	P.91
スライドショー	**標準** / スクロール / フェード / ズームダウン/ズームアップ/モザイク/ブラインド/キューブスピン/ランダム	○	○	P.86
ムービー再生終了		−	○	P.81
インデックスジャンプ		−	○	P.94
プリント予約		○	−	P.152
並び替え		○	○	P.118
解除		○	○	P.119
全コマ解除	実行/中止	○	○	P.121
消去	1コマ消去：実行/中止	○	○	P.122

太字は初期設定

○：メニューに表示され、設定することができます。

−：メニューに表示されません。設定することはできません。

カレンダーメニュー

項目 ▷	選択肢 ▷	参照頁
情報表示	なし/**標準**	P.91
スライドショー	**標準**/スクロール/フェード/ズームダウン/ズームアップ/モザイク/ブラインド/キューブスピン/ランダム	P.86
ムービー再生終了		P.81
インデックスジャンプ		P.94
プロテクト	**オフ**/オン	P.105
消去	1コマ消去：実行 / 中止 日付内全コマ：実行 / 中止	P.107
カードフォーマット	実行/中止	P.143

太字は初期設定

時計メニュー

項目 ▷	選択肢 ▷	参照頁
時計スタイル	**デザイナーズ**/デジタル	P.145
アラーム設定	オン/**オフ**	P.146
アラーム音	**1**：小/中/大/**ステップトーン** 2：小/中/大/ステップトーン 3：小/中/大/ステップトーン	P.148

太字は初期設定

撮影モードの種類別の機能一覧

撮影モードによっては、設定できない項目があります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

機能＼撮影モード	P									
フラッシュ	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
マクロ	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○
スーパーマクロ	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画質	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
連写	○	○	○	―	―	○	―	―	○	○
露出補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―
測光	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AF方式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パノラマ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
合成ツーショット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スチル録音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手振れ補正	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
フルタイムAF	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
ムービー録音	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―

○：設定することができます。

－：設定することはできません。

第10章　その他

撮影モード / 機能									
フラッシュ	○	−	○	○	−	−	○	○	−
マクロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スーパーマクロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画質	○	○	○	○	○	○	○	○	○
連写	○	○	○	○	−	−	○	○	−
露出補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	−	−	−	−	−	−	−	○	○
測光	○	○	○	○	○	○	○	○	−
AF方式	○	○	○	○	○	○	○	○	−
パノラマ	○	○	○	○	○	○	○	○	−
合成ツーショット	○	○	○	○	○	○	○	○	−
スチル録音	○	○	○	○	○	○	○	○	−
手振れ補正	−	−	−	−	−	−	−	−	○
フルタイムAF	−	−	−	−	−	−	−	−	○
ムービー録音	−	−	−	−	−	−	−	−	○

○：設定することができます。
−：設定することはできません。

緑ランプ／フラッシュマーク／フラッシュ発光予告について

液晶モニタに表示される緑ランプ・フラッシュマークの点灯、消灯、点滅は、以下の状態を示しています。

ランプ	ランプの状態	カメラの状態	できること／できないこと
緑ランプ	点灯	オートフォーカスでピントが合っている（半押しのとき）	撮影できます。
	点滅	ピントが合っていない（半押しのとき）	撮影ができますが、ピントが合わない場合があります。
		長時間露光中	シャッタースピードが1/2秒より長くなります。手振れをしないように、カメラをしっかり固定して撮影してください。
フラッシュマーク	点灯	フラッシュ発光予告	撮影できます。
	点滅	フラッシュ充電中	撮影できません。フラッシュを発光させたいときは、点滅が終わるまで待ってから、撮影してください。

ご注意

カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池 / カードカバーを開けたり、AC アダプタの抜き差しをしないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、保存済みの画像が破壊されるおそれがあります。

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れについて

カメラの外側

柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞ってから拭き取ります。

レンズ

レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払います。レンズクリーニングペーパー（市販）に、レンズクリーニング液を少し付けて軽く拭きます。

液晶モニタ

乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

カード／電池

乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

クレードルのお手入れ

端子部分はブロワー（市販）でほこりを吹き払います。絶対に濡らさないでください。

ご注意

- ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- お手入れをする前に、電池やACアダプタをカメラから取りはずしてください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。
- 薬品を扱うような場所での保管は、腐食などの原因になるため避けてください。

カメラの保管について

- カメラを長期間使用しないときは、カード、電池を取りはずしてから、風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

カメラ内部の結露について

結露とは

外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になること。カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

結露を防ぐには

カメラを寒いところから急に暖かいところに持ち込むときは、ビニール袋にカメラを入れて空気を抜き、なるべく密閉状態にしてください。その場の温度になじむまで、約１時間放置してから取り出してください。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」などの記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書に従ったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満１ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理などについては原則として有料となります。
- このカメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後５年間を目安に保有しております。したがって、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにお問い合わせください。
- 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓌマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失など）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理個所を指定した書面を同封して充分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

カメラの仕様

<table>
<tr><td>形式</td><td colspan="3">デジタルカメラ（記録・再生型）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">記録方式</td><td>静止画</td><td colspan="2">デジタル記録、JPEG（DCF準拠）</td></tr>
<tr><td>対応規格</td><td colspan="2">Exif 2.21、DPOF、PRINT Image Matching II、PictBridge</td></tr>
<tr><td>動画</td><td colspan="2">QuickTime Motion JPEGに準拠</td></tr>
<tr><td>記録媒体</td><td colspan="3">xDピクチャーカード（16～512 MB）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">記録コマ数
静止画
(16MB使用時)</td><td>画質</td><td>画像サイズ</td><td>カード記録可能枚数</td></tr>
<tr><td>スーパーハイ 4M</td><td>2288 × 1712</td><td>約 16</td></tr>
<tr><td>ハイ 2M</td><td>1600 × 1200</td><td>約 32</td></tr>
<tr><td>PCモニタ 1M</td><td>1024 × 768</td><td>約 58</td></tr>
<tr><td>Eメール VGA</td><td>640 × 480</td><td>約 99</td></tr>
<tr><td rowspan="5">記録時間（秒）＊
ムービー
(16MB使用時)</td><td>画質</td><td>画像サイズ</td><td>カード記録時間</td></tr>
<tr><td>ファイン</td><td>640 × 480
(15コマ／秒)</td><td>約 17秒（音声あり）
約 17秒（音声なし）</td></tr>
<tr><td>スタンダード</td><td>320 × 240
(30コマ／秒)</td><td>約 34秒（音声あり）
約 35秒（音声なし）</td></tr>
<tr><td>ロングプレイ</td><td>160 × 120
(15コマ／秒)</td><td>約 3分59秒(音声あり)
約 4分42秒(音声なし)</td></tr>
<tr><td>動画切取り</td><td>800 × 600
(15コマ／秒)</td><td>約 10秒（音声あり）
約 10秒（音声なし）
(カード容量によらず一定)</td></tr>
<tr><td>カメラ部有効画素数</td><td colspan="3">400万画素</td></tr>
<tr><td>画像素子</td><td colspan="3">1/2.7型CCD（原色フィルター）</td></tr>
<tr><td>レンズ</td><td colspan="3">オリンパスレンズ6.2 ～ 17.3 mm(35 mmフィルム換算40～112 mm相当)、F2.9～4.8</td></tr>
<tr><td>測光方式</td><td colspan="3">撮像素子によるデジタルESP測光方式、スポット測光</td></tr>
<tr><td>シャッター</td><td colspan="3">1/2 ～ 1/1000秒（夜景モードでは最大4秒）</td></tr>
<tr><td>撮影距離</td><td colspan="3">0.5m ～ ∞（通常)、0.3m ～ ∞（マクロ撮影時)、0.03m ～ 0.5m（スーパーマクロ）</td></tr>
<tr><td>液晶モニタ</td><td colspan="3">2.5型（インチ）TFTカラー液晶、206,000画素</td></tr>
</table>

自動カレンダー機能	2000 ～ 2099年の範囲で自動修正
使用環境	温度：0 ～ 40℃(動作時）／－20 ～ 60℃（保存時）
	湿度：30 ～ 90%（動作時）／10 ～ 90%（保存時）
電源	専用リチウムイオン充電池または専用ACアダプタ
大きさ	約 幅 95 × 高さ 71 × 厚さ 26.7 mm（突起部を除く）
質量	約 172g（電池／カード別）

* 一度に連続して撮影できる時間（秒）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

付属品の仕様

xDピクチャーカード	
形式	デジタルカメラ用 xD-Picture Card
メモリーの種類	NAND型フラッシュ EEP-ROM
メモリーの容量	16MB
駆動電圧	3V（3.3V）
使用周囲温度	0 ～ 55℃（動作時）／－20 ～ 65℃（保管時）
使用周囲湿度	95%以下（動作・保管時）
大きさ	約 幅 20 × 高さ 25 × 厚さ 1.7 mm
クレードル	
コネクタ	DC入力端子、USB端子、A/V出力端子、カメラ接続端子、Dock&Done端子
使用環境	温度：0 ～ 40℃（動作時）／－20～60℃（保存時） 湿度：30 ～ 90%（動作時）／10 ～ 90%（保存時）
大きさ	約 幅 77.5 × 高さ 124.5 × 厚さ 32.5 mm（突起部を除く）
質量	約 85g

リチウムイオン充電池（L1-12B）	
形式	充電池リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.7V
公称容量	1230mAh
充放電回数	約 300回（使用する条件により異なります。）
使用周囲温度	0 ～ 40℃（充電時）／－10 ～ 60℃（動作時）／0 ～ 30℃（保存時）
大きさ	約 幅 31.9 × 高さ 45.8 × 厚さ 10 mm
質量	約 35 g
ACアダプタ（A511）	
入力容量	AC 100 ～ 240V、50/60Hz、23 ～ 32VA、13W
出力容量	DC 5V、2.0A
使用温度範囲	0 ～ 40℃
保存温度範囲	－10 ～ 70℃
大きさ	約 幅 47 × 高さ 72 × 厚さ 28 mm
質量	約 160g（電源コード含まず）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

用語解説

画素数
画像を形成する最小単位の点の数。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

画像サイズ
画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640 × 480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640 × 480のときではモニタ全体に表示されますが、1024 × 768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

デジタルESP測光
CCD出力によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。このカメラでは、測光でオートを選択することで機能します。

露出
シャッターを開いて、光をとり込むこと。また、画像が写るために得る光の量。シャッター速度で時間を、絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

AE(automatic exposure)
自動露出。カメラに内蔵された露出計で自動的に決める方式。このカメラには、19種類の撮影モードごとに適切な絞りとシャッタースピードが設定されています。

CCD(charge coupled device)
レンズを通して入ってきた光を受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF(design rule for camera file system)
電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF(digital print order format)
デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応のプリントショップやプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

EV(exposure value)

露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くするごとに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

JPEG(joint photographic experts group)

カラー静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、JPEG形式でカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

NTSC/PAL(National Television Systems Committee/Phase Alternating Line)

テレビの映像信号方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

PictBridge

異なるメーカーや機種に関係なく、パソコンを介さずに直接接続されたデジタルカメラとプリンタによるダイレクトプリントが可能な標準規格。

索引

お問い合わせいただく前に（お願い）

- より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
- FAXまたは郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
- 問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など：
  パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけ詳しくお知らせください。

- **お名前（フリガナ）**
- **連絡先：** 郵便番号
  ご住所（自宅か会社のいずれかを明記願います）
  電話番号／ FAX
  E-mail
- **製品名（型番）：**
- **シリアル番号（製品底面に記載されています）：**
- **お買い上げ日：**

※ 以下は、カメラをパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。

- **ご使用のパソコンの種類：**
  パソコンメーカー・型番等
- **メモリの容量　ハードディスクの空き容量：**
- **OS 名とバージョン：**
  （Windows）コントロールパネルーシステムーデバイスマネージャーの内容
  （Mac OS）コントロールパネルや機能拡張の内容
- **その他接続されている周辺機器名：**
- **問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン：**
- **問題のご使用当社ソフト名とバージョン：**

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1新宿モノリス

ホームページのご案内

http://www.olympus.co.jp/

ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報をご提供しております。
オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」へ進み、ご利用ください。

商品に関するお問い合わせ窓口（オリンパスカスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル 0120-084215

携帯電話・PHS からは 0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。
より迅速、正確にお答えするためにお手数ですが、裏面の「お問い合わせいただく前に（お願い）」の内容をあらかじめご確認ください。

営業時間　**平日**　9：30〜21：00
土・日・祝日　10：00〜18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　**FAX 0266-26-2011**

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター

営業時間　9:00〜17:00（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町１の３の１ 小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北４条東１の２の３　札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央１の 13 の４　泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦２の 19 の 25　日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場２の 12 の 26　オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀 16 の 11　日本生命広島第２ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通３の６の 11　福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4466

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。
　オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

Printed in Japan

1AG6P1P2331　　VM037602